

団体の状況について

(1) 施設の管理運営の基本方針

私たちは、公の施設の管理者として、公民協働（PPP）のもと、民間企業の経営手法を最大限に取り入れた質の高いサービスを提供します。また、新型コロナウイルス感染症によって変化した社会や新しい生活様式を見据えた新たな運営方法や事業展開を実施してまいります。

ア 施設の設置目的や役割の理解

金沢スポーツセンターは、横浜市スポーツ施設条例に基づき設置されており「スポーツ、レクリエーション、文化活動等を振興し、市民の心身の健全な発達に寄与する」ことを目的としています。

私たちは、障がい者、子育て世代、高齢者、子ども等それぞれの対象者に合ったスポーツ環境を整備し、設置目的や横浜市スポーツ推進計画等の施策である「**区民のスポーツ実施率の向上**」を第4期指定管理**最大の目標**に掲げてまいります。目標達成のためには、指定管理者は**地域の多様な主体と連携**し、スポーツセンターが地域におけるスポーツ推進拠点として機能することで、地域住民の交流の希薄化や青少年の健全育成等の**社会的課題の解決**、また**地域社会のつながり・コミュニティ形成をリードする役割が期待されている**と受け止めています。

共創や協働の考え方の理解

横浜市を象徴する取組『共創』の趣旨は「質の高いサービス提供」「対話による新しい価値」をあるべき姿としています。スポーツや健康づくりの推進において、金沢区全体に質の高いサービスが行き届くように、金沢区や地域団体、関連企業等との協働により、新しい手法を用いて地域の活性化に繋がっていくように事業を展開していきます。



金沢区さわやかスポーツ普及委員会の皆様と

イ 金沢区の地域特性の理解

私たちは、金沢スポーツセンター36年の運営経験を過信することなく、指定管理者制度の原理である**市民サービス向上のための創意工夫・イノベーションを惜しみません**。そのために金沢区の最新状況と時代とともに変化するスポーツセンター周辺環境は常に分析しています。

海と緑の奏でるハーモニー・タウン！金沢区的环境を最大限に生かします！

横浜市の南端に位置する金沢区は、東京湾に面した**横浜唯一の自然海岸**が残る野島公園や、海の公園、八景島、金沢自然公園など、海・山両方の豊かな自然に恵まれています。令和元年度の**緑被率は31.0%と18区中7位と高い水準**で、公園面積では1位、公園数では3位です。

私たちは、長浜公園や海の公園と連携したアウトドアスポーツや、六国峠等でのネイチャーゲームなど、**金沢区の魅力である豊かな自然環境を最大限に生かしたプログラム**を取り入れた地域の健康づくり事業を実施しています。



■ 金沢区の人口

金沢区の令和 3 年 3 月の人口は、198,375 人で市内 18 区中 9 位、**平均年齢は 48.8 歳で市内 18 区中 17 番目**です。0～14 歳の年少人口割合は 11.0%で市内 15 位と低く、65 歳以上の老年人口割合は 30.2%で 2 番目に多い区です。少子高齢化が課題となっていますが、要介護保険認定者数は 10,238 人で市内 18 区中 9 位、自治会町内会加入率は 79.9%で 2 位となっており、地域で元気に活動している方が多いことがうかがえます。

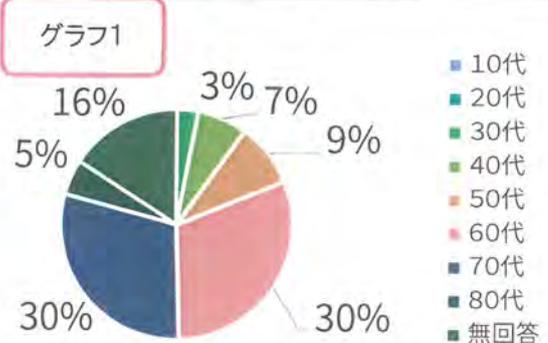
■ 周辺の人口特性やお客様の利用傾向の分析

表 1 は、金沢スポーツセンターを中心とした 1 km・3 km・5 km の円の人口構成です。一般的にスポーツ施設への来館者は半径 3 km 以内（メイン商圈）の居住者が 70%を占めています。3 km 圏内の人口構成を見ると、**横浜市全体と比べて「①50 歳代以上の割合が高い」「②40 歳代以下の割合が低い」**ことがわかります。

■ 金沢スポーツセンターを中心とした 1 km・3 km・5 km の円の人口構成

表 1	金沢スポーツセンター						比較基準	
	1Km圏内		3 Km圏内		5 Km圏内		横浜市	
商圈内人口	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
人口	48,013	-	172,125	-	369,221	-	3,690,970	-
10歳未満	3,678	7.66%	13,482	7.83%	28,872	7.82%	305,204	8.27%
10歳代	3,968	8.26%	16,176	9.40%	32,613	8.83%	339,010	9.18%
20歳代	4,372	9.11%	17,136	9.96%	36,279	9.83%	390,635	10.58%
30歳代	6,006	12.51%	20,283	11.78%	44,778	12.13%	492,264	13.34%
40歳代	7,010	14.60%	27,073	15.73%	57,319	15.52%	621,701	16.84%
50歳代	5,884	12.26%	21,888	12.72%	45,824	12.41%	464,213	12.58%
60歳代	8,156	16.99%	25,482	14.80%	53,401	14.46%	466,095	12.63%
70歳以上	8,939	18.62%	30,605	17.78%	70,135	19.00%	611,848	16.58%

グラフ 1 は、利用者満足度評価にご協力いただいた利用者の年齢構成です。グラフ 1 から利用者の約 60%が 60 歳代、70 歳代だということわかります。これらのデータをもとに、公共施設として乳幼児から高齢者まで全世代を対象としたサービスに加え、教室事業では中・高齢者を対象としたプログラムを増やしてきました。



令和元年度第1四半期報告 横浜市金沢スポーツセンター
利用者満足度評価に協力いただいた利用者の年齢構成

第 4 期指定管理も引き続き、これらの商圈分析データを活用し、**人口構成や年齢分布・お客様の利用傾向に合った広報や教室開催、施設から離れた地域へは当団体のノウハウを生かした健康づくりプログラムのアウトリーチ**により、更なる地域の賑わいを創出いたします。

ウ 行政課題及び施策の理解

■ 金沢区政のパートナーとして

私たちは、金沢区運営方針の基本目標「地域の皆様と共に考える、挑戦する、つくる！～訪れたい、住みたい、住み続けたいまち 金沢を目指して～」の実現に向けて、子どもから大人までが安心で元気に暮らせる金沢区であるよう、施設や地域でのスポーツ・健康づくりの推進を通じて基本目標の実現に取り組んでまいります。

● 社会的課題への取組も指定管理者のタスク

スポーツセンターの指定管理者は、スポーツ推進計画、健康福祉関連計画への理解とともに、金沢区政のパートナーとして金沢区施策（金沢区でどのような課題があるか）を理解し、問題解決にあたることは務めます。私たちは、現運営者として様々な活動で得られた情報を活かして、施策と連動した施設運営を行います。

横浜市・金沢区の計画		
横浜市中期4か年計画 (政策局)	横浜市防災計画 (総務局)	金沢区運営方針
横浜市スポーツ推進計画 (市民局)	横浜市地球温暖化対策実行計画 (温暖化対策統括本部)	金沢区地域福祉保健計画 「金沢・ささえあいプラン」
第2期健康横浜21 (健康福祉局)	横浜市SDGs未来都市計画	金沢区防災計画
横浜市地域福祉保健計画 (健康福祉局)	第2期横浜市子ども・子育て支援事業計画 (こども青少年局)	横浜市都市計画マスタープラン 金沢区プラン
第8期横浜市高齢者保健福祉計画 ・介護保険事業計画 (健康福祉局)	新型コロナウイルス感染症 「くらし・経済対策」	第4期横浜市障害者プラン (健康福祉局)

課題解決

指定管理者として取り組むタスク（第4期に特に力を入れるもの）			
金沢の魅力を活かした まちづくり	東京2020レガシー事業	歩く観光の育成支援	健康寿命の延伸
多世代交流の促進	障害者スポーツの推進	女性・働き世代の運動不足解消	お客様の個人情報保護
災害に強いまちづくり	子育て世代への支援	生活習慣病・フレイル対策	SDGsへの取組
企業・大学との連携	自然との共生・活用	新型コロナウイルス感染症対策	温暖化対策・緑化の推進

■ 金沢スポーツセンター指定管理者としてのミッション

施設の設置目的を果たすことはもちろん、金沢区の基本目標「地域の皆様と共に考える、挑戦する、つくる！～訪れたい、住みたい、住み続けたいまち 金沢を目指して～」の実現にコミットできる金沢スポーツセンター指定管理者でありたいと考えます。そのために、私たちは次のミッションに進取果敢に取り組んでまいります。

第4期
指定管理
ミッション

金沢のスポーツ・健康づくりを通じた地域活性化のシンボルへ
～健康寿命延伸！金沢スポーツセンター～

● **ミッション設計にあたって** —スポーツセンター理念（設置目的）と法人理念の親和—
 私たちのミッション【金沢のスポーツ・健康づくりを通じた地域活性化のシンボルへ】には、施設や地域でのスポーツ・健康づくりの推進を通じて、子どもから大人まで誰もが健康で生きがいを感じられる地域の活性化を実現する存在でありたいという想いを込めました。また、【健康寿命延伸！】は、金沢区福祉保健計画にもある通り、いつまでもいきいきと自分らしい生活を続けるためには健康寿命の延伸は欠かせない要素であると考えます。

～私たちの想い～

私たちは、施設の管理運営、スポーツ・健康づくりのプロフェッショナルとして、専門的で多機能な施設運営を行うとともに、金沢区全域で地域と連携した活動を精力的に行い市民に多様な機会と場を提供することで、金沢スポーツセンターの理念（設置目的）に則り、ひいては金沢区の基本目標実現の一翼を担っていきます。

当団体は「いつまでもスポーツが楽しめる明るく豊かな社会の実現」を法人理念とし、設立元来、横浜の生涯スポーツの推進を担い、スポーツ・健康づくりによって地域社会の課題解決を行ってきました。私たちがこれまでに培った独自のノウハウを生かし、この理念を体現させたスポーツセンターこそ、第4期横浜市金沢スポーツセンターにふさわしい姿だと考えています。

■ ミッション実現への 管理運営の3つの基本方針

私たちは、金沢区が取り組む『安心して暮らせるまちづくり』『金沢の未来を創る！』『金沢の魅力をもっと発信！』『すくすく育て！かなざわっこ』『誰もが健康で生きがいを感じられる地域の実現！』それぞれの施策に連動した「管理運営の3つの基本方針」を策定します。

- | | |
|-------------------|--|
| 管理運営
の
基本方針 | 1 金沢区のスポーツ・健康づくりを通じた地域活性化のシンボルとして専門的で多機能な魅力ある施設にします！ |
| | 2 金沢区全域で地域と連携した活動を行い誰もがスポーツを楽しめる多様な機会と場を提供します！ |
| | 3 施設の管理運営のプロフェッショナルとして防災力をアップし、環境に配慮した安全・安心・快適な施設運営を実現します！ |

この基本方針を全てのスタッフに浸透させるとともに、施設の管理運営やすべての事業はこの基本方針に基づき実施し、これからお示しする提案の全件達成をお約束します。

(2) 基本方針実現のための目標設定と実施策

金沢スポーツセンター指定管理者としてのミッション、管理運営の3つの基本方針を踏まえ、明確で具体的な9つの目標と実施策を掲げ、実行することをお約束します。そのために、PDCA マネジメントサイクルに沿って、**最短1か月、最大で1年単位で振り返りを行い、成果を確認**します。これらの継続的な改善活動により、管理運営の質の向上に取り組んでまいります。



第 4 期指定管理期間の目標人数の設定

指定管理者として、スポーツセンターの設置目的や私たちのコンセプトを実現しているかを定量的に評価するために、延べ利用者数を目標として設定します。

平成 30 年度 (参考)	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
276,970	288,000	288,000	289,000	290,000	291,000

3つの基本方針にもとづく実施策（9つの目標とアクションプラン）

基本方針 1 金沢区のスポーツ・健康づくりを通じた地域活性化シンボルとして

1 専門的で多機能な魅力ある施設にします！

目標 ①	目標 ②	目標 ③
<p>心身の健康増進に資する事業やスポーツ教室を年間 2500 回以上実施します</p> <p>アクションプラン</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 乳幼児からシニア、障がい者まであらゆる方を対象とした教室展開 ● 子育て世代を応援する託児付き教室や相互フィットネスプログラムを開催 ● 子どもたちが運動が好きになるきっかけづくりの新たな教室プログラムの展開 ● 自分の年齢や体力に合わせて参加できる様々な強度の教室展開 	<p>指定運動療法施設として疾病予防のためのヘルスプロモーションを拡充します</p> <p>アクションプラン</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 指定運動療法施設として内科・整形外科系運動療法の実施 ● スポーツセンターとかかりつけ医の連携体制構築(協力:横浜市医師会) ● 生活習慣病予防やコロナ禍でのフレイル対策のシニア向けプログラム実施 	<p>働き世代・女性のスポーツ実施率向上にむけ、新たなサービスで魅力ある施設にします</p> <p>アクションプラン</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 企業連携による魅力あるコンテンツや区内企業への健康経営プログラムの推進 ● スポーツ無関心層に届くプロモーションや施設の魅力アップリニューアル実施 ● お申込み・お支払いの煩わしさ解消！館内完全キャッシュレス化

基本方針 2 金沢区全域で地域と連携した活動を行い誰もがスポーツを楽しめる多様な機会と場を提供します！

2

目標 ④	目標 ⑤	目標 ⑥
<p>障がい者、子育て世代など誰も取り残さないインクルーシブスポーツの機会創出</p> <p>アクションプラン</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 初級障害者スポーツ指導員を配置 ● ハード・ソフト両面で使いやすい施設を整備 ● 来館前に動画や 360°パノラマビューのホームページで参加障壁をなくします ● ボッチャ体験会・交流会を地域の関係団体やボランティアの協力を得て開催 ● 子育て世代が交流できる親子イベントを定期的に開催 	<p>私たちが主体となり、次世代育成や多文化共生に、地域主体との協働で取り組みます</p> <p>アクションプラン</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 未来を創る子どもへ東京 2020 オリパラレガシー事業を加盟団体と共同開催 ● 『beyond2020』イベントを開催 ● 金沢区内の子育て支援拠点「とことこ」・サテライト・地域ケアプラザとの連携事業の開催 	<p>地域支援、社会貢献活動を通じて「子どもから大人まで安心・元気」な金沢に貢献します</p> <p>アクションプラン</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域人材とともに区内全域に健康づくり活動を展開(元気づくりステーション) ● 区内小学校で子どもの体力向上事業を支援(学校保健委員会) ● 地域還元活動として開館 40 周年記念イベントを開催 ● 地域団体と協働してウォーキングなど主体的に健康づくりに取り組めるイベントを開催

基本方針 3 施設の管理運営のプロフェッショナルとして防災力をアップし、環境に配慮した

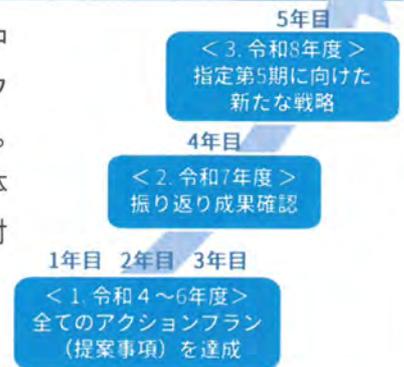
3 安全・安心・快適な施設運営を実現します

目標 ⑦	目標 ⑧	目標 ⑨
<p>日常点検を 1 日 6 回以上、予防保全を主とした修繕を年間 350 万円以上実施します</p> <p>アクションプラン</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 1 日 6 回以上の日常清掃・点検実施 ● 協力会社による 24 時間の監視体制 ● 予防保全を主とした毎年度 350 万円(税別)の修繕実施 ● 独自の建物劣化診断に基づく中期修繕計画のプロジェクト管理 	<p>省エネルギー化による地球温暖化対策や環境保全活動に積極的に取り組みます</p> <p>アクションプラン</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 省エネ低炭素化の取組として節水装置を女子トイレに 7 台導入します ● お客様 1 人あたりの CO₂ 排出量を計画的に削減します ● 横浜ブルーカーボンオフセット事業に参画します 	<p>危機管理体制を強化し、災害や救急事態でも万全な管理体制を徹底します</p> <p>アクションプラン</p> <ul style="list-style-type: none"> ● AED 操作訓練を全スタッフが実施 ● 応急手当有資格者の常駐 ● 地域の各主体と連携した防災フェスティバル・運動会の実施(区民の防災活動啓発) ● 災害発生時の避難訓練対応の積極的な整備

■ 金沢スポーツセンター第4期指定管理のマネジメント計画

私たちは、新型コロナウイルス感染症により先行きが不透明な中ですが、これまで培ってきた市民スポーツ振興・施設運営ノウハウを最大限に発揮し、**全てのアクションプランを確実に実行**します。また、コロナ禍での機会消失による運動不足やフレイル対策（身体的機能や認知機能の低下）など、時流の変化にも柔軟さをもって対応いたします。

■ 3つの工程でプロジェクトマネジメントを遂行します！



(3) 金沢スポーツセンターの管理運営体制

私たちは、施設の老朽化や多様化する健康づくりへの区民ニーズに的確に応えていくために、今期に引き続き、当該分野を専門とする2つの企業を協力会社として、金沢スポーツセンターの管理運営を遂行してまいります。

● アシックススポーツファシリティーズ株式会社

親会社アシックスは、東京2020オリンピック・パラリンピック大会の国内最高位スポンサーです。区民の健康づくりを促進していくにあたり、オリンピック・パラリンピック関連事業やウォーキング・ランニングのイベント、子どもの体力向上事業などを協力して展開します。

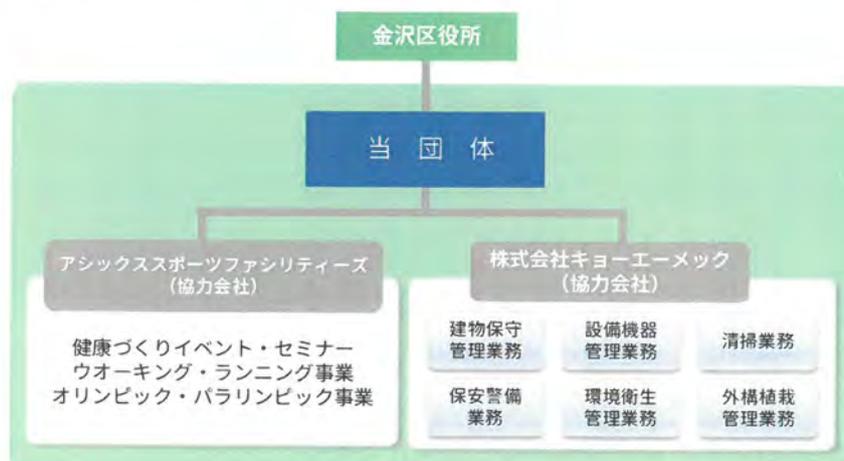


● 株式会社キョーエーメック

スポーツ施設や百貨店、ホテル等数多くの施設の維持管理業務のノウハウが豊富な専門業者で、第3期指定管理でのスポーツセンターの品質を維持してきました。第4期はこれまでに蓄積したデータを活用し、更なる施設の長寿命化やライフサイクルコスト縮減などのメリットを創出していきます。



■ 金沢スポーツセンター管理運営体制





● 私たちは、価値ある区民サービスを創出し続けます！

金沢スポーツセンターの応募にあたり、竣工から 37 年を迎えるハード面の課題や金沢区の施策と連動した事業運営には、金沢区役所様、また協力会社と相互の知恵を結集し、第 3 期の取組を継続しながらも、新たな区民サービス（価値）の創出や地域の活性化にチャレンジしてまいります。

(4) 指定管理に取り組む当団体のご紹介

私たちは、公益法人認定法に基づき公益性を認定された公益財団法人です。昭和 4 年に発足して以来、90 年以上横浜のスポーツ振興に寄与してきました。現在は、競技、地域、学校関連など 74 団体が加盟し、この強大なネットワークを駆使して施設運営やスポーツ振興事業を実施するとともに、市民の皆様の健康・体力づくり、競技スポーツの推進に貢献しています。

私たちは、市民の誰もがスポーツを楽しみ、健康な生活が送れるよう、スポーツセンターの運営は当然のこと、「ワールドトライアスロンチャンピオンシリーズ横浜」「横浜マラソン」等の大規模なスポーツ大会から「身近な地域における健康づくり」のための事業などに取り組んでいます。

■当団体加盟団体一覧

◆ 競技団体 (52団体)		令和3年6月現在
1 横浜市バドミントン協会	2 NPO 法人横浜市馬術協会	3 横浜バスケットボール協会
4 横浜バレーボール協会	5 横浜ハンドボール協会	6 横浜市ホッケー協会
7 横浜市陸上競技協会	8 横浜市ヨット連盟	9 横浜市卓球協会
10 横浜市体操協会	11 横浜市ソフトボール協会	12 横浜野球協会
13 横浜野球連盟	14 横浜市ラグビーフットボール協会	15 横浜市剣道連盟
16 横浜市テニス協会	17 NPO 法人横浜ソフトテニス協会	18 横浜市弓道協会
19 一般社団法人横浜サッカー協会	20 横浜市柔道協会	21 一般社団法人横浜水泳協会
22 横浜市相撲連盟	23 横浜市山岳協会	24 横浜スキー協会
25 横浜市アマチュアボクシング協会	26 横浜市クレイ射撃協会	27 横浜市レスリング協会
28 横浜市ウエイトリフティング協会	29 横浜市なぎなた連盟	30 横浜市アーチェリー協会
31 横浜市ライフル射撃協会	32 横浜市ボウリング協会	33 横浜市空手道連盟
34 横浜アメリカンフットボール協会	35 横浜市カヌー協会	36 NPO 法人横浜市ボート協会
37 横浜市太極拳協会	38 横浜市ゲートボール連合	39 横浜市少林寺拳法連盟
40 横浜市ゴルフ協会	41 横浜アイスホッケー連盟	42 横浜市インディアカ協会
43 横浜市綱引連盟	44 横浜市スポーツダンス協会	45 横浜市合気道連盟
46 横浜市スポーツチャンバラ協会	47 横浜市日本拳法連盟	48 横浜市バトン協会
49 横浜市トライアスロン協会	50 横浜市パワーリフティング協会	51 横浜市グラウンド・ゴルフ協会
52 横浜市ターゲット・バードゴルフ協会		
◆ 地域団体 (18団体)		
1 鶴見区体育協会	2 保土ヶ谷区スポーツ協会	3 青葉区体育協会
4 神奈川区スポーツ協会	5 旭区スポーツ協会	6 都筑区体育協会
7 西区スポーツ協会	8 磯子区スポーツ協会	9 戸塚区スポーツ協会
10 中区スポーツ協会	11 金沢区スポーツ協会	12 栄区体育協会
13 南区スポーツ協会	14 港北区スポーツ協会	15 泉区スポーツ協会
16 港南区スポーツ協会	17 緑区体育協会	18 瀬谷区スポーツ協会
◆ 学校団体 (3団体)		
1 横浜市立小学校体育研究会	2 横浜市立中学校体育連盟	3 横浜地区高等学校体育連盟
◆ 体育団体 (1団体)		
1 横浜市レクリエーション連合		

● 「スポーツで横浜の街をデザインする」～私たちが目指す姿～

私たち当団体の理念「いつまでもスポーツが楽しめる社会の実現」に向けて、これら全ての加盟団体の総力を結集し、横浜市金沢スポーツセンターの管理運営を行ってまいります。

スポーツで横浜の街をデザインする	—当団体のビジョン—
デザインとは、外観や機能などをより良いものにするために創意工夫することを意味します。私たちは、「横浜といえばスポーツの街」と誰もが思えるよう、スポーツの力で新たな発想をもって考えを巡らせ、市民がいつまでもスポーツが楽しめる横浜の街を作り上げていきます	

(5) 法人としての経営姿勢

ア 公共サービスを担う者の心得

公の施設の管理者は、地方自治法 244 条に則り、住民福祉の増進や公正・公平な利用の確保など、その趣旨を理解して運営する必要があります。また、金沢区運営方針、横浜市スポーツ施設条例及び横浜市スポーツ推進計画などの趣旨を理解し、遵守することは当然の責務です。

私たちは、成果志向などの民間手法も取り入れ、その役割と責務を果たし、金沢区の施策の実現に向けて誇りを持って誠実に行動します。

■ 指定管理者が遵守する法令等

私たちは公益法人、また指定管理者としてふさわしい倫理を保持し、法令や条例を遵守した運営を行います。特に「個人情報保護」、「適正な労務環境の堅持」、「建物・設備の維持管理」は重要で、その趣旨を十分に理解したうえで、管理にあたります。その重要さをしっかり認識するため、職員研修を充実させるとともに、委託業者・外部講師など施設に係る全ての人にその浸透を図ります。

■ 指定管理者が遵守すべき主な法律・条例・方針・計画等

金沢区運営方針／金沢区地域福祉保健計画／都市計画マスタープラン金沢区プラン
スポーツ基本法／横浜市スポーツ推進計画／横浜市スポーツ施設条例(同条例施行規則)
横浜市基本構想長期ビジョン／横浜市中期4か年計画2018～2021／横浜市SDGs未来都市計画
健康増進法／第2期健康横浜21／第8期横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画
地方自治法／公共サービス基本法／横浜市行政手続条例／横浜市暴力団排除条例
横浜市市民協働条例／横浜市市民活動推進条例(同条例施行規則)
環境基本法／エネルギーの使用の合理化に関する法律／地球温暖化対策の推進に関する法律
横浜市防災計画／災害時等における施設利用に関する協定
障害者差別解消法／第3期横浜市障害者プラン／横浜市障害福祉計画
横浜市子ども・子育て支援事業計画／横浜市中小企業振興基本条例／横浜市商店街振興基本条例
横浜市地域の絆をはぐくむ条例／ヨコハマ 3R夢プラン(一般廃棄物処理基本計画)

(6) 安定的な経営体力と経営情報開示（経営の透明性）

ア 安定的な管理運営が可能な経営体制

私たちは、スポーツの普及振興を専門とする経験豊富な人材と 30 年以上にわたる施設管理のノウハウ、強固なスポーツネットワークを活かし、指定管理者制度に順応した体制を整備しています。

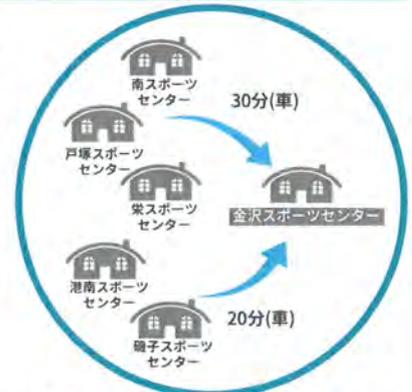
■ 35 年の実績とノウハウを持つ組織構成と業務執行体制

当団体は、管理部門や施設・事業を運営する 5 つの局と危機管理室から構成する組織で、総勢 283 人(令和 3 年 4 月 1 日現在)の職員を配置しています。代表理事をトップとした業務執行体制のもと当団体本部が金沢スポーツセンター事業の円滑な運営をバックアップしています。

責任体制は、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」及び「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」に基づくガバナンスのもと、「処務規程」により業務執行組織及び事務分掌を規定し、「事務決裁規程」によってその権限を明確にしています。

■ 非常時のバックアップ体制

当団体はリスク管理・危機管理を担う危機管理室に専門職員が在職するなど**危機管理の実践的体制を構築**しています。法的なリスク管理や事故の補償等には、顧問弁護士によって事態に備えています。また、公共施設の運営経験が豊富な職員も多数いることから、危機に強い組織力を備えています。新型コロナウイルス(COVID-19)の影響により、長期間に亘る休館となった際にも耐えることができた十分な経営体力を有しています。



■ 緊急時 30 分以内に応援要請できる施設

■ 人材こそが最も重要な経営資源＝人財（人材確保・人事考課・表彰制度）

私たちは「人材こそが最も重要な経営資源＝人財」と考え、知識と経験に裏打ちされた資質と能力を兼ね備える人材の育成に努めます。また、組織の活性化と職員の意欲向上のために、職員の成果を客観的に評価する人事考課制度のほか、顕著な功績をあげた職員への表彰制度も確立しています。



人命救助した職員の表彰

● 人財育成計画 ～公共スポーツのプロフェッショナル人材として～

質の高いサービスを提供するために、職場における実務研修（OJT）や外部講習・研修なども含めた人財育成計画を策定し、キャリア形成を図っています。公共サービスを担う”ホスピタリティー”精神をもったプロフェッショナル人材として、サービス提供、個人情報保護、危機管理など幅広い分野で体系的に研修を行っています。



■ 公共サービスに精通した職員配置と資格取得制度

金沢スポーツセンターの所長は、公共スポーツ施設の管理運営を十分に経験した職員を配置します。また、公共スポーツ施設の管理運営に有効な様々な資格の保有者も多数在職しており、支援体制も万全です。

資格の取得・更新については、講習会参加時の職務を免除するなどの制度を設け、職員の資質向上ならびに施設運営の品質向上をサポートしています。

資格名	人数（人）
健康運動指導士	34
健康運動実践指導者	12
上級体育施設管理士	17
体育施設管理士	49
体育施設運営士	22
応急手当普及員	68
サービス介助士	28
初級障がい者スポーツ指導員	18

■ スポーツセンターに配置する人材の保有資格（令和 3 年 4 月現在）

■ 金沢スポーツセンターでの研修と自己啓発研修制度

心肺蘇生法、ユニバーサルサービス、個人情報保護、人権問題等の職場内研修を毎年実施します。また、パソコンスキル向上を図るIT研修や「おもてなしの心」を醸成する接客研修を定期的を実施し、職員の運営能力の向上を図ります。さらに、職員の能力開発につながる自己啓発については、通年で半日単位4回までの職免を認め、研修への参加を積極的に推進しています。



全スタッフ参加の施設内研修

イ 健全な財務状況に基づく経営体力

■ 健全な財務状況

公益財団法人である私たちは、営利を追求せず高い公益性のもと安定的な経営を行っております。直近の決算においては費用対効果を見極め経費節減に努めることで、財務状況の安定性を図る流動比率及び自己資本比率は共に高い基準を保っています。また、公益財団法人の原資となる基本財産の運用については、「資産管理運用要綱」を設け、厳格な基準のもとAA格以上の日本国債、横浜市債、定期預金を基本として、安全性を最優先に運用しています。

■ 令和元年度決算における財務指標等

①流動比率【流動資産／流動負債×100 (%)】	200.1%
短期的な支払い能力を図る比率である流動比率は、200%を超えており、十分な支払い能力を有しています。	
②自己資本比率【正味財産期末残高／資産合計×100 (%)】	55.7%
長期的な経営能力を図る自己資本比率は50%を超えており、安定的な経営状況であるといえます。	
③経常収益	7,467,766,822円
法人の売上高を示すものです。	
④純資産	2,843,668,263円
法人の資産総額から負債総額を差し引いた金額です。	

■ 厳格な会計監査（チェック体制）

公益法人会計及び横浜市会計経理関係規定等に準じて、各種経理関係規定及び独自の経理事務マニュアルに基づき日常業務を遂行します。団体本部の経理部門とスポーツセンターを所管する地域スポーツ課によるダブルチェックのほか、公益法人会計を専門とする公認会計士による外部監査（外部監査担当者として監査責任者1名、監査補助者2名による会計監査）、職員による内部監査を実施し、経理処理の厳格化を徹底しています。

ウ 公益団体として求められる積極的な情報公開

■ 積極的な情報公開

私たちは、公益財団法人として貸借対照表を公告することが義務づけられています。公告方法は法令の範囲内で任意とされていますが、インターネットによる公告を公開しています。

また、公益法人の指導監督基準において定められる項目（定款、役員名簿、計画、報告予算、決算等の経営情報）のほか、経営計画や横浜市との協約事項の達成基準やその評価、事故等含めた記者発表内容、大会、イベント情報等についてインターネットで広く公開しています。

※詳しくは、様式 11「横浜市の重要施策を踏まえた取組」参照

エ 就業体制・福利厚生・労働法規遵守体制

■ 公共サービス従事者に適した就業体制

高品位なサービス提供の観点から、職員に加重な業務の負担を強いることのないよう、改正労働基準法その他労働関係法規を遵守した就業体制を確保します。なお、法令遵守や倫理保持等、公正な職務執行を脅かす疑いがある場合は、「コンプライアンス規程」に基づき、調査、告発、再発防止等のための措置を行い、「就業規程」及び「懲戒処分の標準例」に基づき対応します。

■ 労働法規遵守体制

指定管理者として法令遵守は当然のことですが、労働基準法をはじめとする労働関係法規を遵守した適切な就業体制を確保しています。また、労働契約法や同一労働同一賃金など、法改正による新たな制度についても迅速に対応できるよう準備を怠りません。

● 衛生委員会の設置

労働安全衛生法の規定に基づき設置する衛生委員会は毎月、産業医とともに、定期開催し、勤務する職員の労働安全及び衛生に関し、産業医からの意見や啓発活動とともに、職場環境の整備を審議・検討しています。



■ 社会保険と福利厚生及びワーク・ライフ・バランスへの取組

当団体は、必要な社会保険等に加するほか、育児や介護休業、各種休暇等のワーク・ライフ・バランスに関する制度を整備しています。特に、女性やシニアが働きやすい環境整備のために、次世代育成支援対策推進法による一般事業主行動計画を策定するとともに、定年後の継続雇用制度を設け、良質な公共サービスを持続的に実施できる体制を整えています。

■ ワーク・ライフ・バランスに関する制度等

年次休暇（目標:1人あたり平均10日以上）	骨髄提供休暇	短期介護休暇
リフレッシュ休暇	結婚休暇	病気休暇
育児時間	子の看護休暇	介護休暇
男性職員の育児参加休暇	祭日休暇	服忌休暇
配偶者の出産のための休暇	社会貢献活動休暇	公の職務執行休暇 (裁判員制度対応)
ノー残業デー（毎週水曜日）	生理日休暇	産業医による健康相談
	横浜市勤労者福祉共済への加入	



オ 類似施設の豊富な管理運営実績

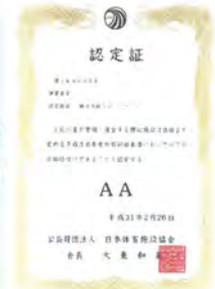
当団体は、多くの施設の管理運営実績を有しており、指定管理施設では、第三者評価や外部評価において、いずれも高い評価を得ています。

■ 当団体のスポーツ施設の管理運営実績

<ul style="list-style-type: none"> ■スポーツセンター 16 施設 鶴見・神奈川・西・中・南・港南・保土ヶ谷・旭・磯子・金沢・緑・都筑・戸塚・栄・泉・瀬谷 ■野外活動施設 5 施設 三ツ沢公園青少年野外活動センター・くろがね青少年野外活動センター・ こども自然公園青少年野外活動センター・赤城林間学園・南伊豆臨海学園 ■体育館施設 3施設 横浜武道館・平沼記念体育館・たきがしら会館 ■横浜国際プール ■新横浜公園 新横浜公園・日産スタジアム・日産フィールド小机・日産ウォーターパーク・フットボールパーク ■三ツ沢公園 ニッパツ三ツ沢球技場 陸上競技場 補助陸上競技場 馬術練習場 テニスコート ■横浜市スポーツ医科学センター ■横浜銀行アイスアリーナ ■鶴見川漕艇場 ■テニスコート施設 3 施設 緑テニスガーデン・泉中央テニスガーデン・根岸テニスガーデン 	 
--	--

当団体スポーツセンターが格付け AA 評価をいただきました!

日本スポーツ施設協会が実施する「指定管理者外部評価」(平成 30 年 12 月実施)で、当団体が管理する横浜市緑スポーツセンターが「AA 評価: 経営体制及び管理運営体制が安定的かつ良好な状態」と評価格付・認定されました。



管理施設には国内外から数々の視察団が訪れており、公益財団法人として、施設運営のノウハウを提供しています。

■ 主な視察受入れ状況

日程	視察者	視察場所
平成 28 年 9 月	ベトナム ダナン市国際局	日産スタジアム
平成 28 年 11 月	韓国 韓国スポーツ開発院	スポーツ医学センター 他
平成 29 年 4 月	岩手県 公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団	横浜市南スポーツセンター
平成 30 年 1 月	広島県 福山市議会スポーツ振興議員連盟	当団体本部 他
平成 30 年 2 月	埼玉県 さいたま市長	日産スタジアム 他
平成 30 年 7 月	沖縄県 名護市スポーツリハビリテーションセンター	スポーツ医科学センター
令和元年 8 月	タイ王国 スポーツ局視察団	スポーツ医科学センター 他
令和元年 10 月	岩手県 岩手県文化スポーツ部	スポーツ医科学センター
令和元年 11 月	愛知県 大府市スポーツ協会	当団体本部 他
令和 2 年 2 月	群馬県 みどり市スポーツ協会	日産スタジアム 他

カ 認証制度の取得等

私たちは、広く社会に貢献するための各種認定やそれに類するものを取得しています。

■ 認証制度の資格等一覧

● Sport in Life コンソーシアムへの加盟

スポーツ庁が主体となり、地方自治体、スポーツ団体、経済団体等でスポーツ振興に取り組むことを目的とした「Sport in Life コンソーシアム」に加盟し、生活の中に自然とスポーツが取り込まれるような取組を行うことで、国民のスポーツ参画を促進しています。



● ISO20121 の認証

ワールドトライアスロンシリーズ横浜大会組織委員会では、ワールドトライアスロンシリーズ横浜大会において「ISO20121（イベントマネジメントの持続可能性に関する国際標準規格）」の認証を取得しています。当団体は、組織委員会の構成団体として環境配慮、地域・社会貢献、地域経済の活性化等に取り組んでいます。

■ いきいきと働くための認証

● 横浜健康経営認証（クラス AAA）の取得

従業員等の健康づくりを経営的な視点から考え、戦略的に実践する「健康経営」の概念を幅広く普及させることを目的とした「横浜健康経営認証」制度において、当団体は職員に対する健康保持・増進の取組を評価され、最高ランクのクラス AAA を取得しています。



横浜健康経営

● かながわ健康企業宣言【健康優良企業（五つ星）】

従業員一人ひとりが、心身ともに健やかに働くことができる職場環境を目指し、他の企業の模範となる健康づくりの取組を実施している企業に対し、協会けんぽ神奈川支部より認定される「かながわ健康企業宣言【健康優良企業】」において、最高位である五つ星に認定されています。



かながわ健康企業宣言

● スポーツエールカンパニー

スポーツ庁では、従業員の健康増進のためにスポーツの実施に向けた積極的な取組を行っている企業を「スポーツエールカンパニー」として認定しています。

当団体では、朝の1分体操を開発・導入、通勤途中や仕事の合間にできる「ちょこエク」の紹介と実践、サークル活動を支援、健康な生活習慣に関する情報提供の取組により、スポーツ庁から「スポーツエールカンパニー2021」として認定を受けています。



季節に合わせたエクササイズ紹介

施設の平等・公平な利用の確保

私たち指定管理者は、公の施設である金沢スポーツセンターの利用については、法的にも実際にお客様が利用される際にも、平等性・公平性を確保しなければなりません。

私たちは、関係法令遵守による平等利用の確保はもちろん、ユニバーサルデザインのもと、年齢や性別、ハンディキャップ、国籍等の参加障壁なく、誰もが安心して利用しやすい運営をします。



健康教室参加者で『平成』の人文字

(1) 公共性・公平性に基づいた利用の確保

ア 平等利用を堅持する体制 ～トラブル0への取組～

公共施設の平等性・公平性を確保するために、全てのスタッフが金沢スポーツセンターの設置目的や関連諸規定を理解し、役割とその責任を認識できる体制を整えます。

■ 公共性・公平性保持に関する条例理解の取組

「地方自治法第244条第2項及び第3項(※)」では、信条、性別、社会的身分、年齢等による合理的な理由なき公共施設の利用制限を禁じています。私たちは、この「地方自治法」をはじめ、「横浜市スポーツ施設条例及び同施行規則」、「横浜市民活動推進条例」の正しい解釈のために、研修や職場での実務研修(OJT)による理解の徹底を図り、利用許可や調整方法に平等性を確保します。

※地方自治法

第244条第2項

「普通地方公共団体(次条第3項に規程する指定管理者を含む。次項において同じ。)は、正当な理由がない限り、住民が公の施設を利用することを拒んではならない。」

第244条第3項

「普通地方公共団体は、住民が公の施設を利用することについて不当な差別的取扱いをしてはならない。」

■ 貸切利用における一般利用の受付

貸切の一般利用は、「横浜市民利用施設予約システム」による公正な抽選と空き枠の先着受付により決定します。当館の受付やホームページ等で、初めての方にもわかりやすいご案内をするとともに、空き状況を館内掲示やホームページなどで毎日掲出し、利用促進に取り組みます。

■ 貸切利用における優先利用手順

優先利用は、利用前年度の「横浜市屋内スポーツ施設優先利用調整会議」で決定後、当団体の『優先利用に関する事務取扱要領』に基づき、当該団体と事前調整を行います。

「横浜市民活動推進条例第12条および同施行規則第3条」に示される申請理由や必要な書類に漏れがないよう、適正に対応します。



団体との事前調整

● 定期教室の優先利用

定期教室の開催日程は、原則、金沢スポーツセンター業務の基準の範囲内とします。室場や開催時間は、稼働率の低い時間帯の有効活用とのバランスをとり、団体利用への影響を最小限にして設計します。

■ 人権尊重の取組

金沢スポーツセンター所長を人権啓発推進者として位置づけ、**全スタッフ対象の人権研修（年1回）**を実施します。また、『横浜市障害者差別解消の推進に関する取組指針』を踏まえ、障害者差別解消法の目的「障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重しあいながら共生する社会の実現」を目指し、多様なお客様にぬくもりある接遇を徹底します。



全職員対象の人権研修

■ 「公共サービス従事者」の心構えを徹底する全員研修

内閣府『公共サービス窓口配慮マニュアル』を用いた公共サービス従事者研修を全スタッフに毎年行っています。また、公益財団法人である私たちは、横浜市政策局主催の指定管理者セミナーに参加するなど、サービスの公平性を保つ取組を積極的に行うとともに、協力会社や外部講師にも、年度当初に研修を実施し、理解を徹底します。



所長が講師となり研修します

■ 不正な利用を許さない！ 迷惑利用・反社会的組織への取組

横浜市スポーツ施設条例第12条では「他の入館者に迷惑をかけ、又は迷惑をかけるおそれがあるとき。」に入館の制限を定めています。私たちは、施設の平等・公平な利用の確保、そしてお客様と従業員の安全のために、反社会的組織への対応研修を行っています。また、神奈川県暴力追放推進センターの賛助会員となり、「暴力団追放ステッカー」の掲示や対策研修の協力を仰ぎ、反社会的組織を抑止します。



暴力団対策研修テキスト
(協力:暴力追放推進センター)

イ あらゆる区民にやさしい施設を目指して

金沢区は**老年人口比率 26%を超える超高齢地域**となりました。障害者手帳の発行数も増加する中、市民の平等な施設利用を確保するために、年齢や性別、障がい、国籍などの参加障壁なく、誰もが安心して利用できる施設にします。

■ 私たちは横浜市子育て家庭応援事業「ハマハグ」認定施設です！

「ハマハグ」は、横浜の「ハマ」と「ハグ (hug)」で子どもたちが温かく見守られて育ててほしいという愛称で、横浜市が推進する子育て家庭応援事業です。

金沢スポーツセンターはいち早くハマハグスポットとして登録していますが、第4期指定管理では、地域子育て支援拠点「とことこ」と連携し、子育て家庭を応援するサービスを更に充実していきます。

託児サービス

授乳室・お湯の提供

赤ちゃん和妈妈のためのヨガ

入口にステッカー掲示

キッズスペース

おむつ交換台

ベビーカー置き場

スマホ情報アプリで情報発信

■ 高齢者が元気で居続けられるために

金沢スポーツセンターが高齢者の健康増進の場となるように、休憩用のいすや手すりの設置等、施設の整備を行います。また、シニア向けの健康教室を週 10 コマ開催し、スポーツセンターでの高齢者の継続的な運動・仲間づくりを促進します。



はつらつ体操教室

● 『濱ともカード優待 Day』（優待施設利用促進事業）

優待施設利用促進事業「濱ともカード」（横浜市健康福祉局）は、市民が生き生きとした日々を過ごすことができるようにすることを目的とした優待サービスです。

私たちはこの事業に参画し、毎月 5 日・15 日は、65 歳以上のカード持参の方に、トレーニング室を 100 円割引でご利用いただくサービスを引き続き実施します。



看板で優待 Day をお知らせ

■ 金沢スポーツセンター濱ともカードご利用実績

利用実績	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
件数(件)	394	456	405	402

● ひばりエクササイズ

横浜出身のエンターティナー美空ひばりさんの歌「愛、燦々」や「お祭りマンボ」に振り付けをした、当団体で人気のフィットネスダンスプログラム『ひばりエクササイズ』を教室事業や派遣指導のプログラムとして展開しています。



シニアに大人気「ひばりエクササイズ」
(参考;栄スポーツセンターでの様子)

■ バリアフリー・ユニバーサルデザインを踏まえたサービス提供

私たちは、どなたにとっても使いやすい施設となるよう、第3期指定管理においてもユニバーサルデザインを更新してきました。今後も多様なお客様のご意見を、新たなサービスとして取り入れる仕組みを強化し、お客様の満足度向上に努めます。

■ 金沢スポーツセンターのユニバーサルデザインの実践例

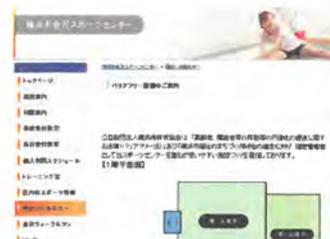
■ サービス面	
接遇	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス介助士配置。全スタッフは接遇研修やノーマライゼーション研修を受講し、ホスピタリティーを持って接客します。 ・お子様には姿勢を低めて目線を合わせ、わかりやすい言葉で話します。 ・車いすの方には、必要に応じてトイレや駐車スペース等へ誘導します。
コミュニケーションツール	<ul style="list-style-type: none"> ・聴覚障害の方にはタブレット端末やコミュニケーションボード（社会福祉協議会作成）で視覚的に説明します。 ・高齢者や弱視の方には老眼鏡や拡大鏡を用意。 ・地図などの施設情報は、弱視の方に見やすいUDフォントや色を採用しています。
利用案内	<ul style="list-style-type: none"> ・初めてのお客様、障がいのある方もスムーズに利用できるよう、ホームページに専用ページを作成するほか、館内を360°ビューできるページを作成します。 ・誰でもわかりやすい視覚的な情報伝達→室場や更衣室などピクトサインで表示



サービス介助士の館内掲示



コミュニケーションボードを活用



バリアフリー設備のご案内

■ 設備面	
車いす	<ul style="list-style-type: none"> ・車いすのお客様に使いやすい飲料自動販売機の設置 ・貸出用の車いす配備(2台)
入口・通路	<ul style="list-style-type: none"> ・衝突事故防止のために、素通しガラス扉にラインテープを貼る ・階段や通路は、段差や場所がわかりやすいよう配色
トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども用便座を男女子トイレに各1台設置 ・洗面台に子ども用の踏み台を設置
更衣室	<ul style="list-style-type: none"> ・おむつ替えシートを男女更衣室に各1台設置 ・手すりを男女更衣室に2箇所ずつ設置 ・洗面台に子ども用の踏み台を設置

■ 多指向のお客様への配慮

私たちは、多くの考え方や様々な習慣があることを理解して、一人ひとりの人権を尊重し、お客様の立場となって親身に対応することを心がけます。また、性的指向・性自認に関する知識を持つ理解者として、LGBTのお客様に、職員用の更衣室をお貸しします。また、希望があれば、空きスペースを礼拝用として確保します。



ウ 多くのお客様にご利用いただける体制

■ 新たなお客様を迎えるための切れ目のない広報活動

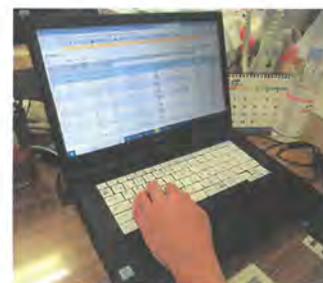
金沢スポーツセンターをご利用されていない区民の方など、全区民に対して施設利用の平等性を確保するためには、広報活動を切れ目なく行い、当館の情報に触れる機会を絶やさないことが大切です。

私たちは、金沢スポーツセンター職員に広報担当者を定め、タイムリーな広報を行います。ホームページでの施設案内はもちろん、SNS、ポスター、チラシなど、様々な媒体を活用することにより、より多くの方に当館の事業を周知します。



● 定期教室の受付

定期教室に定員以上の応募があった場合は、初めての参加希望者を優先したうえで『教室事業基本マニュアル』に沿って抽選を実施し、平等・公平を確保します。現在、金沢スポーツセンターの教室へのご応募は、インターネットからのお申し込みが約40%となっています。インターネットが苦手なお客様のために、スポーツセンターでの直接申込や往復はがきでの申込も受け付けます。



パソコンでの公平な一括抽選

■ メディアへの情報提供

当団体は、日ごろから横浜市の報道担当との密接な協力体制により、イベント情報などをプレスリリース（記者発表）しています。今後も、積極的なプレスリリース（記者発表）を行い、新聞各紙やテレビ・ラジオ局に取り上げていただくことで、多くの市民に情報提供を行っていきます。



プレスリリース



地域情報誌に掲載されました!

■ 発信情報のバリアフリー化

インターネットに不慣れな方やシニア層に向けてタウン情報誌など、紙媒体での情報発信を継続します。ホームページには、当団体ウェブアクセシビリティ方針を開示するほか、日本産業規格 JIS X 8341-3:2016「高齢者・障害者等配慮設計指針-情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス-第3部:ウェブコンテンツ」の等級「AA」準拠に則したホームページにリニューアルします。



ウェブアクセシビリティ研修会

■ 減免利用の受付

当団体が管理するスポーツセンターは、高齢者や障がい児・者、子どもが気軽にスポーツができる環境を提供するために、横浜市スポーツ施設条例、同施行規則の減免に関する規定に則した当団体『利用料金の減免等に関する基準』に基づき利用料を減じています。

お客様には減免適用についてわかりやすく説明をします。また、利用の受付や料金受領、減免措置は、関連条例の遵守や金沢スポーツセンター業務の基準に則り適正に取り扱うとともに、適用の可否は、厳密に審査し、平等・公平利用を堅持します。

■ 令和元年度金沢スポーツセンター減免実績

令和元年度減免実績	学校	障がい児・者	高齢者
件数(件)	86	600	402
金額(円)	133,000	128,830	40,200

※令和2年度は臨時休館があったため、令和元年度実績を掲載しました。

■ 減免に関する基準の抜粋

横浜市スポーツ施設条例

第13条 指定管理者は、必要があると認められる場合又は規則で定める場合は、利用料金の全部又は一部を免除することができる。

横浜市スポーツ施設条例施行規則

第11条 条例第13条に規定する規則で定める場合は次の各号に掲げるとおりとし、免除する利用料金の額は当該各号に定めるとおりとする。この場合において、その額に10円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てる。

(2) 多言語化に関する取組

ア 外国人のお客様に対する取組

当館では、外国人のお客様とのコミュニケーションは、**ポータブル端末の翻訳アプリ**を使っています。また、外国語ができるスタッフが、受付方法やサービス案内などにわかりにくさがないか、定期的にチェックします。



音声と文字入力対応の翻訳アプリ



誰でもいつでもコミュニケーションできます！

● 緊急時・災害時にも混乱なく対応いたします！

緊急時用に外国語の放送原稿を用意し、全スタッフがご案内できるよう準備しています。また、定期研修で社会福祉協議会作成『コミュニケーションボード』を用いた対話研修を行い、有事にも混乱のない対応ができます。

イ 施設立地を理解した提案

金沢スポーツセンターの隣には、公益財団法人横浜市緑の協会が管理運営している長浜公園があり、野球場やテニスコート、多目的運動広場（サッカー場）があります。またスポーツ施設だけでなく、湧き水を利用した淡水の流れがあり、水辺に親しむことができる親水広場、広々とした草地広場、複合遊具がある遊具広場があり、土曜日や日曜日には多くの方が利用しています。

金沢スポーツセンターでは、公益財団法人横浜市緑の協会と連携し、長浜公園の遊具広場で「さわやかスポーツ体験会」を開催したり、長浜公園のイベント「長浜公園感謝DAY」に協力しています。第4期指定管理期間でも連携を継続し、互いの魅力や得意分野を活かした事業を開催していきます。

(3) 障がい者の利用支援に関する取組

当団体は、障害者スポーツ文化センター横浜ラポールを所管する社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団と令和3年度内の包括事業連携協定の締結に向けて準備を進めています。

今後、指導者の育成、スポーツ教室の開催、パラリンピアンふれあいイベント等を通じてパラスポーツの普及を推進してまいります。



ラポール職員を講師に招いた職員研修

ア 初級障がい者スポーツ指導員を配置しています！

私たちは、障がい者スポーツ文化センター横浜ラポール協力のもと、定期的な実践研修を行っており、第4期の公募要項にて指定された初級障がい者スポーツ指導員（日本障がい者スポーツ協会認定）の有資格者をすでに18人配置しています。

今後も、横浜ラポールと協力し、リハビリ教室の開催や障害者スポーツプログラムの監修をいただき、連携した取組を強化していきます。



横浜ラポールでの定期研修

イ 障がい者利用時の利用者支援体制 ～参加障壁をなくして誰もが利用しやすい施設へ～

● 動画や360°パノラマビューのホームページ

金沢スポーツセンターがどんな場所かイメージできるように、施設の設置物、室場、駐車場などの設備が360°の動画で確認することができる「施設屋内ストリートビュー」を導入します。また、ホームページは、障害の有無や年齢などに関係なく、だれもが同じように見られるようにアクセシビリティに配慮するとともに、障害のある方専用のページを設けます。



設備が360°みられるホームページ

■ ハード面の工夫・充実

私たちは、手すりの設置やボタン部分への点字、車いす対応の自動販売機設置など、障がいのある方が不便なくご利用いただける工夫を施してまいりました。第4期の指定管理では、専門家である横浜ラポールや他の障害者スポーツ指導員等と定期的に意見交換を行い、施設設備を工夫・充実させることで、障がいのある方がより利用しやすい環境を整えてまいります。



個人利用にはバリアフリー卓球台を設置



車いす対応の自動販売機



更衣室ロッカーへの点字表記

● 『かながわ障がい者社会参加サポーター』登録施設です！

私たちは、神奈川県による「かながわ障がい者社会参加サポート事業」に賛同し、サポーター登録施設として、車いす対応の駐車スペースやトイレ設置など、バリアフリー対応や障がいがある方への割引制度を設け、障がい者の社会参加・外出をサポートしています。



ステッカーPR

■ ヘルプマーク

横浜市では、義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、または妊娠初期の方など、外見からは分からないが「援助」や「配慮」を必要としている方々が、周囲の方に「配慮」を必要としていることを知らせることで「援助」を得やすくなるよう作成したヘルプマークの普及・啓発を行っています。

私たちは、この趣旨に賛同し、ヘルプマークを館内に掲示するとともに、ノーマライゼーション研修を行い、スタッフの理解を深めます。



ヘルプマークへの理解を促進します

ウ 障がい者向けのスポーツ教室等の計画

■ 障がい者対象の定期的な事業の開催

中途障害者のリハビリスポーツ教室を週1回行うとともに、体育室を使ったボッチャ、フライングディスク、車いすバスケットボールなどのスポーツを楽しむ事業を月に1回実施します。



中途障がい者リハビリ教室

● 障がい者とのスポーツ交流会の開催

私たちは金沢区さわやかスポーツ普及委員会と連携し、カローリングやボッチャによる障がい者との交流会（練習会や大会）を継続して開催します。



カローリング交流会

● ボッチャ等の用具貸出と指導者の派遣

当団体は、障がいのある方が学校や地域で活動できるように、ボッチャ（105セット保有）、ランプ、リリーサーの貸し出しや、ボッチャのルールブックを無料配布するとともに、要望に応じて職員または地域の指導者を派遣できる体制を整えています。



用具の無料貸出と派遣指導

■ パラスポーツを体験する事業を開催します！

私たちは、障害のある・なしに関わらずともに楽しめる「インクルーシブスポーツ」を推進しています。私たちは、東京 2020 パラリンピックを契機に、パラスポーツを体験し、子ども達に将来への夢を持ってもらえるように啓発イベントを開催します。



シッティングバレーボール体験

■ インクルーシブスポーツとは（横浜市スポーツ推進計画）

障害の有無や年齢、性別、国籍等を問わず、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える全員参加型の社会である共生社会の実現に向けた取組を推進する、各人の適性にあつたスポーツ活動です。

施設の効用の最大限発揮について

私たちは、スポーツ基本法前文「スポーツは、これを通じて幸福で豊かな生活を営むことが人々の権利」の趣旨に鑑み、金沢スポーツセンターの施設効用を最大限発揮できる独創的なアイデアで、新しい時代におけるスポーツセンター指定管理者としての使命を果たしてまいります。



(1) 金沢スポーツセンターの施設価値を高める新たな取組

私たちは、スポーツセンターとしての従来のサービスを拡充するとともに、次の**4つを重点事業**として取り組み、金沢スポーツセンターの施設価値を高め、お客様満足度を向上していきます。

① 区民の健康づくりを担う当団体のヘルスプロモーション事業

私たちは、厚生労働省の**指定運動療法施設**の指定を受け、横浜市スポーツ医科学センターとともに**健康事業を推進**してまいりました。横浜市スポーツ推進計画にて「市内のスポーツセンターと横浜市スポーツ医科学センターが連携・協力」が挙げられていることから、**高齢者や疾病者等を含めた”地域の健康づくり”**を担い、社会的課題に応じられる**スポーツセンターこそ、第4期にふさわしい指定管理施設**であると認識しています。

※詳しくは47ページ

■指定運動療法施設とは

指定を受けた施設は、医師の指示に基づき、健康運動指導士が運動プログラムを作成して実施する際、利用料等について所得税の医療費控除が適用されます。市内スポーツセンターでは、**当団体が運営する16施設すべてで指定を受けております。**



② 働き世代・子育て世代のスポーツ実施率向上に寄与します!

■子育て世代を積極的に呼び込みます!

金沢区の重点施策「すくすく育て!かなざわっこ」に資するよう、キッズルームを活かした子育てサービスを実施します。おむつ替えベッドや授乳室、絵本コーナー、ベビーカー置き場など、子育て中も参加しやすい環境を整え、子育て世代のスポーツ実施率を高めます。”**母親孤立**”を防ぐために、赤ちゃんとママのイベントでは「**相互保育フィットネス**」を取り入れます。



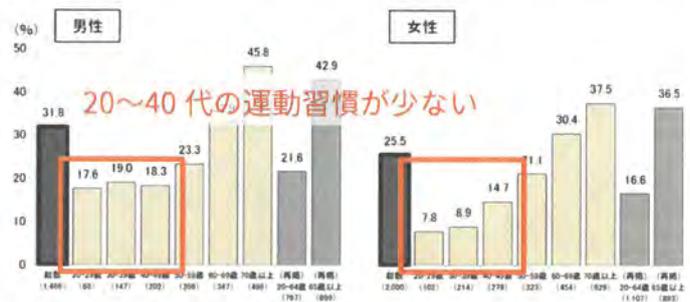
赤ちゃんとママのイベント

● ママ・パパ安心の託児サービス

区内の**保育ボランティア協力の託児サービス**を引き続き実施します。教室参加中のママ・パパが安心してお子様を預けられるよう、保育連絡カードを用いてご家庭と保育者の情報共有を図るほか、職員が定期的に託児状況を確認し、安全性を保ちます。

働き世代のスポーツ実施率を高めます！～働き世代への健康リテラシー向上へ～

右図、平成 30 年度国民健康・栄養調査（厚生労働省）「運動習慣のある者の割合」において 20～40 代、特に女性の運動習慣の低さが危惧されています。健康寿命延伸の鍵を握るこの世代や無関心層へのアプローチには、「楽しさ」や「ライフスタイル」との融合を図ることが大切です。



平成 30 年度国民健康・栄養調査「図22 運動習慣のある者の割合」抜粋

女性が「平日に短時間で取り組める」プログラムの推進 新規

女性の運動不足は、仕事・育児が影響しています（スポーツ庁『平成 29 年度スポーツを通じた女性の活躍促進のための現状把握調査』）。横浜市民スポーツ意識調査でも 20～40 代は「時間がない」「事前に予定が決めにくい」と回答されていることから、予約不要で当日参加できるプログラムを充実させます。



当日参加型ヨガ教室

③ 東京 2020 オリンピック・パラリンピック、ラグビーワールドカップ 2019 レガシー事業

横浜市のスポーツ振興を 90 年以上にわたって担ってきた私共にとって、世界的なスポーツの祭典の自国開催は、市民のスポーツ関心度や子どもたちが生涯に渡ってスポーツに親しむための、絶大なチャンスと捉えています。私たちは、金沢区民の皆さまに世界的なスポーツの祭典のレガシー「長期にわたる・特にポジティブな影響」を遺せるよう、取り組みます。

「beyond2020 プログラム」を協働します！

当団体の組織力を活かし、オリンピック・パラリンピックの出場経験を持つトップアスリートを招いた体験や国際交流のイベントを積極的に行っていきます。

オリンピック イベント 拡充

第 3 期指定管理期間には、オリンピックを招き小学生対象の体操教室を開催しました。第 3 期も開催した「体操協教室」では、オリンピックから直接指導を受けることにより、「楽しかった」「もっと体操を習いたい！」など参加者からお言葉をいただき好評でした。引き続き第 4 期指定管理期間もオリンピックを招きスポーツイベントを開催していきます。



2004 年 アテネオリンピック男子体操団体金メダリスト!米田功さんの体操教室

■ Sport in Life プロジェクト（スポーツ庁認証）**新規**

スポーツ庁は「スポーツを行うことが生活習慣の一部となる」よう、多くの方がスポーツに親しむ社会の実現こそが、目指す“レガシー”としています。当団体は、**スポーツ実施率向上に取り組む団体として「Sport in Life」の認証を受けています。**スポーツ・健康づくりムーブメントが、オリンピックによる一過性のものではなく、持続的な活動となるよう、持続的な活動となるよう、定期的にイベントを開催します。



■ 団体の組織力を活かします！

金沢スポーツセンター周辺の環境を活かした競技の応援事業を行います。区民の皆様にも、オリンピック・パラリンピックをはじめとする「みる」・「する」・「ささえる」スポーツをより身近に感じていただけるよう啓発事業に取り組みます。

■ ゴールボール体験会の実施

金沢スポーツセンター開館 35 周年記念イベントとして、東京 2020 パラリンピック正式種目であるゴールボールの体験会を開催しました。子どもから大人まで 27 名が参加し、白熱した試合を繰り広げました。



● Impact Beyond 2019 レガシー展示

日本中を熱気に包んだラグビーワールドカップ 2019 決勝戦は、当団体が管理する日産スタジアムで開催されました。金沢区の皆さまにレガシーを遺すために、当団体スタッフが帯同した日本代表チームの選手サイン入りジャージや記念写真を展示したコーナーを設置します。



ラグビーW杯の展示

④ パラスポーツの活動拠点として機能を整備します！

私たちは、障がいのある方が新しくスポーツを始める・続けるための場所としてふさわしい施設であるよう整備を進めます。また、障がいのある方とない方が交流し、障がい者スポーツの理解が深まる場であるよう、事業に取り組みます。

■ 参加障壁をなくして誰でも使いやすい施設へ

● 横浜ラポールとの連携・教室プログラム

これまでも、横浜ラポールとの連携により障害者スポーツの研修会や体験会を実施してまいりました。横浜ラポールは「初級障がい者スポーツ指導員養成講座」の地域主催団体（横浜市）であり、当団体はすでに 18 人の当該資格を取得しています。今後も、横浜ラポールの指導員と協力し、リハビリ教室の開催や障害者スポーツプログラムの監修をいただき、連携した取組を実践していきます。

● 障がい者対象の定期的な事業の開催

週 1 回の中途障害者のリハビリスポーツ教室を行います。また、体育室を使用し「ボッチャ」などの軽スポーツを楽しむ事業を実施します。

● 動画や 360°パノラマビューのホームページ

金沢スポーツセンターがどんな場所か、導線、設置物、室場、駐車場など、事前に施設内を確認できるようホームページに「障害のある方へ」ページを設けているほか、「施設屋内ストリートビュー」を導入します。また、障害の有無や年齢などに関係なく、だれもが同じように見られるウェブサイトのアクセシビリティ配慮します。



設備が 360°みられるホームページ

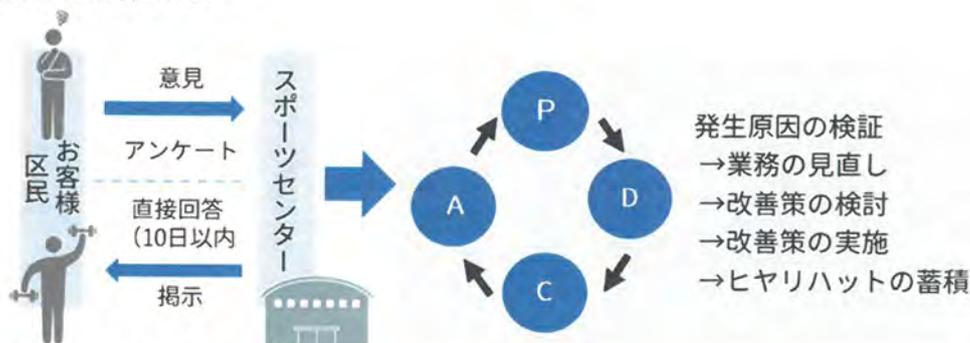
(2) お客様本位のサービス提供

私たちが金沢スポーツセンターの運営で大事にしてきたことは、できる限りお客様との接点を持ち、直接声をうかがうことです。利用時間や利用日拡大、レンタルサービス等は、お客様ニーズに柔軟に対応した一例です。今後もお客様からの要望・意見を積極的に採り入れた、お客様本位のスポーツセンターを目指します。

ア ご意見・ご要望へのオープンでスピーディな対応

私たちは、これまで培ってきたお客様の声を活かした運営改善活動を強化します。当団体で制定した「意見等に対する取扱要綱」に基づき、お客様へスピーディに回答するほか、この取組を館内掲示板で「見える化」します。

■ご意見への対応フロー



■お客様の声反映の手段

種類	対象	実施頻度	回答方法
お客様の声(ご意見箱)	お客様	随時	回答を館内掲示
アンケート	お客様	上半期・下半期	回答・結果を館内掲示
お問い合わせメール	不特定多数	随時	メールにて直接回答・館内掲示
横浜市「ご意見ダイヤル」	不特定多数	随時	回答を館内掲示
第三者調査	お客様	1回	回答・結果を館内掲示・ホームページ掲載



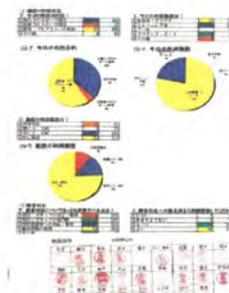
乱雑に駐輪されてた自転車が整然と(ご要望からの改善例)

坂の少ない並木や長浜周辺から自転車で来館されるお客様が多く、時には乱雑に駐輪した自転車が通行の妨げになることがありました。お客様からのご要望にお応えし、駐輪スペースを分かりやすく整備して、駐輪についてのルールも設定しました。



お客様満足度評価

サービス全般から設備面でのより良い運営のために、定期的な満足度調査を実施しています。調査結果は、職員ミーティングにて改善策を決めるほか、アルバイトや講師とも共有し、改善を徹底します。これらの取組により、過去のお客様満足度は平均 90%以上を保っております。第4期も引き続き、日常的な改善活動によるサービスを向上を目指します。
※様式 16「モニタリング」に詳しく掲載しています。



結果はスタッフ全員が確認

イ おもてなしの接遇ができる体制

金沢スポーツセンターでは『スポーツセンター受付マニュアル』と『サービス介助マニュアル』を策定し、サービスの変化に即応するために、毎年更新します。

接遇トレーナーによる定期研修

当団体では、副所長を「接遇トレーナー」として育成し、トレーナー制による職場での実務研修 (OJT) の仕組みを有しています。接遇トレーナーは本部研修後、施設内研修で講師となるほか、職場における実務研修 (OJT) を実践しています。また、サービス介助士の資格を取得し、ノーマライゼーションを進めます。



接遇トレーナー研修

● 高いサービスレベルの徹底方法

金沢スポーツセンタースタッフは、接客研修の後、マニュアルの理解促進とレベルアップのため年2回の定期テストを実施します。「研修(マニュアル理解)→実践→テスト→改善」のサイクルで質の高いサービスを維持します。定期テスト返却時には、所長から日ごろの取組への評価やねぎらいを書き添えます。



100以上の設問テスト

■ スマホ申込み・キャッシュレス決済の導入

● スマートフォンからの教室・イベント申し込み

お客様がいつでも、どこでも思い立った時に、各種教室やイベントにお申し込みができるよう、スマートフォン専用サイトを設けています。第4期指定期間も引き続き実施します。

● キャッシュレス決済をさらに拡張して、利便性を高めます！

交通系電子マネー決済は、金沢スポーツセンター第1期指定管理に導入し、お客様に定着しています。また、教室参加料のお支払いにはクレジットカード決済機能を設け、お客様の好評を得ています。第4期指定管理はスマートフォン決済を拡張し、さらなる利便性向上を図ります。



券売機・レジ・自動販売機すべてキャッシュレス化します

■ 日本公共スポーツ施策推進協議会“最優秀賞”獲得の「ワンストップサービス」導入

● グランプリを獲得したワンストップ化ツール「iPadを活用したサービスカタログ」

初めて来館されたお客様には、スポーツセンター『サービスカタログ』を活用し、円滑な利用を促します。カタログはiPadでも閲覧できます。この取組は日本公共スポーツ施策推進協議会でグランプリを獲得。当団体は公共スポーツ施設で全国に先駆けてタブレットツールを導入しました。



JPPC アワード 2016 最優秀賞をいただきます

当団体スポーツセンターコンシェルジュの定義
お客様の目的に応じた案内・提案力があり満足度の高い接客ができるスタッフ

お店の顔としてお客様と接する重要な役割です。満足度の高いご案内・サービスによってスポーツセンターに「また来たい」と感じていただければ、私たちが目指す区民のスポーツ振興・健康増進につながります。

● 私たちはスポーツセンターコンシェルジュスタッフです！

スポーツセンターコンシェルジュとしての受付スタッフは、施設の利用方法から、市内の施設・サークル・イベント情報までの幅広い情報を、お客様におもてなしの心を持って、わかりやすく提供します。区内 PTA や子ども会役員など地元に通じたスタッフが多く、区内周辺施設などの豊富な知識でお客様をお迎えします。



お任せください！

■ 苦情対応・データベース

運営責任者の副所長を苦情受付窓口とし、一次対応で解決しない場合は、統括責任者の所長が引き継ぎます。苦情・要望はヒヤリハット集と同様にスポーツセンター全体で共有し、データベース化しています。内容と解決方法は、毎月金沢区に報告いたします。

(3) 団体、個人利用者へのきめ細かい支援策とリピーター増のご提案

ア 団体利用者への支援

■ タイムリーな空き情報の発信

館内掲示、ホームページ、スマートフォンサイトで、随時、各体育室の空き情報を提供し、利用を促進します。他のスポーツ施設の空き情報（市民利用施設予約システム登録施設）についても、適宜ご案内し、運動機会のロスを防ぎます。



twitter でもこまめに空き情報を発信しています

■ 施設予約・お支払いのオリジナルサービス

● 前日・当日予約の直接受付（代行サービス）

団体利用の前日・当日のご予約は、市民利用施設予約システム利用者では申込できません。その場合は、電話または直接来館でのご予約を受け付け、利便性の向上を図ります。お支払いのために来館する手間を省くために、**当日支払いも可能**とします。

● 他施設の利用料も一括決済できます！

当団体が指定管理者となっているスポーツ施設（スポーツセンター・横浜国際プール・平沼記念体育館）における「施設間相互受付システム」を構築済みです。複数施設分の利用料一括精算ができるようになり、団体利用のお客様から好評です。第4期もこの取組を継続します。

■ フロア設営サポート

貸切利用で使う器具は、安全管理のため、職員が器具庫からフロアまで搬出します。設置方法がわからないときや大型器具の移動が困難との申し出があった場合は、職員がサポートします。



大型器具のセッティング

■ 競技団体やサークルへのサポート（相談役）

● 競技大会等のサポート

私たちは、主催者との事前打ち合わせを行い、区民大会等の会場としてサ
主催者によっては、準備や片づけに時間を要するため、開館時間を早めたり、
に対応し、大会の円滑な運営を支援します。



競技団体との打ち合わせ

■大会等事前打ち合わせ	
打ち合わせ内容	用具備品貸出、減免書類、役員入り時間、来場者導線、駐車場案内、その他準備
支援内容	開館・閉館時間の調整、役員駐車場の確保、大会プログラムへの助言、音響設備、大会PR支援、大会結果のホームページ掲載

● サークル活動のサポート

サークルメンバー募集や対戦相手募集、試合結果を専用掲示板にて発信
します。また、日頃の練習成果を発揮する場としてサークル発表会を開催
します。引き続き、当団体が主体的にサークル間の交流や活性化を促し、
継続的なスポーツ活動を支援します。



サークル掲示板

■ Wi-Fi スポットの設置（継続）

金沢スポーツセンターは、年 30 回ほどの競技大会会場となっています。スマートフォンなど、
試合結果のウェブ速報などを投稿しやすいように Wi-Fi スポットを設けます。

今後、東京 2020 オリンピック・パラリンピックを契機に増加すると予想される外国人利用者な
どにとって、利便性の良い施設環境づくりを進めます。

イ 予約不要・少人数で楽しめる体育室の個人利用

体育室の個人利用枠は『金沢スポーツセンター業務の基準』内の「利用枠設定の考え方」に基づき、少人数でも気軽にスポーツを楽しめるよう開放します。種目は卓球・バドミントン等とし、安全を確保した定員数を設定します。ホームページにて随時混雑状況をお知らせするほか、大会開催等で利用ができない日程は、月間予定表を配布しています。



個人利用予定表
(イメージ)

NEW!! 新たに働き世代・子育て世代の運動機会を増やすために、土曜日・日曜日・祝日に個人利用の枠組みで親子イベント等を開催します。
※利用枠の考え方について、金沢区役所に相談の上、実施します。

ウ トレーニング室のお客様への支援

いつでも利用できるトレーニング室は、運動機会の確保が難しい方々にとって、スポーツセンターで最も適したサービスとも言えます。

私たちは、トレーニング室の延べ利用人数を、第2期指定管理最終年度である平成27年度の46,291人から、平成30年度には51,612人まで増加させることができました。

第4期指定管理期間においても、金沢区民の健康づくりにトレーニング室が有効に機能するようにサービスを拡充いたします。

■ トレーニングマシンの全面リニューアル

私たちは、平成25年度にトレーニング室の機器の一部をリニューアルしました。ランニングマシンや固定式バイク等有酸素系運動機器の使用頻度も高いこともあり、消耗が進んでいます。そこで、安全性が高く、女性や高齢者の方が利用しやすいマシンへ更新を行います。コロナウィルス感染症対策を踏まえ、FIA（一般社団法人日本フィットネス産業協会）のガイドラインを参考に蜜を避けた適切なレイアウト配置にします。



更新する主なマシン	主な特徴
ウォーキングマシン	安全なご利用のためにハンドルバーが2箇所を設置されているものにします。
ストレングスマシン	マシンのフレームはボルト止めではなく、頑丈なワンフレームなものにします。座席部には、ガタ落ちしないよう、ガスダンパーを装備しているものにします。

■ 初めてのお客様への対応

初めてトレーニング室をご利用されるお客様には、健康状態やトレーニングの目的をお聞きします。その後、トレーニングマシンの使い方とおお客様の目的に合わせたトレーニングメニューを作成します。これらの対応は、『トレーニング室運営マニュアル』に基づき実施します。

■ スポーツ医科学に基づくトレーニング室のプログラム

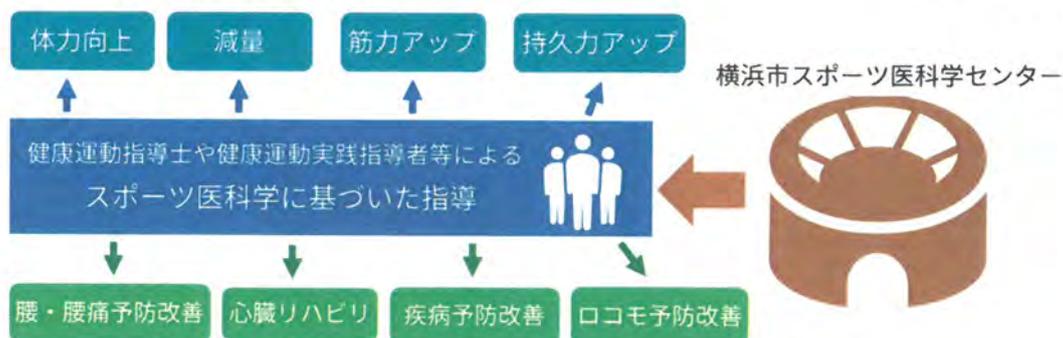
横浜市スポーツ医科学センターと連携し、指定運動療法施設としての機能を最大限発揮します。運動療法のお客様がトレーニングする際は、専門資格を有したインストラクターがサポートします。

※(6)多彩な自主事業の計画『ウ：ヘルスプロモーション事業』詳しく記載



継続した運動習慣につなげます

■ トレーニング室利用者へのプログラム体系



● パーソナルトレーナーによるきめ細やかな運動指導

スポーツ医科学的な専門知識を有したインストラクターが、お客様のニーズに合わせたトレーニングプログラムを提供します。個人の目的に合わせた運動指導となることで、これまで対応しきれなかった細部にまでこだわることができ、より理想的な体づくりが可能となります。

■ 障がいのあるお客様へのサポート

障がいがある方も、金沢スポーツセンタートレーニング室をご利用いただいています。横浜ラポールと連携し、安全で的確なトレーニングが提供できるよう、所属する初級障がい者スポーツ指導員がマシンやスペースに工夫を施し、継続的に運動ができる環境づくりを強化します。



ストレッチしやすい高さに脚を設置

■ 継続を促すお得なサービス

私たちは、トレーニング室 10 回分の利用料金で 11 回分の利用ができるリライト式カードを販売しています。このカードは、当団体が管理するスポーツセンター共通のカードとし、利便性の向上と継続利用を促します。

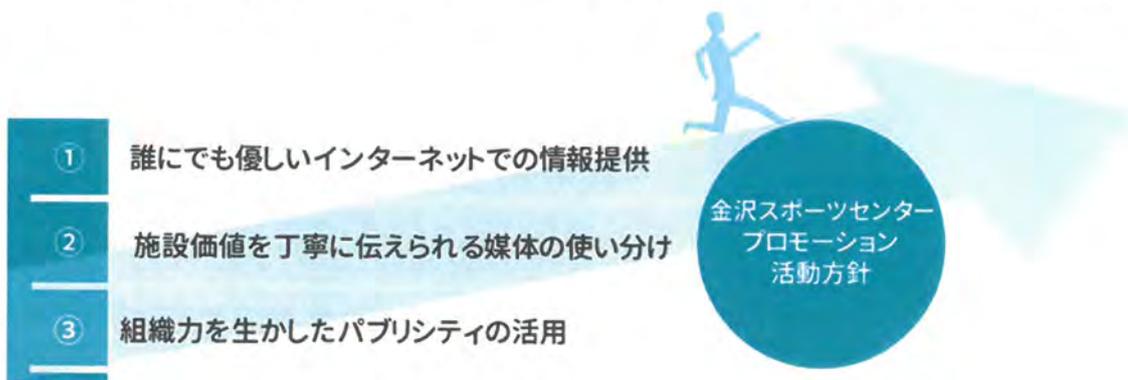


リライト式カード

(4) 元気な区民を増やすための広報と利用促進策

ア 金沢スポーツセンター・プロモーション計画

「プロモーション」とは一般的に「販売促進」を意味します。私たちはこれを、金沢スポーツセンターを認知していただき、**運動意欲を喚起するための重要なアクション**として実施します。



■ 誰にでも優しいインターネットでの情報発信

金沢スポーツセンターホームページへのアクセス数は1日あたり500件を超え、そのうち、スマートフォンからのアクセスが7割となっています。twitter フォロワー数は300人を超えています。

● ホームページをリニューアルします！ 新規

施設サービスの視覚化は来館ハードルを下げ、運動実施率を高めるために、**誰もがわかりやすい画面、動画を活用した最新デザイン**にリニューアルします。スマートフォンなど端末サイトへの最適化や、高齢者・障がい者に配慮した横浜市ウェブサイトアクセシビリティ方針に沿ってデザインします。



アクセシビリティ基盤委員会 HP より引用

● インターネット広告を強化します

インターネットでの広報を強化し、集客力を高めます。金沢スポーツセンター教室申込数の約4割がインターネット経由です。これまで蓄積したマーケティングデータに加え、新たにホームページ解析ソフトで分析し、効果的な広告を行います。また、区内施設と連携し、相互バナーを掲載します。

● SNS・映像コンテンツを効果的に使います

SNS を映像コンテンツに適した情報発信ツールとして引き続き活用します。また、デジタルサイネージの導入やホームページでは家でできるストレッチなどを紹介し、運動の継続を促します。



配信しているハマスポ
エクササイズ動画

②多様な媒体を効果的に使い分けます

金沢スポーツセンターの広報媒体は、顕在層（利用者）と潜在層（見込み客）の特性や対象年齢層、タイミングなどで適切に使い分けるなど、情報を効果的な形で配信し、認知を促していきます。

<p>広報で使用する 主な媒体</p>	<p>チラシ・ポスティング</p>  <p>比較的年齢の高い層へのPR・新規利用者獲得</p>	<p>金沢区広報・回覧板</p>  <p>区民・近隣住民の方への理解促進・PRとして</p>	<p>リーフレット</p>  <p>派遣指導や区内施設への設置による販売促進</p>
<p>ホームページ</p>  <p>・顕在層への販促ツール ・新規客に魅力を伝える</p>	<p>SNS (twitter)</p>  <p>・顕在層への販促ツール ・潜在層へのアプローチ</p>	<p>地元メディア (ケーブルテレビ等)</p>  <p>施設の認知度向上し、 潜在層を増やすツール</p>	<p>区内イベントでの 施設PR</p>  <p>区民、近隣住民の方への 理解促進・PRとして</p>

年間広報計画

教室や事業に合わせた広報媒体を活用し、計画的で切れ目のない、タイムリーな広報活動を展開します。広報活動後は、利用者アンケートやホームページ閲覧分析を用いて、効果測定を行います。

金沢スポーツセンター広報スケジュール

媒体名	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
広報よこはま区版	教室募集 施設情報 イベント情報	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
地域タウン誌			●		●		●		●		●		●
区内公共施設			●		●		●		●		●		●
区内小学校			●		●		●		●		●		●
WEB・SNS等													

広報重点エリア

図1のとおり金沢スポーツセンター3km圏内の特に人口が多いエリアへ、重点的に広報活動を行います。当団体のノウハウを生かした健康づくりプログラムを知っていただくことにより、更なる賑わい（集客）を創出します。



スポーツ情報コーナー

市・区内の他施設情報やスポーツイベントなどの各種パンフレットやチラシをまとめたインフォメーションコーナーを引き続き設置します。またラックには、区内の公共施設や子ども向け通信、老人クラブ連合会などの情報を設置します。



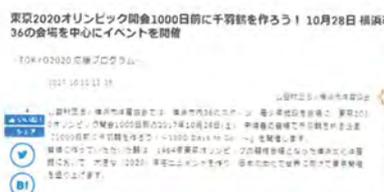
見やすく工夫したチラシラック

③パブリシティ活動を積極的に行います！

当団体は、市民イベント・国際大会等を通じて新聞各社、テレビ・ラジオ局などのマスコミと協力関係を築いております。イベント等のプレスリリースを積極的に行い、当館の存在を広くアピールしていきます。報道各社への情報提供には、直接の申し入れのほか、横浜市報道担当と協力し、市政記者発表の場を活用させていただきます。

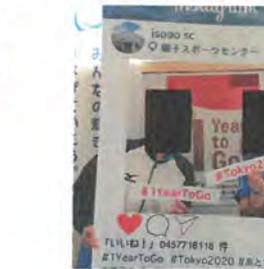
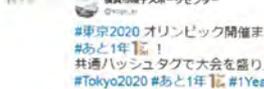
記者発表とインターネットでのプレスリリース

新聞やインターネットニュースに掲載されました



5色の折り鶴 2020 描く
五輪機運盛り上げ

東京五輪・パラリンピック開会1000日前に、横浜市は、市民が参加できる「5色の折り鶴 2020 描く」を開催する。...



お客様による情報発信を促します！



多くのお客様にご来場いただきました！

74 加盟団体の組織力を活かします！

当団体には 74 の競技スポーツ・地域スポーツ団体等が加盟しており、その強固な情報ネットワークがあります。当団体が主催する市民スポーツ委員会での広報活動やスポーツ情報サイト「ハマスポ」などの媒体で迅速かつ効果的にスポーツ情報を発信します。金沢スポーツセンターでは、このネットワークを存分に活用して事業を展開します。



加盟団体代表者会議

イ 新たなお客様にお越しいただくためのご提案 (①イベント型集客)

■ キャンペーン・タイアップ企画

冬季の利用者が減少する時期に年末キャンペーン企画として、当日教室参加の方々へポイントカードを配布し、ポイント付与に応じた還元サービスを行います。また、開館 40 周年記念キャンペーンを企画し、金沢スポーツセンターの賑わいを創出します。

● 毎月5のつく日はシニア向け『濱ともカード優待 Day』

65 歳以上の横浜市民に向けた優待サービスとして、横浜市健康福祉局が実施している「優待施設利用促進事業」に協力します。シニア世代の運動習慣は健康寿命の延伸に重要です。濱ともカード優待パンフレットに掲載し、ご利用のきっかけづくりとします。

● ベイスターズ『YOKOHAMA STAR☆NIGHT』(みるスポーツ・ささえるスポーツ)

金沢スポーツセンタースタッフがベイスターズ「YOKOHAMA STAR☆NIGHT」限定のユニフォームを着用する盛り上げ企画です。ユニフォームは、支援企業である横浜 DeNA ベイスターズから提供していただきます。地元のプロスポーツチームを区民一体となって応援し、「みるスポーツ」を盛り上げます。



お客様・スタッフにも大好評の企画です!

■ 金沢区内でのアウトリーチ活動

● 区内賑わいスポットへの出展

金沢スポーツセンターを拠点に、地元商店街や近隣施設等とタイアップし、施設PR及び健康リテラシーを高めるイベントを定期的に行います。金沢スポーツセンターの最寄り駅であるシーサイドライン「並木中央駅」の裏にある車両基地で開催されるシーサイドラインフェスタに出展し、体力測定やニュースポーツ体験などを行いました。第4期指定管理期間においても引き続き協力していきます。



シーサイドラインフェスタに出展

● 近隣施設・住民の方を招待します!

金沢スポーツセンターが在る金沢シーサイド地区は、区内でも高齢者が多い地区です。当館の認知拡大や多世代の交流などを図るため、ロビーで様々なイベントを実施します。



ロビーを活用したハンドベルコンサート

■ 利用者還元イベント「スポーツ・レクリエーションフェスティバル」

スポーツ・レクリエーションフェスティバル実行委員会主催の通称『スポレク』を日頃ご利用いただくお客様への謝恩企画として開催します。スポレクでは、普段開催する教室プログラムやトレーニング室の体験会を開催し、今後のご利用のきっかけづくりとします。



利用者還元イベントスポレク

東京 2020 オリンピック・パラリンピックレガシーイベント

東京 2020 オリンピック・パラリンピック会場となる横浜市にある施設として、応援事業を開催するほか、大会終了後はレガシー事業を実施するなど、新たなお客様の来館動機を作ります。

ウ 新たなお客様にお越しいただくためのご提案 (②運動不足解消！企業連携プログラム)

SPORTS for ALL ～すべての人にスポーツを！～ 新規

スポーツ庁は「スポーツ無関心層」誘因策に取り組んでいます。金沢スポーツセンターが無関心層の行動変容を促すきっかけになれるよう、多様な企業との連携による新しいサービスを開発し、スポーツ人口拡大を目指します。

● たんぱく質、足りてますか？ (森永製菓とのタイアップ)

森永製菓は錦織圭などトップアスリートを支援しています。生理学・バイオメカニクス・栄養学等を駆使したスペシャリストと、新たに成人の「食・栄養」をテーマにしたタイアップ事業で働き世代にアプローチします。

現代女性はたんぱく質が不足！



● 「アシックスヘルスケアチェック」の実施

アシックスで独自に開発された測定サービス「アシックスヘルスケアチェック」を実施します。歩行能力を中心に、体脂肪や筋量などの体組成、記憶力などの認知機能、基本的な体力やストレスを計測し、健康寿命を予測します。結果を元に、健康状態を維持・向上するために必要なトレーニングや歩行姿勢のポイントなどをご提示し、働き盛り世代に向けて健康の重要性をお伝えします。



歩行測定

エ 利用促進・拡大のためのデータ活用

非利用者データを用いた重層的な分析

市場調査や非利用者の状況を調査し、利用拡大を図ります。横浜市の実施している横浜市居住満 20 歳以上男女 2,500 人を対象にした「横浜市民スポーツ意識調査」など、金沢区居住者のデータ収集を行い、スポーツセンター事業立案に活用します。さらに、市場調査会社による商圈分析など、客観的データを用いた重層的な調査によ、潜在層・非利用者分析に活用し、利用につなげます。



横浜市民スポーツ意識調査

ICT・情報技術をつかった利用促進策

● マーケティング情報を教室サービスに活かします！

継続した参加を促すために、お客様の手続きはインターネットを用いてできる限り簡略化します。当団体では既に教室事業における申込システムを構築し、金沢スポーツセンターでは 5,000 件以上の方が登録されています。登録者情報をマーケティングデータとして分析し、ニーズにマッチしたプログラムを提供します。



● 蓄積されたビッグデータを活かします！

当団体が管理するスポーツセンターでは、**無料・有料に関わらず** 全てのご利用状況を正確に把握する独自システムを構築しています。私たちは、このデータを活用し、お客様が場所・プログラム・日程から自由にスポーツイベントを見つけられるウェブ上のプラットフォーム『ここスポ』（スポーツ庁実証事業）に情報掲載しています。当団体管理施設、年間利用者約 400 万人以上におよぶビッグデータを活かしてスポーツ実施率を向上させます。



「ここスポ」ホームページ

● データ解析でプログラムの付加価値を高めます！ **新規**

当団体は、慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科スポーツシステムデザイン・マネジメントラボと事業連携を締結しています。金沢スポーツセンターにおいて、データ解析を取り入れた新しいプログラムを実施します。当団体が管理する横浜銀行アイスアリーナでは、滑走を映像で確認し、プロスケーターのデータをもとに自分のベストフォームを見つける事業を開催しました。



映像を使った新しい教室プログラム

(5) 金沢区民の心身の健康に資するスポーツ教室等の計画

ア 教室事業の考え方～金沢区の特性とお客様ニーズを反映します～

■ 金沢区民の人口特性を生かした教室設計

私たちは、金沢区民のスポーツ実施率を高めるために、**公益スポーツ団体の強みである多様目・多世代への豊富なプログラムで教室事業を構成し**、指定管理者としての使命を果たしていきます。

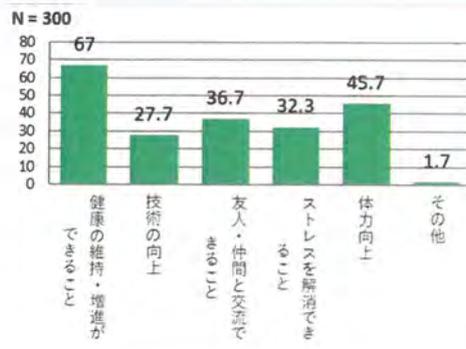
また、金沢区は高齢人口割合が増加し続けています。今後の高齢化社会に向けての取組として、高齢者を対象とした体操教室や介護予防など健康づくり教室を重点的に実施し、健康寿命の延伸に貢献します。

さらに、子育て世代に向けたプログラム、子どもが健やかに育つ環境づくりにも目を向けた充実した教室を展開します。

■ 参加者の目的に沿ったプログラム

毎年延べ約58,000人以上の方が参加される金沢スポーツセンタースポーツ教室。令和元年度に実施した調査では、**運動の実施理由は「健康の維持・増進」が最も多く**、次いで「体力向上」、「仲間との交流」となっています。

教室内容は、お客様の目的に沿うよう指導計画に反映させるとともに、ご参加の目的を達成することにより、満足度の高い教室プログラムを実現していきます。



「運動をする際に何を重視するか」
(令和元年度当団体調査)

■ 強化する教室プログラム

● 働き世代向けフィットネス **新規**

日本公共スポーツ施策協議会公認プログラム『**エイバックスタンズプログラム**』を導入するほか、引き続き公益社団法人日本フィットネス協会の協力を仰ぎ、各地で人気の最新フィットネスプログラムを導入します。常に新しいプログラムを導入することで、新たなお客様を開拓します。



DANCE BOX
エイバックスタンズプログラム

● 運動が好きになるキッズプログラム **拡充**

私たちは、アシックススポーツファシリティーズ株式会社や日本体育大学、スポーツリズムトレーニング協会との協力関係のもと、最先端のスポーツ科学に基づき、子供の運動能力を引き出すプログラムを実施します。

当団体が導入した『**リズムジャンプトレーニング**』など新たなプログラムにより、運動が苦手なお子様でも楽しみながら体を動かすことができます。



楽しく体が動くリズムジャンプトレーニング

イ 金沢スポーツセンター教室計画

■ 定期教室

● 幼児期からジュニアまでの教室

横浜市スポーツ推進計画にある「スポーツをしない子どもへのアプローチ」として、遊びの動きを取り入れ、運動の習慣化を図ります。また、私たちの専門性を活かしたスポーツ医学に基づくプログラムを展開します。

こどもHIPHOP①・②・③	25人	50分	ステップの基礎を学び、楽しく動きながら体力向上を図ります。
こどもバドミントン(初級)	50人	75分	バドミントンの基本動作や楽しさを学びます。
こどもバドミントン(中級)	20人	75分	バドミントンの基本動作からスキルの向上を目指します。
幼児体操教室①・②	30人	60分	様々な用具を使い、身体を動かすことの楽しさを習得します。
苦手チャレンジ	35人	60分	楽しく動きながら、苦手種目の克服と体力向上を図ります。



● 16歳以上対象の教室（スポーツ・フィットネス）

基礎体力の維持・向上、仲間づくり、基礎的な競技テクニック習得を目的に、運動の習慣化を促すプログラム。生活習慣病予防や精神的ケアなど多様なプログラムで運動しない層を取り込みます。

バドミントン	55人	105分	技術向上を目指しながらゲームに必要なマナー、練習方法などを学び、より実践的技術に磨きをかけていきます。
太極拳(火曜/金曜)	50人/50人	90分	基本動作を確実に習得していくよう進めていきます。
フラダンス(水曜①/水曜②)	40人/15人	75分	基本動作を確実に習得していくよう進めていきます。
卓球リーグ(水曜/金曜)	51人	105分	卓球のスキルの向上を目指します。
卓球(木曜①/木曜②)	70人/28人	90分	基本技術習得からゲームができるように進めていきます。また、参加者同士楽しく運動ができるように行います。
フラダンス(木曜)	40人	75分	基本動作を確実に習得していくよう進めていきます。
バドミントンリーグ	22人	105分	バドミントンのスキルの向上を目指します。
ピラティス	40人	50分	身体の正しい使いかたを学び、癖やゆがみを正していきます。
代謝アップ	40人	50分	基礎代謝アップを目指し、トレーニングと有酸素運動を行います。
朝ヨガ	40人	50分	姿勢や呼吸法を正しく学び、心身共にリフレッシュを図ります。
コースヨガ	100人	60分	姿勢や呼吸法を正しく学び、心身共にリフレッシュを図ります。
生活習慣病予防	50人	60分	有酸素運動と筋トレを組み合わせた楽しく続けられる教室。
体幹トレーニング	50人	90分	用具や自重で負荷をかけたトレーニングで体幹を鍛えます。

● 健康づくり・シニア対象教室

継続的な活動や仲間づくりにつながるよう工夫された多種多様な運動プログラムです。ロコモティブシンドローム対策や転倒骨折予防を念頭に置いた介護予防プログラムを実施します。

肩腰膝改善(月曜①・②)	20人	50分	道具を用いた運動で方・腰・膝の痛みの改善を図ります。
はつらつ体操	40人	60分	有酸素運動とトレーニングを組み合わせ、体力の維持向上を図ります。
リハビリ体操	20人	50分	ストレッチやトレーニングなどで体力の維持・向上を目指します。
肩腰膝改善(火曜①・②)	20人	50分	道具を用いた運動で方・腰・膝の痛みの改善を図ります。
らくらく体力づくり①・②	20人	50分	楽しく身体を動かすための体力の維持向上を図ります。
しっかりした足腰づくり	30人	60分	ウォーキングや下半身のトレーニングで転倒骨折予防を図ります。
女性健康体操	50人	90分	女性のための楽しい健康プログラムで体力の維持向上を図ります。
姿勢改善教室	20人	60分	美しい姿勢づくりを目指したトレーニングを行います。

● カルチャー教室

スポーツをされないお客様にも当館をご利用いただく機会を提供するとともに、研修室の空きコマ活用として実施します。

子どもアトリエ(絵画・造形)①・②	15人	60分	いろいろな作品に取り組みながら創造力を育てます。
子ども書道	20人	60分	書道の基礎から学びます。
健康マージャン	20人	75分	マージャンを通して脳トレを図ります。
水墨画	20人	110分	水墨画の基礎から学びます。

■ 当日受付教室 (事前の申し込みなく都度参加する教室)

スポーツタイムはメンバーを固定せずゲームを中心としたプログラムです。フィットネス系教室は、ヨガやコアトレーニングなど人気のプログラムを豊富に用意し、定期教室修了後のお客様も積極的に取り込みます。

姿勢コンディショニング (骨盤底筋編)	45人	50分	骨盤底筋を鍛えることで骨盤を安定させ正しい姿勢を作ります。
ヨガ(月曜・水曜・木曜・土曜)	40人	50分	ヨガの基本動作を習得し、体力の向上を図ります。
健康体操	20人	50分	椅子に座ってできるストレッチや体操で体力の維持向上を図ります。
エアロビクス(水曜①・②)	60人	60分 /45分	エアロビクスの動きで体力の維持向上を図ります。
らくらく骨盤体操	20人	40分	骨盤まわりをほぐし全身を鍛え、代謝アップを図ります。
ZUMBA①・②	60人	50分	ラテン系音楽とダンスを融合させた楽しい振り付けで、動きます。
姿勢コンディショニング (ストレッチポール編)	20人	30分	ストレッチで体をほぐし、姿勢の改善や全身のリフレッシュを図ります。
モーニングボクサ	60人	60分	ボクシングの動きで楽しく安全に体力向上、シェイプアップを図ります。



■ 多様な教室事業の形態

子育て世代からシニアまで多世代のお客様にご用意する教室プログラムを、お客様が効率よく目いっぱいご利用いただくために、次の形態で構成します。

定期教室	参加者を事前に募集し、一定期間継続的に行うことで、基礎技術や知識を段階的に習得するとともに、共にスポーツに親しむ仲間づくりを促進します。
当日教室	色々な教室に参加したいお客様、都合に合わせて参加したいお客様のために、事前の申し込みなく参加できることで、運動の機会を確保します。
短期教室	参加者を事前に募集し、夏休み・冬休み期間を利用した教室事業を実施することで、スポーツ・文化活動の生活化・日常化を促します。

● 金沢区全域での教室展開（他施設との連携事業）

区民の健康づくりを担う当団体は、スポーツセンターから離れた地区にお住まいの方に向けて、区全域にわたって健康づくり活動が広がるよう地区センターや地域ケアプラザ、子育て活動拠点等を会場とした教室を展開していきます。

※様式 15 「地域との協力」 に詳しく説明しています。



● オンラインを活用した教室展開

金沢スポーツセンターに足を運ぶことが難しい方や、新しい生活様式に対応するための一環として、オンラインを活用した教室を展開します。当団体が管理する市内スポーツセンターと連携し教室を展開することで、金沢区民にとどまらず、新たな顧客を獲得することを目指します。



スポーツセンターで行ったオンライン教室

ウ 満足度向上につながる教室事業のPDCAサイクル

多様なお客様に満足度の高いプログラムを提供するためには、私たちは絶えずお客様の声を聞く機会を確保し、それを講師とともに改善するというPDCAサイクルを根気よく続けることが最も重要です。私たちは、教室事業のPDCAサイクルの徹底と併せ、新たなフィットネスプログラムの導入など、フィットネス市場の動向にも目を向け、参加者を飽きさせない工夫を絶えず行います。

■ 教室の企画から改善まで 徹底したPDCAサイクル

● 教室参加者への効果測定

運動の機会を絶たず継続率を高めるために、プログラムに健康・体力増進の効果測定を用います。姿勢改善教室などの定期教室初回時と終了時の数値を比較し、効果を知ることで継続の動機につなげます。



姿勢と筋肉を見える化する測定



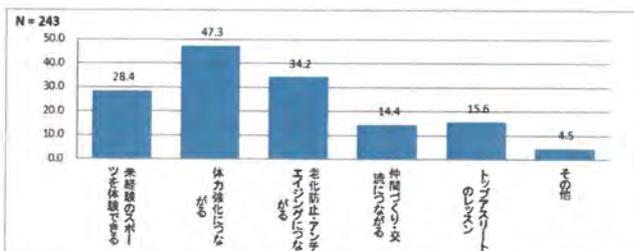
● レッスン内容のモニタリング

教室ごとのレッスン計画に基づき、各回のプログラムや指導方法の留意点を記した指導案を作成します。外部講師による指導は、各回終了後に職員が報告を受けるほか、プログラムのマンネリ化、参加者への不適切な言動が無いように、チェックシートによるレッスン内容の評価を定期的に行います。

確認した教室チェックシート

● 新たなプログラムの導入とリニューアル

プログラムのマンネリ化防止のため、定期的に参加者へのアンケートを行い、プログラムを改善・変更します。さらに、金沢スポーツセンター全体の顧客満足度が低下しないよう、トレンドのプログラムなどの新規教室に切り替えます。



定期的なアンケートで「参加目的」をうかがい、新規教室に反映します。

● 定期教室修了者の継続を促すサポート

私たちは、総合型地域スポーツクラブや区内の競技団体やクラブを支援しているため、教室終了後のお客様には地域コミュニティでのスポーツ活動を啓発していきます。また、当日受付教室において運動強度に差をつけたフィットネスプログラムを開催し、継続的に運動できる環境を用意します。



当日参加の「ヨガ教室」

■ プログラムに合わせたインストラクターの配置

● 当団体のインストラクター

ヘルスケアや子どもの体力・競技力向上のための最新プログラムを導入したジュニア教室は、職員が直接レッスンにあたります。お客様に親しみを感じていただきやすいことに加え、ニーズに応じた運動プログラムを一貫して提案することができます。



職員による苦手チャレンジ教室

● 団体連携による専門インストラクターのレッスン

バドミントンや卓球などの競技種目は、当団体加盟の市・区体育協会等に所属する講師に依頼します。また、地元出身オリンピックや横浜F・マリノス等のプロコーチや選手を招へいし、トップスポーツ界での活躍経験者らの指導により、競技への関心を高めることができます。



横浜マリノスサッカー教室

■教室運営に協力していただく団体

団体名	担当教室
横浜市卓球協会	卓球教室
横浜市バドミントン連盟	バドミントン教室
横浜市太極拳協会	太極拳教室
横浜F・マリノス	ふれあいサッカー教室

●初級障がい者スポーツ指導員の配置 **新規**

障がい児対象の教室は、プログラム構成などを横浜市リハビリテーション事業団の協力を仰ぎ実施します。常勤の初級障がい者スポーツ指導員が教室講師となり、障害のあるお子様、また一緒にご参加いただく保護者の方に、日常的にスポーツができる環境を提供します。



資格保有者の副所長が推進します

●地域人材の積極的な登用

金沢区スポーツ協会、横浜市スポーツ・レクリエーション人材養成講座修了生、横浜市スポーツ人材活用システムに登録する地域の方へ、各種教室の講師や運営補助従事者として地域人材を活用します。



ヨガ教室の講師

エ 安心の教室運営のために

■外部講師への教育徹底 ～安全性とホスピタリティの確保～

金沢スポーツセンターで計画する 38 種の教室を安全に行うために、外部講師への安全教育を特に徹底します。また、公共サービス従事者としてスポーツセンター設置目的等を十分に理解し、レッスンにあたります。



月初の AED 訓練

■外部講師との確認事項

契約時 (年 1 回以上)	緊急時の対応(誘導班、避難経路の確認) 施設の運営方針、接遇マナー、モニタリングへの参画 個人情報の取り扱いに関する誓約書 資格書類、健康診断の確認
月初	AED訓練
出勤時	コロナウイルス等感染症防止対応、衛生管理への協力 教室参加者からのご意見・お褒めの言葉、アンケート結果等 施設からのお知らせ



出勤時の申し送り事項にサイン

■全参加者対象に傷害保険を独自加入

スポーツ教室のプログラムは、安全面を十分に配慮していますが、万が一の事故に備えて、全ての参加者を対象に、指定管理者独自に傷害保険に加入します。新たに実施する**オンラインレッスン**も対象となります。※補償内容は、様式 14「安全管理(3)」に詳しく掲載しています。

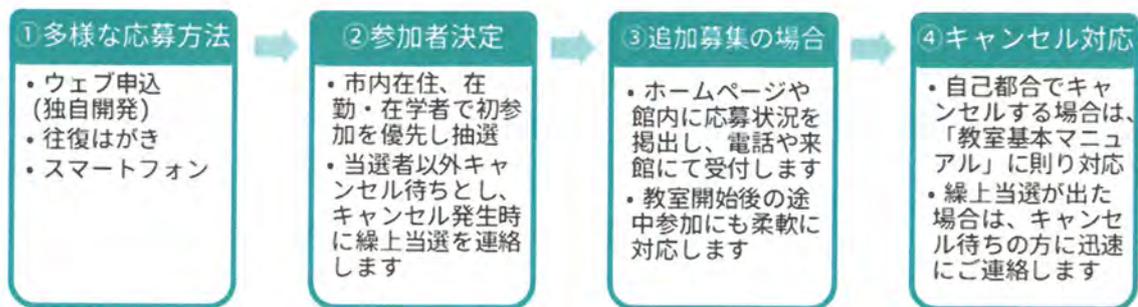
■ 荒天予報時等の事前連絡

台風接近や大雪などの荒天により、金沢スポーツセンター最寄りの公共交通機関がマヒした場合は、原則として教室開催を中止または順延とします。定期教室へ参加されているお客様には、ホームページでの注意喚起に加え、電話連絡や電子メールによる連絡を確実に実施します。

オ 教室への参加方法

■ 定期教室

年間4期(約3か月間)を基本に開催し、事前に参加決定することで継続的・段階的にプログラムが構成でき、参加者の上達度や達成感が得られる教室です。多様な応募方法に対応し、多くの区民、市民の方々に運動・スポーツを体験する機会を提供します。



■ 当日受付教室

「今日は時間が空いたから運動したい!」というお客様が、気軽に参加できるように、先着順による当日申込みの教室を開催します。

金沢スポーツセンターの当日受付教室参加者数は、第3期指定管理開始前年度から延べ5,500人以上もお客様が増えています。今後も、金沢区民のスポーツ参加機会を増やせるようプログラムの充実を図ります。



当日受付教室PR広告

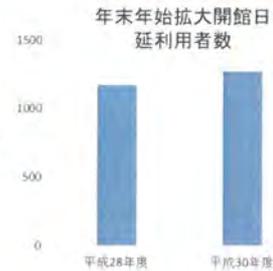
(6) 多彩な自主事業の計画

金沢区民のスポーツ実施率向上のために、私たちはこれまで開館日・時間の拡大、教室事業の拡充などに取り組みました。また、利便性向上策としてレンタル・物販、自動販売機を設置し、その収益を指定管理事業に充当してまいりました。次期も創意工夫による利用拡大・収入増に取り組みます。

ア 利用拡大のご提案

■ 全国に先駆けた開館時間・開館日の拡大

当団体は、全国に先駆けてスポーツセンターの営業時間の拡大を行ってきました。引き続き、月曜日から土曜日の夜間と、日曜・祝日の早朝の開館時間を延長することで、区民のスポーツ実施率向上に寄与します。また、年末年始休館日の12月29日の開館について、地域やお客様のニーズを把握したうえで、引き続き実施します。



拡大営業時の利用者数は増えています

■ 気軽に利用できるレンタルサービス（利便性向上策）

スポーツセンターご利用の手軽さを高め、お仕事帰りなどに気軽にお越しいただけるように、スポーツ用品 10 種類以上のレンタルサービスを行っています。第4期指定管理においては、障がい者スポーツの活性化のために、新たにマーカーコーンを貸し出すほか、多様なお客様の利便性と機能性を重視し、レンタル品を拡充していきます。

	ベースボールバット 1本/110円		野球キャップ 1個/60円
	ベースボール 1個/60円		サッカーボール 1個/60円
	ベースボールグローブ 1個/60円		シューズ 1足/110円
	ベースボールバット 1本/110円		ベースボールグローブ 1個/110円
	ベースボールバット 5本1セット /110円		野球キャップ 1個/210円
	ベースボールバット 1個/210円		

■ ウォーキング・ランニング事業

● ランニングクリニックの開催

長浜公園と隣接している好環境を活かし、これからランニングを始めたり、フルマラソンへ初挑戦する市民を対象に、アシックス専属のスタッフを講師とするランニングセミナーを開催します。



● 横浜マラソン・チャレンジ枠講座

市内各区に横浜マラソンへの出場枠を割り当てる「横浜マラソン・チャレンジ枠」を引き続き、協力・実施します。今期は、「フルマラソンのための栄養講座」を実施しました。第4期指定管理においても、金沢区民ランナーにとって役立つ企画を開催していきます。



金沢区民チャレンジ枠講座

● ウォーキング・ランニングステーション機能拡充

金沢区民の健康増進のために、引き続きウォーキング・ランニングステーションサービスを提供します。ロッカー等の貸出しのほか、スポーツセンターを基点としたウォーキングオリジナルマップを配布します。横浜市ウォーキングポイント事業も引き続き実施します。

- ステーションで提供するサービス(1回 110円)
 - ・ロッカー・シャワー利用、オリジナルマップ配布
 - ・オプション(有料):ノルディックウォーキングスティック、健康チェック

イ スペースの有効活用策

■スポーツ用品ショップ

年間延べ 30 万人以上のお客様が来場される金沢スポーツセンターには、様々なスポーツ種目が開催されます。スポーツショップと提携し、運動用具だけでなくウェアやサプリメントなど高機能で魅力的な商品をそろえたショップを館内ロビーに設置します。



ショップイメージ

■最新型の自動販売機設置

自動販売機は、スポーツ施設の利用満足度に直結する重要なサービスです。私たちは第 3 期指定管理期間において、バリアフリー対応機や災害時無償提供機能を備えました。これに加えて第 4 期は、マルチマネー対応自販機を設置し、館内キャッシュレス化を実現します。現金に触れず、自動販売機本体にも触れることなく購入できるため、利便性・衛生面においても優れています。

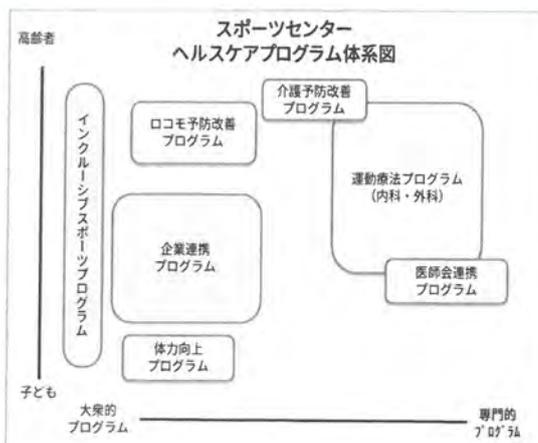


館内の自動販売機をキャッシュレス化

ウ ヘルスプロモーションの事業の地域展開

■私たちが目指すヘルスプロモーション

金沢区は高齢化率が横浜市 18 区内 4 番目の高さです。今後、総人口が減少する一方で高齢者人口は増加し、2025 年(平成 37 年)には人口の約 3 人に 1 人は高齢者になると推測されます。これらの背景から、区民の健康づくりや疾病予防に関して、区政運営方針や地域福祉保健計画「いきいき金沢ささえあいプラン」では健康寿命への意識を高める取組が掲げられています。私たちは、横浜市スポーツ医科学センターの知見やノウハウを活かし、ヘルスプロモーション事業を推進し、区政運営方針である「誰もが健康で生きがいを感じられる地域の実現！」を目指します。





内科系運動療法

私たちは、内科医師の指示書（運動処方箋）に基づいて行う運動プログラム、内科系運動療法を実施しています。第4期指定管理も、区民が身近な場所で医科学的なサポートを受けられるサービスとして、継続して実施します。



運動負荷試験

横浜市疾病対策事業への協力 **新規**

横浜市医療局の疾病対策事業「心臓リハビリテーション推進事業」を、強化指定施設病院「公立大学法人横浜市立大学附属病院」との連携を図りながら実施します。最大 150 日間の心臓リハビリを終えた患者が、最寄りの施設である金沢スポーツセンターで運動療法ができるように、健康運動指導士等が指導を行います。

特定保健指導の受け入れ **新規**

私たちは、横浜市の課題である特定保健指導の受診率の拡大に向けて、ポスター掲示をするなど区民への啓発を行います。

また、特定健診の結果から、生活習慣改善が必要な方に対して、健康運動指導士等が自主的な運動ができるように特定保健指導に取り組みます。



特定検診後の運動サポート

整形外科系運動療法『メディカルエクササイズ』

当団体が管理する横浜市スポーツ医科学センターが開発した「体のアライメントを元に戻す」を基本に、関節の負担を軽減し、痛みを減らす運動療法です。治療やリハビリ受診を終了し、整形外科医師の指示書に基づき運動によって症状の改善が見込める方を対象に、専門資格を保有する指導員による整形外科系運動療法を継続して実施します。



整形外科系運動療法
実際の指導風景



日常生活の支障をなくす運動療法

運動療法を活用したオンライン教室を開催します！ **新規**

新たな生活様式の状況下でも、内科系及び整形外科系の運動療法プログラムを多くの区民に提供するため、オンライン教室実施します。また、施設内でも公開講座を開催します。

■ **スポーツセンターとかかりつけ医の連携（横浜市医師会の協力）** 拡充

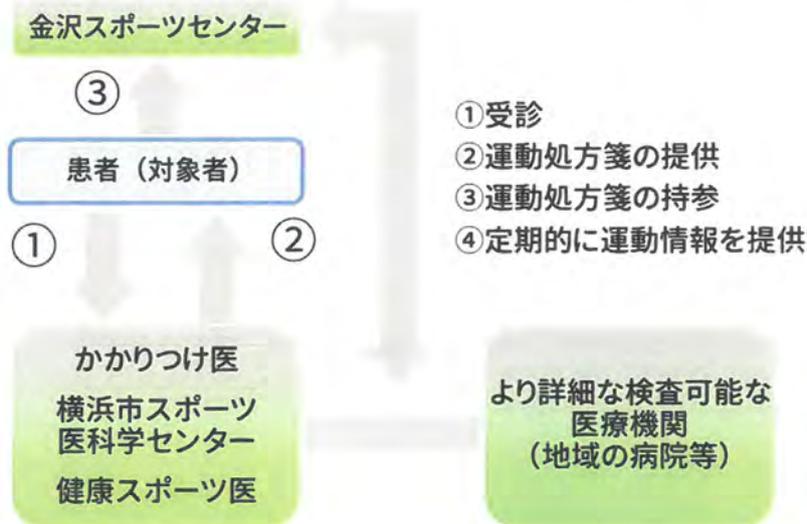
当団体は、第3期指定管理期間中に横浜市医師会スポーツ医会と事業連携した「スポーツ医事相談」をはじめ、区民対象の健康講座や少年野球チームを対象とした野球肘健診を実施しました。

第4期指定管理期間はスポーツ傷害相談のみならず、高齢者のロコモティブシンドロームや生活習慣病予防・改善を視野に入れたスポーツセンターと近隣の「かかりつけ医」をつなぐ「地域連携パス」を進め、運動療法を通じて横浜市医師会との連携を強化します。



野球肘健診風景

医療機関と金沢スポーツセンターの運動療法連携パス



エ 地域への健康づくり派遣事業

金沢区のスポーツ振興と健康づくりを推進するために、地域に出向いた派遣事業を実施します。ヘルスアッププランなど、金沢区の健康づくりに関する取組に積極的に参画します。

※様式 15 「地域との協力」に詳しく掲載しています。

■ **アウトリーチ対応できる当団体のシニア向けプログラム**

● **運動プログラムによる介護予防**

金沢区全域への健康づくりを推進するには、地域の健康づくり拠点との連携は欠かせません。ロコモティブシンドローム予防のための横浜市オリジナルトレーニング『ハマトレ』等を用いた介護予防プログラムを金沢区で普及させるほか、福祉保健センターや地域ケアプラザへの生活習慣病予防、認知症予防の取組に対し、運動プログラムを活用して支援します。



当団体が開発協力した「ハマトレ」

● 姿勢改善プログラム

当団体は、正しい姿勢を画像解析を用いてアドバイスする「姿勢測定サービス（有料）」を実施しています。金沢スポーツセンターでも人気のこのプログラムは、シニア世代を中心に第3期指定管理期間中に177人の方が参加されました。区民の健康寿命を延伸するために、第4期指定管理においても継続して実施します。



姿勢測定結果表

■ 当団体オリジナル『はまちゃん体操』DVDの販売

『はまちゃん体操』は介護保険法が改正された平成18年に、横浜市から介護予防を目的とした健康体操作成の依頼を受け、当団体が作成したプログラムです。関節運動やストレッチ、有酸素運動などを取り入れたメニューは、サークルや地域での健康づくり活動に活用していただくほか、シニア世代の自宅での運動習慣を目的にご利用いただいています。



全国の団体からご注文
いただいています！

(7) 安全かつ効率的な業務履行体制

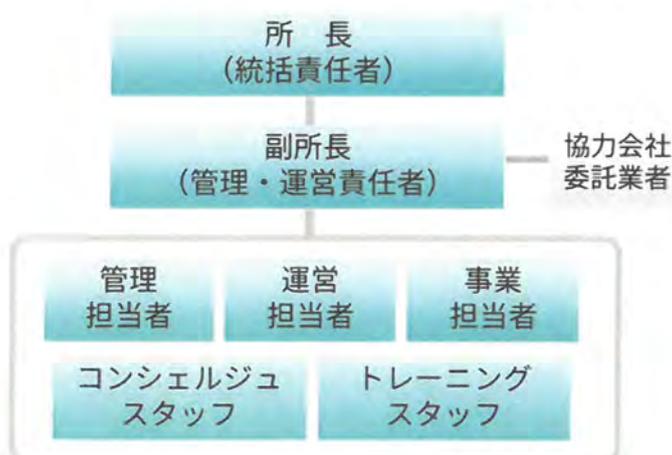
ア 金沢スポーツセンターの管理運営体制

当団体の総合力を最大限発揮し、全てのアクションプランを着実に実現します。円滑な業務遂行による高品質な運営を維持するために責任体制を明確にし、必要なスキルを持つ人材を配置します。

■ 責任者の配置

統括責任者に所長を配置します。金沢スポーツセンター管理運営の最高責任者として業務全般に精通し、金沢区のスポーツを推進する能力に優れた者として。最大14時間になる一日の開館時間とスポーツセンターの事業規模を考慮し、運営責任者として副所長を配置します。

金沢スポーツセンター管理運営体制図



■ 安全なスポーツ施設運営を履行するための資格者配置

所長、副所長、セクション担当者3名、計5名の常勤職員は、応急手当普及員資格を取得します。さらに、専門スタッフとして1日あたり10名、繁忙時には最大12名の非常勤職員を配置し、金沢スポーツセンターの管理運営業務を遂行します。また、指定運動療法施設として、健康運動指導士を配置するほか、障がい者スポーツの振興に寄与する人材として、初級障がい者スポーツ指導員を配置します。

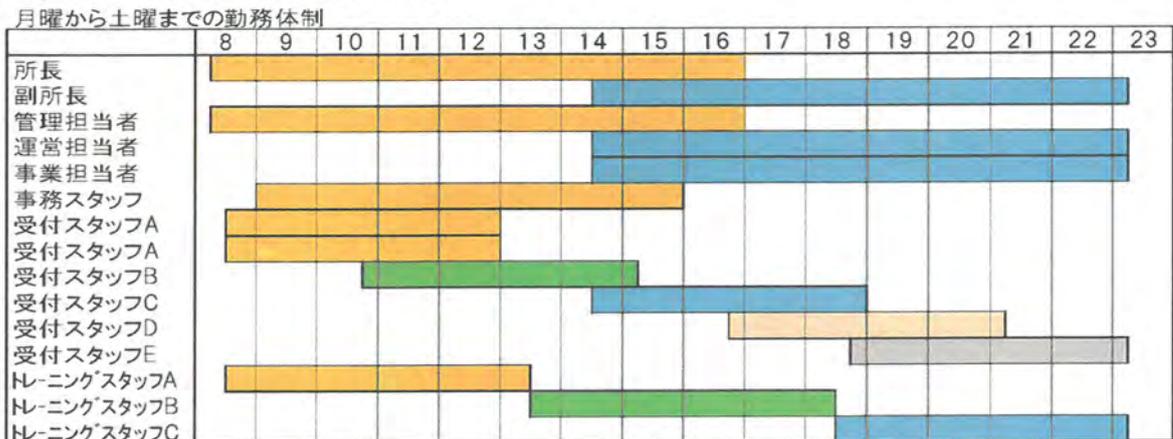
■ 専門スタッフの配置

各セクションには専門スタッフを配置します。受付にはコンシェルジュスタッフを1名配置します。トレーニング室スタッフは、当団体が定めるスポーツ・健康づくり指導水準に達するようトレーニング室責任者（副所長）が監督します。

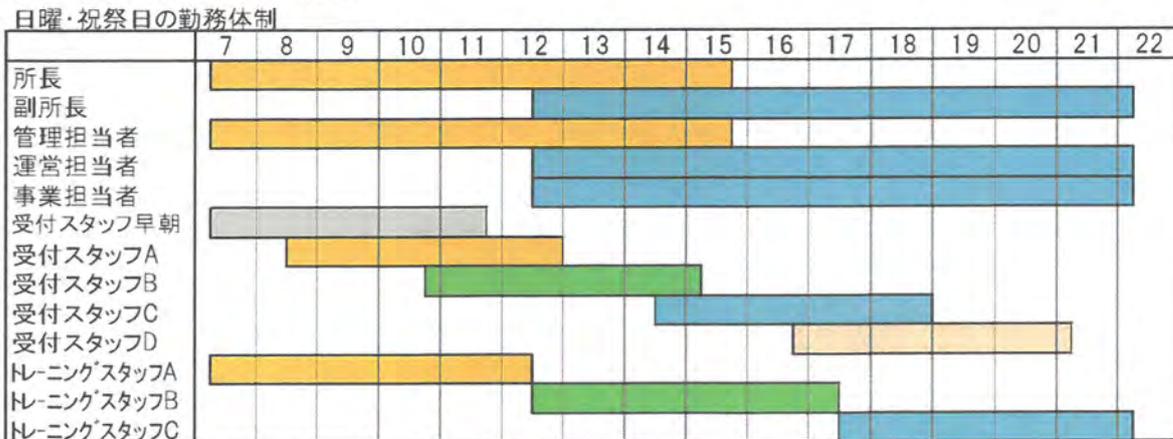
■ 配置ポスト・勤務ローテーション

勤務ローテーションは、労働基準法などの関連法令を遵守し、**すべての時間において常勤職員を配置します**。教室参加料の支払時など、業務が繁忙する時は部分的にスタッフを2ポスト配置するなど、柔軟に配置します。なお、所長不在時に事故や災害などが発生した場合は、緊急連絡網を用いて所長や本部に連絡し、一次対応に遅れが生じないようにします。

■ 月曜日から土曜日までの勤務体制



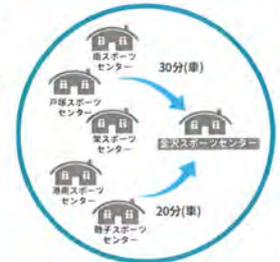
■ 日曜日・祝祭日の勤務体制



イ 団体本部のバックアップ体制

■ 本部でのバックアップ

私たちは、事務局本部と市内 33 箇所の公共スポーツ施設運営の実績を持つ法人です。不測の事態には、本部や近隣施設からの応援勤務を柔軟に対応しています。さらに、建物の安全性に関しては協力企業を含めたバックアップ体制で、お客様への安全・安定的なサービスを提供していきます。



■ 株式会社キョーエーメックによるハイレベルな維持管理業務

第 4 期指定管理期間に築 40 年を迎える金沢スポーツセンターでは設備の老朽化が進行していることから、市民サービスの向上とお客様の安全利用を確保するために、引き続き、設備管理の専門家である株式会社キョーエーメックを協力会社として運営します。

※業務内容は、様式 13「施設管理」に詳しく記載しています。



株式会社キョーエーメック
による 24 時間監視体制

ウ 研修計画

■ 健康増進の専門性を取得する施設職員研修

● 横浜市スポーツ医科学センター専門職員による研修

指定運動療法施設として提供する運動療法には、医師の指示書に基づく運動メニュー作成や患者のリスク管理など専門性を要します。

当団体が管理運営する横浜市スポーツ医科学センターの医師や理学療法士、スポーツ科学員を講師として、専門研修を実施します。



画像解析による測定研修

● 本部指導部門による運動・健康指導スキルの徹底

競技志向、健康づくりなど多様な目的に合わせた対応ができるよう、本部主導のスキルアップ研修を行います。研修を担う健康づくり事業課は、指導スキルの水準や研修内容が実践されているかの確認のために覆面調査を行うことで、運動指導と接遇の高いスキルを維持します。



スキルアップ研修会

エ 経理体制

内部でのダブルチェックはもとより、公認会計士、内部業務監査体制の確立により経理処理の精度を高めます。また、独自の会計システムを導入し、本部とオンラインでの会計処理を行い、経理業務の効率化と正確性を確保します。

■ 最適な予算執行の仕組み

金沢スポーツセンターの予算執行状況は公益法人会計システムを使って、事務局本部と現地、双方からオンラインで確認できます。公の施設を預かる指定管理者として、お客様の安全確保・快適性維持のための修繕や運営経費が適切に管理できるよう、現地・本部双方で収支状況を確認しながら最適なタイミングで執行していきます。

● 独自の売上管理システムを構築

券売機とレジを併用し、スムーズなお支払いを可能としています。さらに私共が継続して運営できる場合は、初年度からキャッシュレス決済を拡張し、お客様と従業員の利便性向上を図ります。



■ 安全性を高めた施設の現金管理

売上金の管理には現金自動入金機を設置し、現金管理の安全性を高め、現金輸送時のリスク軽減を図ります。

また、収入現金と支出現金とを完全に分離することで、明確な経理処理を推進します。施設内で取り扱う現金は、経理規程や事務マニュアルに基づき、厳正かつ迅速に行います。



入金機による安全な管理

本市の重要施策を踏まえた取組

個人情報の保護、情報公開、人権尊重、環境への配慮、市内中小企業の振興施策など、横浜市の重要施策を的確に捉え、金沢スポーツセンターの管理運営に反映します。

(1) 指定管理者に課される情報管理の徹底

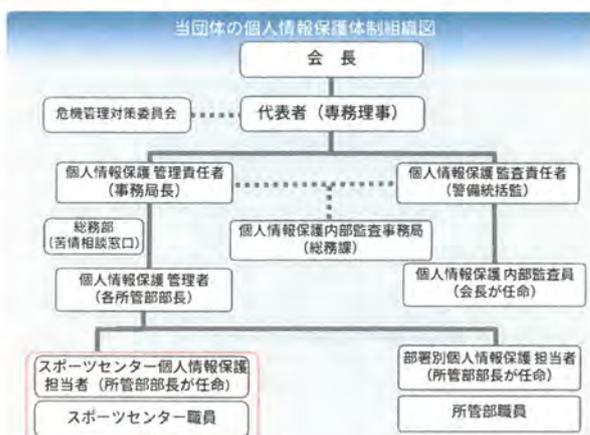
当団体は、情報漏洩や個人の権利・公益を害する事態の発生を予防するため、個人情報マネジメントシステムや情報公開に関する規定の運用を確実に行うとともに、職員はもとより外部講師も含めた研修を実施し、守秘義務を徹底しています。

ア 最高レベルの個人情報保護の取組

指定管理者に課される守秘義務の徹底

指定管理者は、お客様及び職員に関する個人情報、情報公開規定における非開示情報など、守秘すべき様々な情報を保有します。こうした情報が外部などへ漏洩すれば個人の権利や公益を害する事態を招来するおそれがあります。

当団体は、プライバシーマーク付与事業者として、個人情報保護規程を定め、組織体制・データ保護方策・個人情報の廃棄の手順等、情報漏洩防止のための必要な手続きを定め、これらの情報の保護を徹底しています。



プライバシーマーク付与事業者として最高レベルの体制を整備

プライバシーマークの取得

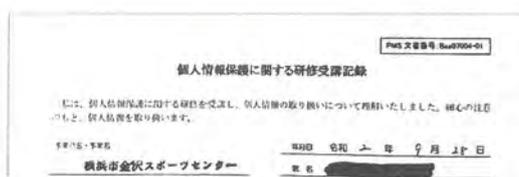
当団体は、平成 20 年 8 月に厳格な審査をクリアし、プライバシーマークを認定取得（全国の公益財団法人では初取得）しました。

プライバシーマーク付与事業者として最高レベルの体制を整備し、個人情報保護に関する法律の規定以上の措置を定める「JISQ15001（個人情報保護マネジメントシステム — 要求事項）」に適合した個人情報保護体制を構築・運用することで、お客様の個人情報を厳格に管理しています。



スポーツセンターにおける個人情報保護の取組

当団体が管理するスポーツセンターでは、年 2 回の個人情報保護に関する自主点検や、アルバイト・外部講師・ボランティアを含む全スタッフに年 1 回以上の研修を行います。また、個人情報の取り扱いを含む業務を委託する場合は、委託業者に情報の安全な取り扱いや秘密保持が厳守できる体制を審査した上で契約をしています。



個人情報保護の研修終了後には、全員から受講記録を受け取り職員の自覚を促します。



■ 個人情報を取得する際の徹底事項

個人情報を取得する際は、お客様に対して、利用目的の明確化・利用の範囲・対応窓口等を丁寧に説明し、事前に承諾を得たうえで取得します。

個人利用の取得目的

教室・イベント等事業に関する申込受付等	個人・団体利用の申込受付等
利用者アンケートの依頼	必要な範囲での業務委託
安全管理を目的にした利用者への連絡	その他サービスに対する苦情等の対応

■ 個人情報を漏洩防止への取組

当団体は、個人情報漏洩の原因となるヒューマンエラー（人為的ミス）を防止するため、FAXやEメールで登録されていない宛先に送る際には、必ず複数人によるダブルチェックを行うとともに、Eメール送付で送付する文書ファイルにパスワードを設定するなど、第三者が閲覧できないように漏洩防止策を徹底しています。

イ 強固な情報ネットワークセキュリティシステムの採用

当団体では「情報ネットワークセキュリティ管理要綱」を整備し、ネットワークへの不正アクセス等による保有データの漏洩を未然に防ぐための運用ルールを定めています。また、ネットワークのセキュリティは、VPN（仮想プライベート・ネットワーク）を採用し、インターネットを介さない安全性の高いネットワーク環境を構築しています。

ウ 職員の懲戒に関する規定

守秘義務違反や情報漏洩など、公正な職務執行を脅かす疑いがあった場合は、「コンプライアンス規程」に基づき、適正な処理を行うとともに、顧問弁護士等外部の専門家からなる調査チームを設置し迅速に対応します。万が一、職員に法令違反や職務上の義務違反等があった場合は、「就業規程」及び「懲戒処分の標準例」に基づき、公平委員会での審議の上、厳正な処分を課します。

(2) 高い透明性を確保する情報開示への対応

ア 保有個人データの開示に対する対応

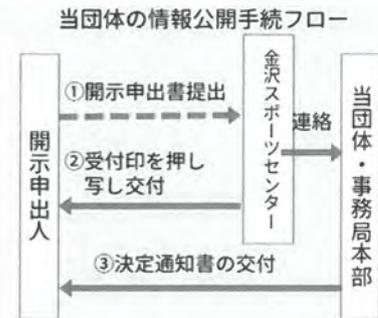
個人情報の保護に関する法律に基づく保有個人データの開示等の請求については、金沢区が示す「指定管理者の保有する保有個人データの開示等の請求に関する標準規程」に準拠して規程を作成し、保有個人データの開示等の請求に対して適切に対応します。



保有個人データの開示等の請求に関する標準規程

イ 情報公開手続きフロー

当団体は、指定管理者として十分な透明性を確保し、市民への説明責任を果たします。情報開示請求への対応は、「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」の趣旨に則り、「保有する情報の公開に関する規程」を定め、情報公開手続きフローに沿って14日以内に対応いたします。また、館内には当団体の取組をいつでもご覧いただけるように、モニタリング結果や事業計画・報告書の閲覧コーナーを設けています。



(3) 環境への配慮

ア ヨコハマ3R夢プランへの取組

ヨコハマ3R夢プラン「横浜市一般廃棄物処理基本計画」は、ゴミと資源の「リデュース（発生抑制）、リユース（再利用）、リサイクル（資源化）」＝3Rを進め、環境負荷の低減や資源・エネルギーの有効活用と確保を目的としています。

当団体は、市民の皆様と協力しながら3R行動を進めることにより、循環型社会への取組に貢献します。



横浜市食品ロスの啓発に協力しました!

ヨコハマ3R夢プランの具体的取組（例）

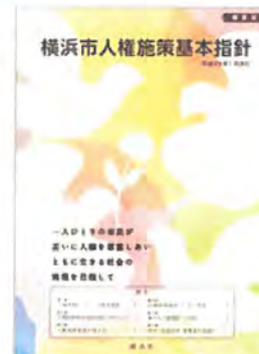
1	3R 行動・環境学習	<ul style="list-style-type: none"> ■館内に3R 行動の掲示板を設置して市民への啓発 ■イベント時への3R 行動の案内掲示
2	食品ロス	<ul style="list-style-type: none"> ■はまのおすそ分け「YOKOHAMA フードドライブキャンペーン」各家庭で使い切れない未使用食品を持ち寄り、フードバンク団体や地域の福祉施設・団体などに寄贈します。
3	まちの美化	<ul style="list-style-type: none"> ■地域で取り組む「ふなだまり」の清掃活動
4	リサイクル	<ul style="list-style-type: none"> ■スポーツ用品のリサイクル活動の実施 スポーツをしたくてもできない子どもたちを作らないために、館内にスポーツ用品リサイクルコーナーを作り、サッカーボールなどのリサイクル化を図ります。 ■ビンカンの分別リサイクルの徹底 ■使用済みインクカートリッジの再資源化
5	温暖化対策エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ■グリーン電力を供給している会社との契約 ■館内にて花と緑を増やす啓発 ■人感センサーの導入、電灯の間引き、冷暖房温度の適正化による電気ガスの削減
6	ストックマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ■金沢スポーツセンターの長寿命化を図る → 年に1回の建物劣化診断
7	国際展開・技術開発	<ul style="list-style-type: none"> ■館内にてアフリカの貧困状況や井戸などのインフラ整備などの紹介 ■生ごみ処理容器「ミニ・キエーロ」の設置
8	適正処理	<ul style="list-style-type: none"> ■ゴミの分別の徹底（燃やすゴミ、ビンカン、プラスチック等） ■ゴミの抑制（マイバッグ・マイ箸、マイボトルの持参、プラスチック用品の使用削減） ■ペーパーレスの推進 ■LED 照明の増加

(4) 人権尊重に徹した施設運営と事業

ア 人権尊重の考え方

当団体は、一人ひとりの市民が互いに人権を尊重しあい、老若男女・障害の有無の区別を無くし、ともに生きる社会の実現を目指します。そのためには、人権問題への理解を深め、人権問題を自分たちの問題として考え、取り組んでいきます。

施設の運営にあっては、差別や偏見、施設利用上の困難な状況を解消するため、すべてのお客様に対して公平で平等に対応します。また、性的少数者、外国人、障がい者、信者などの方々への配慮が必要な場合は、相手の立場に立ち、思いやりのあるサポートを行います。



横浜市人権施策基本方針

イ 人権研修と人権啓発推進者の設置

人権研修は、年に1回全職員を対象に実施しています。また、各職場では、人権啓発推進者を中心に、人権週間にあわせたポスター・パネルの掲出や人権関係のパンフレットを職場内で回覧するなど、人権啓発推進活動を実施します。



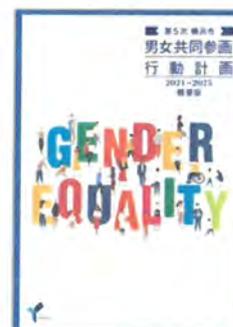
人権研修として認知症サポーターズ養成講座を受講

(5) 男女共同参画推進の取組

当団体は、誰もが性別に関わらず、自分の希望に沿った形で多様な選択を実現できる社会を目指すことを基本方針として、職場づくりやお客様対応、地域社会との協働を推進していきます。

職場内では、誰もが働きやすい職場にするために、仕事と育児・介護の両立に向けた規程を整備し、育児休業・休暇等の取得を推進しています。

また、職員への啓発は、男女共同参画の推進と各種ハラスメントの防止に向けて、研修を1年に1回行っています。



(6) 市内中小企業への優先発注

当団体は、修繕等の発注、物品や役務の調達にあたっては、横浜市中小企業振興基本条例の趣旨に則り手続きをしています。当団体の経理規程に基づき、競争入札等の方法により契約を行っており、事業者の指名にあたっては、市内経済の発展に貢献するため、市内事業者を優先しています。

(7) SDGsの取組

SDGsへの取組

スポーツが社会の進歩に果たす役割は、持続可能な開発のための2030アジェンダ宣言でも、次のように認識されています。



「スポーツもまた、持続可能な開発における重要な鍵となるものである。我々は、スポーツが寛容性と尊厳を促進することによる、開発および平和への寄与、また、健康、教育、社会包摂的目標への貢献と同様、女性や若者、個人やコミュニティの能力強化に寄与することを認識する。」

(出典:国際連合広報センター(UNIC)「スポーツと持続可能な開発(SDGs),2016」)

横浜市が2020年11月に制定した制度『Y-SDGs』に当団体は、認証区分「標準(スタンダード)」として認証されています。施設の老朽化対応をはじめ、一つでも多く「SDGs17の目標」の達成に協力していきます。



【参 考】

<p>3 すべての人に健康と福祉を</p> <p>すべての人に健康と福祉を</p>	<p>運動とスポーツを行うことはアクティブなライフスタイルと精神的な安定をもたらします。各種スポーツ事業を実施し、健康づくりに寄与します。</p>	<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> <p>産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<p>KLEADを活用した長期修繕計画</p> <p>キョーエーメックのノウハウと蓄積した維持保全データを元に開発したシステム(KLEAD)を活用することで、長期に亘る多額な工事費を予測し、施設の安定稼働と建物の資産価値の維持・向上を図ります。</p>
<p>4 質の高い教育をみんなに</p> <p>質の高い教育をみんなに</p>	<p>健康・運動に関する講座を開催し、多くの市民の健康づくりに関する意識を高められる環境を提供します。</p>	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p> <p>住み続けられるまちづくりを</p>	<p>AIを活用した蓄積データの精度向上</p> <p>設備員が症状内容を入力することで、症状区分・症状分類・症状名称・原因・処置をAIが予測し、自動で入力します。分析が難しいデータの蓄積を防ぐことができ、日々正しいデータの蓄積を可能としています。</p>
<p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p> <p>ジェンダー平等を実現しよう</p>	<p>スポーツは、ルールの下では平等です。私たちのスポーツ事業を通して、ジェンダー平等の精神を伝えていきます。</p>	<p>12 つくる責任 つかう責任</p> <p>つくる責任 つかう責任</p>	<p>横浜市の指定管理者として、スポーツ事業においても、施設管理事業においても、横浜市・民間事業者・地域住民など、様々な方々と手を取り合いSDGsの17のゴールの達成に寄与します。</p>
<p>13 気候変動に具体的な対策を</p> <p>気候変動に具体的な対策を</p>	<p>気候・環境は、スポーツ活動に重大な影響を与えます。スポーツイベントや講座を通じて、環境への理解を深めていきます。</p>	<p>17 パートナリシップで目標を達成しよう</p> <p>パートナーシップで目標を達成しよう</p>	<p>横浜市の指定管理者として、スポーツ事業においても、施設管理事業においても、横浜市・民間事業者・地域住民など、様々な方々と手を取り合いSDGsの17のゴールの達成に寄与します。</p>

スポーツによるSDGsへの取組は、現状ではまだまだ途上にあります。様々なアイデアが生まれる余地があります。当団体としても、多くの具体的施策を提案し、実践していきます。

(8) インクルーシブスポーツの推進

当団体は、スポーツを広く捉え普及・振興を図るミッションを表明し、その中で、現在最も注視すべきは、すべての横浜市民がそれぞれに適したスポーツをそれぞれに楽しめるスポーツ＝『インクルーシブスポーツ』の推進と考えています。

ア インクルーシブスポーツとは

インクルーシブスポーツという言葉の解釈や使われ方は様々ですが、横浜市スポーツ推進計画では次のように定められています。

「障害の有無や年齢、性別、国籍等を問わず、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える全員参加型の社会である共生社会の実現に向けた取組を推進する、各人の適性にあったスポーツ活動のこと」

私たちは、様々なステージの方々に適したスポーツを実践するとともに、共に楽しめるスポーツ活動を推進することで、インクルーシブスポーツを実現し「すべての人々が分け隔てなくスポーツに親しむことで、誰もが互いに尊重し支え合う共生社会の実現」に寄与していきます。

イ 当団体のインクルーシブスポーツへの取組

当団体理念である「いつまでもスポーツが楽しめる明るく豊かな社会の実現」の達成には、障害の有無、老若男女、問わずスポーツ・レクリエーションが楽しめる社会をつくることにあります。

そこで、特別なニーズを持つ人もスポーツに参加できる機会・活動をつくり、「統合」(下図参照)や「包括」の状態をつくることを目指します。

除外 exclusion		分離 segregation	統合 integration	包括 inclusion
物理的・心理的な障壁があり、活動に参加できない人がいる状態		対象者ごとの参加機会は設けられているが、会場・内容は完全に分離	同会場・同内容ではあるものの、対象者ごとにグループを分けていて、特別扱いをしている状態	あらゆる人が、同会場・同内容で一緒に活動している状態
スポーツ実施率	低	中	高	高
当団体の取組	現状	現状 ~ 通過点	ゴール 1	ゴール 2

出典：ユネスコ サラマンカ声明（1994）「インクルーシブの原則」を図化

インクルーシブスポーツの取組

◆年齢や障害の有無に制限されないチーム編成や対戦組合せで開催するスポーツ大会	【ボッチャ大会など】
◆健常者のスポーツ教室と障害者向けのスポーツ教室を同時に開催	【健康教室・リハビリ教室同時開催】
◆障害者の特性を理解しスポーツ活動を行うための講座・講習会	【スポーツ推進委員研修会など】

管理運営経費

(1) 利用料金等収入増及び経費縮減への取組

金沢スポーツセンターの第4期収支計画策定にあたっては、多様化する市民ニーズを反映した、私たちならではの付加価値のあるサービス提供により、新たな収入源を確保してまいります。その収入増加見込み分を管理経費に計上することで、支出予算を確保します。

ア ライフサイクルコスト縮減への取組

設備機器等の維持管理は、協力会社である株式会社キョーエーメックとともに、ファシリティマネジメント体制を強化し、施設・設備の日常的な状態確認や、定期点検等の「結果と対応」、修繕の「実施と記録」などを通じて、金沢スポーツセンターの長寿命化や省エネルギー化へ貢献します。

ファシリティマネジメントとは

施設、設備の運用管理について、長期的視野と計画性を持って取り組み、かつ最適化を検討するマネジメント業務のことです。

※様式 13 「施設管理」に詳しく記載しております

■ 省エネへの取組事例

● 低炭素社会の実現に向けた”エコチューニング”の実践



協力会社による検針

私たちは、ファシリティマネジメントにおけるエコチューニングに取り組みます。エコチューニングは、エネルギー利用状況と使用機器を分析し、CO²排出量節減に必要な機器の運転方法を計画・実践するもので、環境省がガイドラインを策定しています。私たちは、協力会社である株式会社キョーエーメックのもと、チューニングに取り組み、運用改善を図ります。

● 蓄積したメンテナンスデータを活用した効率的な設備管理

設備保守業務において高い専門性を有するキョーエーメックでは、業務効率の改善を絶えず行う「国際標準品質マネジメントシステム ISO9001」を導入し、神奈川県下多数の建物管理ノウハウによるスケールメリットを活かした施設管理の最適化を図る手法です。

また、私たちは、第3期指定管理期間5か年に、同社によるIT化された維持管理手法により、建物維持管理情報の共有化・一元管理を図っています。これに基づき、施設の分析や評価、問題点を明らかにすることで、施設を効率的に管理し、維持管理経費の縮減につなげます。

イ 経費縮減方策の実効性～公共スポーツ施設を多数管理する私たち独自の手法～

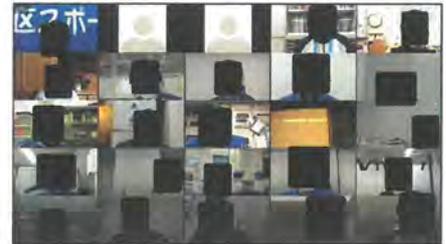
消耗品などの発注には、当団体が管理する施設一括（全35施設）で購入することで、コスト全般での縮減を実現しています。また、100万円以上の物品購入等は、競争入札を行うことで、より安価で適切な業者を選定し、経費縮減を図っています。

● 電力・ガスの入札

第4期に設置される空調設備により、電気代をいかに抑えられるかが、維持管理経費の縮減に大きく影響すると考えます。完全自由化した電力・ガス調達、新電力会社（PPS）各社を含めて、災害時対応など入札可能な場合は入札を実施し、料金削減に努めます。

● ICT化による経費縮減

金沢スポーツセンターと当団体の各事業所間に光回線を使用したインターネット電話を導入するほか、会議や打ち合わせは、オンライン会議システムを活用することで、通信費や交通費の経費縮減を図っています



オンラインによる会議

■ お客様1人あたりの経費の削減

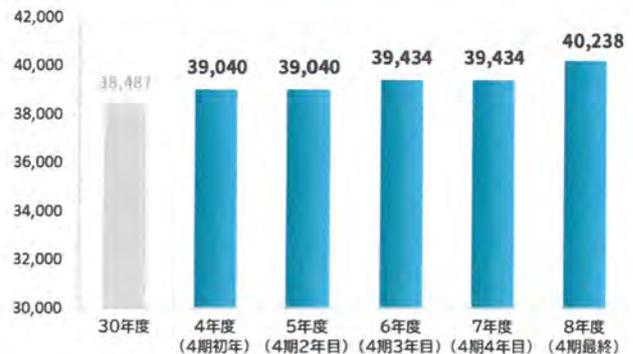
私たちは、第3期指定管理期間において様々な取り組みにより、コスト削減に努めてきました。前述の取組を行うことで、お客様1人あたりの経費を削減します。

安全な運営を前提としながら、効率的に運営する指標として1人あたりの経費予測を年間事業経費÷年間利用者数で算出し、令和4年度から令和8年度にかけて、段階的な削減を目標とします。

ウ 収入増加策の実効性（増収計画）

■ 付加価値の高い新たな教室事業

私たちは、第3期指定管理においてPDCAマネジメントに基づく教室運営を実践し、第2期指定管理最終27年度から全ての施設で増収となりました。第3期指定管理で人気の高い教室を増設するほか、新たな取組としてスポーツ医科学センター監修の健康教室など付加価値の高いプログラムを増やすほか、子育て世代・働き世代などに向けたオンラインレッスンを増やし、5年間で120万円増を計画しています。



■ 教室事業収入の推移

■ 教室事業収入 目標

単位：千円（税込）

	平成30年度 (参考)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
収入額	38,487	39,040	39,040	39,434	39,434	40,238

■ 第4期指定管理の主な新規開設教室(リニューアル教室含む)

新規教室(4年度)	参加者数	目標額
体幹トレーニング ※増設	8人	250,000円
こどもアトリエ(絵画・造形) ※増設	8人	150,000円
幼児体操教室 ※リニューアル	18人	320,000円

■ **新たなヘルスプロモーション事業による収入増**

私たちが得意とするスポーツ医科学に基づくヘルスケア分野の取組により、付加価値の高いサービスを提供する、実効性の高い収入増を提案いたします。

● **指定運動療法施設としてのサービス**

第3期指定管理期間に実施した内科系・外科系運動療法に加え、新たに**特定保健指導**ができる体制を整えることで、自主事業収入を増収させます。

● **地域への派遣プログラム**

福祉保健センターや地域ケアプラザと連携し、生活習慣病予防やコロナ禍でのフレイル予防講座を実施することで自主事業収入を増収させます。指定第4期初年度から積極的に区内公共施設運営者や地元企業との連携関係を築き、平成30年度実績の5%増を目標に5年間で漸増させます。

■ **ヘルスプロモーション事業収入**

単位：千円（税込）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
収入額	617	624	631	638	645

■ **自動販売機事業の収入増**

館内外の設置スペースの有効活用や飲料や氷菓、製菓等の時期にあった提供メニューを充実させ、自動販売機収入を確保してまいります。



体育室前の自販機



■ **自動販売機事業収入目標**

単位：千円（税込）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
収入額	2,302	2,326	2,350	2,374	2,398

■ **レンタル事業収入**

ご好評いただいているフットサルやバスケットボールなど各種目別ボールやビブスのレンタルのほか、シューズのレンタルについては、子ども用や大きいサイズの靴の貸出サービスを充実させ、収入を確保します。



ビブス

■ レンタル商品一例

単位：円（税込）

レンタル物品		金額(円)	レンタル物品		金額(円)
卓球ラケット	シェイクハンド等	50/本	バドミントンラケット		100/本
バスケットボール	5・6・7号	50/球	バレーボール	4・5号	50/球
フットサルボール		50/球	ピブス	5枚 1組	100/組
電子ホイッスル		100/個	ハーフパンツ	S~LL	200/枚
体育館シューズ	子ども用~29.0cm	100/足	ストップウォッチ		100/個
ラジカセ	MD/CD使用可	200/個	コピー機使用料		10/枚

■ レンタル事業収入目標

単位：千円（税込）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
収入額	330	330	330	330	330

■ スポーツ用品などの物販事業

第3期指定管理では、スポーツ用品販売会社と提携し、スポーツウェア、シューズ、サプリメントなどの魅力的な商品を販売します。市内複数個所のスポーツセンターでの販売傾向を分析し第4期指定管理も、お客様のニーズにあった商品を販売し、収入を確保します。

■ 物品販売一例

単位：円（税込）

販売物品		金額(円)
バドミントン	シャトル(練習用)	350/打
バドミントン	シャトル(試合用)	400/打
卓球	プラスチックボール(試合用)	390/個
ダンス	ヒールカバー	110/個
インディアカ	羽根球	2,750/個
インディアカ	スペア羽根球	1,020/個
トレーニング用品	セラバンド 2m	販売品による
トレーニング用品	ミニジムボール直径 26cm	販売品による
はまちゃん体操	DVD	2,200/本~
ひばりエクササイズ	DVD	4,400/冊
ウェア		販売品による
シューズ		販売品による
サプリメント	プロテインなど栄養補助食品	販売品による



卓球ボール(プラ)



インディアカ羽根球

● 各種目のルール改正にも速やかに対応！

卓球ボールやバドミントンのシャトルを販売するほか、スポーツショップの店頭では手に入りにくいヨコハマさわやかスポーツ種目のインディアカの羽根球などを販売し、ご好評いただいております。各種目のルール改正にも速やかに対応し、お客様に喜ばれています。

■ 物販事業収入目標

単位：千円(税込)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
収入額	954	954	954	954	954

■ 広告事業収入の確保

地元企業を中心に継続的に営業を行い、広告主を確保してまいります。金沢スポーツセンターでの広告が、有効な広報として認知されるように、企業が想定したターゲットにどの程度認知されているかの情報提供に協力し、広告料に見合った価値を提供します。掲載する媒体は、ホームページやチラシ、自動販売機、玄関マット、施設の壁面、床面等を想定し、広告主決定前にはその内容を含め金沢区役所と協議します。



■ 広告事業収入目標

単位：千円（税込）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
収入額	110	110	110	110	110

※当団体は、横浜市広告掲載基準に沿って広告主を募ります。

（2）施設の課題等に応じた費用配分

ア 事業収支計画の考え方

金沢スポーツセンターの第4期収支計画策定にあたっては、付加価値のあるサービス提供により、新たな収入源を確保してまいります。一方、支出計画は、老朽化が進む施設の安全を確保するために必要な経費を、過去10年の実績データをもとに積算し、無理のない計画としています。

■ 収支計画の基礎となる目標

収入計画の積算根拠の基礎となる収入目標は、平成30年度の利用実績等を基準とし、下記の「基本的な考え方」に沿って積算します。

■ 基本的な考え方

1. 働き世代・子育て世代が気軽に参加できる教室設計による収入増を図ります
2. 指定運動療法施設としての付加価値の高いヘルスプロモーションにより収入増を目指します
3. ロビーを有効活用し、スポーツセンターへの集客を見込みます

■ 指定管理料を除く収入額の推移



平成30年度から
約870万円
増収します！

イ【収入の部】収入源の確保

■ 指定管理事業収入

● 団体利用料金収入（施設利用料金収入）

各室の団体利用（指定管理者主催のスポーツ教室を含む）による利用料金収入の算定方法は、平成 30 年度の実績を基礎資料とし、諸室ごとに積算しています。

■ 【団体利用料金収入（体育室・研修室）】収入見込み推移表

単位：千円（税込）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
収入額	9,652	9,652	9,652	9,652	9,652

利用料金収入＝[利用可能コマ数]×[団体利用稼働率]×[利用単価]×[実収入率]

([実収入率]＝減免利用を含んだ実収入割合) ※千円未満切捨

● 付帯設備利用料金収入（施設利用料金収入）

放送設備等などの貸館業務に伴う付帯設備利用料金収入は、団体利用料金収入と同様に平成 30 年度実績の収入同額を見込みます。また、レンタルロッカー収入については、平成 30 年度の契約数を反映して積算しています。

■ 付帯設備利用料金収入見込み推移表 ※レンタルロッカー収入含む

単位：千円（税込）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
収入額	626	626	626	626	626

● 個人利用料金収入（施設利用料金収入）

体育室個人利用については、第3期と同等のコマ設定を予定しており、平成 30 年度実績の収入同額を見込みます。なお、平成 30 年度実績金額には、大人、中学生以下、土曜無料開放と様々な利用料金形態も反映しています。

■ 個人利用料金収入見込み推移表 ※トレーニング室個人利用収入含む

単位：千円（税込）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
収入額	15,647	15,773	15,900	16,028	16,158

<参考①> 平成 30 年度体育室個人利用実績

単位：千円（税込）

人数				収入金額
平日	土曜	日・祝	合計	合計
19,760	3,519	3,930	27,209	3,055

トレーニング室は、平成 29 年度のマシンのリニューアル効果の増加率を参考にして、平成 30 年度実績の 5%増を目標に 5 年間で漸増させます。

<参考②> トレーニング室個人利用収入見込み推移表

単位：千円（税込）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
収入額	12,585	12,711	12,838	12,966	13,096

● 駐車場事業収入

新規教室開設等でお客様の増加を図り、収入を確保します。収益は、当駐車場の維持管理経費に充当し、駐車場利用の安定的な運営に貢献します。

■ 駐車場事業収入見込み推移表

単位：千円（税込）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
収入額	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000

■ 自主事業収入

● 団体利用料金収入（施設利用料金収入）

月曜日から土曜日（祝日の場合は除く）の 21 時から 23 時までの 1 コマ（2 時間）と、日曜日・祝祭日の 7 時 30 分から 9 時までの 1 コマ（1 時間 30 分）と、年末 28・29 日の 9 時から 17 時及び年始 4 日の 9 時から 17 時まで（8 コマ）をそれぞれ開館し、これによる施設利用収入を見込みます。なお、算出方法は、指定管理事業の団体利用収入と同様とします。

■ 団体利用料金収入見込み推移表

単位：千円（税込）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
収入額	1,434	1,448	1,463	1,478	1,493

● 個人利用料金収入（施設利用料金収入）

基本時間以外のトレーニング室収入は、マシンのリニューアル等を行い、収入を確保します。

■ 個人利用料金収入見込み推移表 ※トレーニング室個人利用収入含む

単位：千円（税込）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
収入額	2,152	2,174	2,196	2,218	2,240

ウ【支出の部】安全性・効率性を重視した支出計画

■ 安全で快適なご利用空間を創出するための支出計画

● 安全と快適性を両立する修繕計画

築 35 年以上経過する金沢スポーツセンターは、建物や設備機器等での老朽化が顕著になっています。私たちは、この現実を直視し、市民の方がいつまでも当館を安全に、安心してご利用いただけるよう、老朽設備等の修繕を計画的に行います。安全対策・環境改善に係る案件を中心に、公募要項では年間合計 350 万円（消費税別）以上の額の修繕費を計上することとなっていますが、過去の実績や劣化診断に基づく修繕計画を策定し、提示された額以上の修繕費を計上し、確実に実施していきます。

■金沢スポーツセンター 第4期指定管理期間の修繕計画

	実施内容	概算額(千円・税抜)
令和4年度	公開空地タイル張替、男女更衣室タイル張替、第1体育室電球交換、トレーニング機器 その他、小破修繕	3,500
令和5年度	第1体育室放送室屋上防水修繕、防火シャッター交換、トレーニング機器 その他、小破修繕	3,500
令和6年度	多目的トイレ扉交換工事、トイレ洋式化及びウォッシュレット化工事、第三体育室空調増設工事 その他、小破修繕	3,500
令和7年度	第1体育室・トレーニング室トップライト取り替え工事、排煙窓パッキン及びワイヤー交換工事 その他、小破修繕	3,500
令和8年度	劣化診断に基づいた修繕 その他、小破修繕	3,500

●新たな施設設備の設置による支出

トレーニングマシンや卓球台、マット等の教室用具の更新など、お客様の利便性向上にかかわる設備や備品には、特に積極的に投資してまいります。

	実施内容	概算額(千円・税込)
令和4年度	教室用具の更新、トレーニングマシンの購入等	2,074
令和5年度	卓球台、教室用具の更新等	1,951
令和6年度	卓球台、教室用具の更新、演台新規購入等	1,893
令和7年度	卓球台、教室用具の更新、演台新規購入等	1,473
令和8年度	劣化による備品の更新等	1,495

●トレーニング室リニューアル！～自分のからだを知る・メンテナンスする～

働き世代や女性の運動不足解消、スポーツ無関心層への誘因策として、初心者・女性でも扱いやすい有酸素系マシンにリニューアルし、ストレッチエリアではショートプログラム実施します。また、「自分のからだを知る・メンテナンスエリア」としてインボディを設置します。



高齢者が利用しやすい
リカベンントバイク

自分の身体の状態を知る
ためのインボディ

●教室事業に伴う支出（インストラクターへの報償費）

スポーツ教室やイベントで講師を依頼する場合は『教室実施マニュアル』に基づく報償費を決定し、支払います。支払いにあたっては所得税法に従い、所定の所得税を源泉徴収します。また、教室に使用した室場利用料は、指定管理事業収入付け替えることで、適切な経理処理を行います。

■消費増税への対応

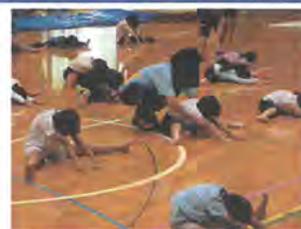
平成30年10月の消費増税に伴い、スポーツセンターの講師の報償費に対し、増税分2%を適切に転嫁しました。今後、消費増税が増税される場合は、「消費増税対策特別措置法」などの法令順守に努めてまいります。



● 記念イベント実施に伴う支出（その他支出）

令和7年に「金沢スポーツセンター開館40周年記念イベント」を開催し、事業に伴う運営経費を計上します。なお、実施にあたっては、金沢区内の企業等から協賛金を募り経費に充当します。

また、当該事業により室場を使用した場合は、記念イベント事業運営経費から使用した室場利用料金を付け替え、適切な経理処理を行います。また、金沢区スポーツ協会の賛助会員として賛助会費を支出します。



開館35周年イベント風景
2004年 アテネオリンピック
男子体操団体 金メダリスト！
米田功さんによる体操教室

● 自主事業実施に伴う目的外使用料の支出

飲食用自動販売機設置や、物販・レンタル事業等の自主事業実施にあたっては、金沢区役所に対し、同区が定める規定に則した目的外使用料を支払います。

■ 維持管理運営費用（指定管理事業支出）※令和4年度

項目	説明	金額(税込)
人件費	所長1名・副所長1名のほか、職員3名を配置します。 (計5名) また、業務をサポートするためのアルバイト職員を適時に配置します。	47,221千円 ・職員（給料・職員手当・共済費・給付費・退職給付費） ・アルバイト(賃金)
修繕費	施設設備の老朽化に対応するために、年間3500千円(税別)以上の修繕費を計上します。	3,850千円 ・公開空地タイル張替、体育室電球交換等
設備管理費	施設設備の維持保全を図り、安全な運営を継続させるための費用を計上します。	5,403千円 ・施設巡回点検等 ・フロン排出抑制法簡易点検等
保安警備費	施設に係る防犯や安全確保のための警備費用を計上します。	990千円 機械警備、夜間巡回警備
外構植栽管理費	施設敷地内の樹木剪定や除草、薬剤散布、施肥などを行い、樹木の良好な維持と美観を保ちます。また、指定管理期間中1回高木剪定を実施します。	1,500千円
備品購入費	お客様の利用頻度と備品の状態を勘案し、更新の必要性が高いものを優先して購入します。 予算は5年間の計画にあわせて増減させます。	2,074千円
消耗品費	コロナ対策衛生用品、トイレトーパー、印刷用紙等を購入します。また、スポーツ教室で使用するバドミントンシャトル、卓球ボールなどを購入します。	2,000千円
廃棄物処理費	「市役所ごみゼロルート回収」にかかる費用と大型ゴミの処分費用を見込み、計上します。	250千円
広報費	教室やイベント情報の周知や、施設をPRします。 地域に密着した広報媒体を活用します。	700千円 タウン誌広告、金沢区役所発行書類広告等
印刷製本費	金沢スポーツセンターの施設案内と利用促進拡を目的とした印刷物(リーフレット)を作成します。	300千円
光熱水費 ・燃料費	過去の実績と併せて、省エネルギータイプの機器への変更や大規模入札をすることによる費用圧縮を見込み、各科目を計上します。	10,926千円 ・電気料 ・ガス料 ・水道料 ・燃料費(自家発電装置燃料用)

項目	説明	金額(税込)
保険料	施設において管理者側の瑕疵による事故等が発生した場合に備え、賠償責任保険に加入します。 また、スポーツ教室等参加者における万が一の事故発生に備え、傷害保険に加入します。	1,300 千円(非課税) ・施設賠償保険 ・スポーツ教室等傷害保険 ※スポーツ教室等に係る保険料については、以降は参加者数増加により変更
使用料 ・賃借料	駐車場の管制機器や券売機等の事務機器のリースやレンタルのための費用を計上します。 また、スポーツ教室等で施設を利用した場合に付け替える利用料金を計上します。	6,000 千円 ・駐車場の管制機器リース ・券売機、スポットエアコン等リース・レンタル ・音楽著作物使用料 ・トレーニング室機器 ・NHK 放送受信料 ・スポーツ教室等での施設利用料金等
委託料	収受した利用料金等を安全に取り扱うための専門業者への委託や、バスケットボールゴールの安全点検を年 1 回実施し、施設の適切な状態把握に努めます。	8,000 千円 ・現金集配金業務委託 ・バスケットボールゴール安全点検等
報償費 (謝金)	スポーツ教室講師や託児従事者へ支払う謝金を計上します。	15,000 千円 ・スポーツ教室等指導謝金 ・託児従事者謝金
公租公課費	契約書締結に係る収入印紙代や、事業所税を計上します。	300 千円 ・収入印紙 ・事業所税
その他	通信運搬費、支払手数料等の必要経費を計上します。	11,267 千円 旅費・通信運搬費、支払手数料・会費及び負担金・事務経費本部分・租税公課(仮受消費税と仮払消費税との差額)等

■ 自主事業支出

項目	説明	金額
自動販売機事業	飲食用自動販売機の設置に伴う区への目的外使用料や、当該に係る電気料を計上します。	329 千円 使用料及び賃借料、電気料
物販事業	スポーツ用品等販売における仕入れ代を計上します。	681 千円 ・消耗品費
レンタル事業	スポーツ用品レンタル事業の実施に伴う必要品を購入します。	66千円 ・消耗品費
ヘルスプロモーション事業	運動療法、派遣指導にかかる経費を計上します	346千円 ・旅費交通費等
基本開館時間外管理費	基本時間外で雇用するアルバイト職員の賃金や、当該時間に係る電気料を計上します。	3,219 千円 ・賃金 ・電気料・水道料・ガス料等

(3) 適正な委託・調達・雇用

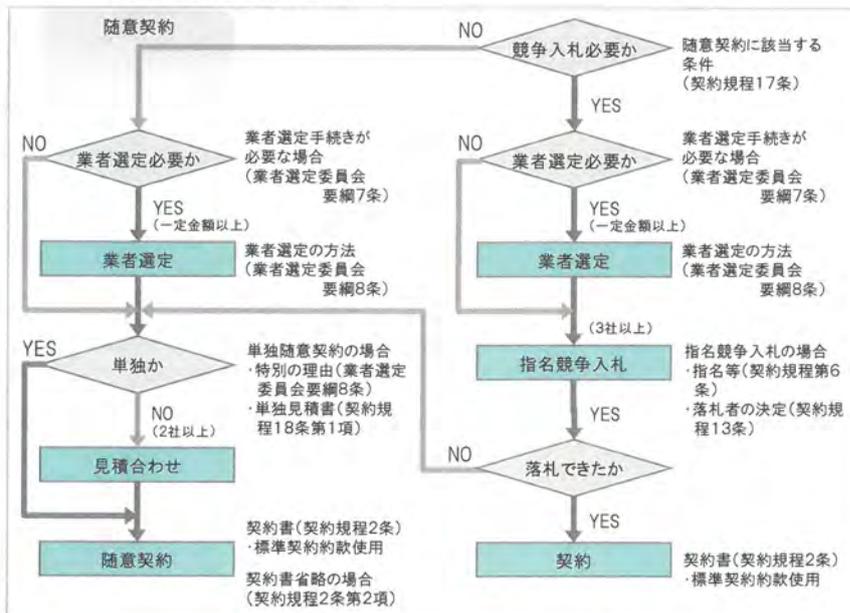
ア 委託費用縮減の取組

業務委託の契約期間は原則 1 年としますが、継続的な契約でスケールメリットが生まれる場合は、指定管理期間を限度とした長期契約を締結します。これにより、契約金額と事務管理コストを縮減します。また、委託先や調達先の選定には、横浜市中企業振興基本条例を踏まえながら、原則として競争入札を実施します。

業者の選定方法

当団体の契約規程に基づき、**指名競争入札等の方法により契約**を行います。事業者の指名に際しては、公正かつ適正な選定を行うためにライン機能から独立した業者選定委員会に付議し決定します。一定の金額未満の契約については、事務の効率化の観点から、複数社による見積もり合わせを実施する等厳正な選定を行います。

当団体の契約フロー



契約において違反行為、社会的に不正な行為を行った業者に対しては、「指名停止措置要綱」に基づき指名停止とし、適正な契約環境を確保します。

イ 業務委託内容と見込金額

各種施設設備保守管理や樹木剪定、保安警備などの高い専門性を有する業務は、第3期指定管理期間から株式会社キョーエーメックに委託します。これにより、設備等の不具合が発生した場合の対応窓口を一本化するなど、一元管理による金沢スポーツセンターの状態確認の最適化とスケールメリット等を生かすことができます。

■主な委託業務計画と金額

■委託業務計画内容と概算金額

委託する業務項目	業務内容	発注先の選定要領等	概算金額 (税込)
建物保守管理業務	月1回の施設設備全般の点検、設備情報管理	協力会社	3,990,624
環境衛生管理業務	害虫駆除、水質検査、空気環境測定、トイレ環境保守	協力会社	1,208,834
清掃業務	床面、ガラス面、シャワー室等壁面、網戸等	協力会社	1,541,903
保安警備		協力会社	957,000
植栽管理業務	剪定、除草、刈込、薬剤散布、施肥(中・高木剪定令和6年度)	協力会社	1,710,500
バスケットボールゴール点検	機能状態、駆動関係の点検	製造メーカー(または正式代理店)	256,000
廃棄物処理業務	横浜市ルート回収	※横浜市ルート回収による	220,000
現金集配金業務	現金入金機保守、集配金業務	設置・集配業者	426,000
第三者評価・外部評価		業者選定委員会により別途決定	220,000
その他	スポーツ教室委託、システム保守など		6,509,000

※金額については、実際の業務仕様に基づいて改めて見積徴収を行うため、変更する場合があります。

● 指定管理者として適正な業務委託経費

有資格者による機器の法定点検など専門業務以外は、日常的な小破修繕や職員の業務内製化を図り、業者に丸投げをすることなく、委託料を指定管理事業維持管理経費の50%以内に抑えます。

ウ 委託先の監理体制

各業者の受託業務に関しては、職員が適正な監督管理を行います。業務履行時には必ず担当者が立会い、施設を利用しているお客様に対する配慮を図りつつ、業務品質の維持に万全を期します。

● 不都合事象への改善システム

当団体では、請負工事等の業務委託に関する「監督事務要綱」を定めており、所長をはじめとする所属職員は、修繕や改修工事など履行内容の検査・確認を行います。万が一、不都合事象があれば、当該要綱に従い、指導・要請・勧告命令などを行います。



● 委託先の法令遵守・人権尊重の確認徹底

委託先において、労働関係法の遵守や接遇教育が徹底されているかを確認します。特に、法定義務が課されている最低賃金や社会保険関係のチェックのほかに、定期的な業務を委託する業者に対して人権擁護及び個人情報保護に関する研修・確認テストを行い、公共サービス従事者としてのお客様対応を徹底します。

エ 市内中小企業を活用する取組 ～地域活性化への貢献～

業務委託や消耗品購入に際しては、「横浜市内中小企業振興基本条例」の趣旨を踏まえ、設備の専門性や独自性などが無い場合において、横浜市内に拠点を置く中小企業事業者からの調達を第一に考え、横浜市の経済活性化に貢献します。

■ 主な市内中小企業への発注実績

内容	業者名
消耗品等購入	有限会社サンビジネス、株式会社八雲堂、妙光電気株式会社、精神障がい者支援施設すぺーす海
教室消耗品一括購入	河原スポーツ店、東京体育用品株式会社
スポーツ用品等購入	有限会社平沼スポーツ、株式会社金港スポーツ
小破修繕など	有限会社西沢金物店、有限会社福神建設

● **金沢区にお住まいの方を積極的に雇用します！**

アルバイト採用については、現指定管理者様と調整させていただき、原則、継続して採用させていただきます。また、私たちは、地域に根差した運営を実現するために、金沢区在住者を積極的に雇用します。

● **福祉団体等からの優先調達への取組**

私たちは、「障害者優先調達推進法」や「横浜市における障害者就労施設からの物品等の調達方針」に則り、障がい者団体・就労施設から優先的・積極的に物品等を購入しています。金沢スポーツセンターでは、事業の参加賞を依頼する他、イベント開催時に中途障がい者支援施設に、作成した製品を販売する機会を提供するなど、障がい者の経済的な自立を支援しています。



精神障がい者支援施設すべす海の
作品をイベントの参加賞として購入

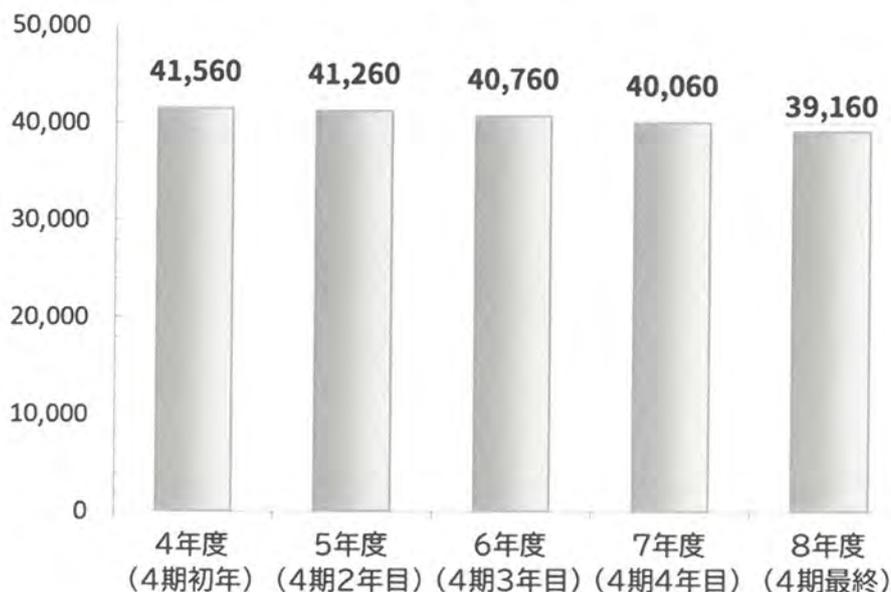


中途障がい者支援施設
ライブアップ金沢の製品販売風景

(4) 指定管理料の額

当団体が提案する金沢スポーツセンター第4期指定管理料は、第3期指定管理期間よりも縮減させるものの、老朽化への対応を含めた設備メンテナンス費、修繕費、備品購入費などを確実に工面できる額としています。また、新たな収入源を確保による収入増加見込み分(自主事業還元収入)を管理経費に計上することで、前述の支出予算を確保していきます。

■ 第4期指定管理料の推移



施設管理について

築 35 年を経過した金沢スポーツセンターを「予防保全」の考え方のもと適切に管理するためには、老朽化が進行している施設設備の状況を的確に把握する必要があります。

私たちは、第 4 期指定管理も引き続き施設維持管理のエキスパートである株式会社キョーエーメック（以下、「キョーエーメック」）を協力会社とし、日常の点検記録や修繕情報などを一元的に管理するファシリティ・マネジメント（FM）体制を構築することで、施設の長寿命化、ライフサイクルコストの縮減に貢献します。

（1）メンテナンス及び環境保持・環境配慮 ～長寿命化を図る維持管理～

ア 協力会社（キョーエーメック）と連携したメンテナンス体制

建築設備の管理は、目視確認の他に、国際標準品質マネジメントシステム ISO9001 の手法を取り入れたキョーエーメックの独自のノウハウによる保守等のメンテナンス体制を整えることにより、事故・故障等を未然に防止します。設備の運転監視業務は、専門知識を有したキョーエーメックの業務責任者が点検・記録管理、データの分析等をし、所長が業務の監理監督を行います。

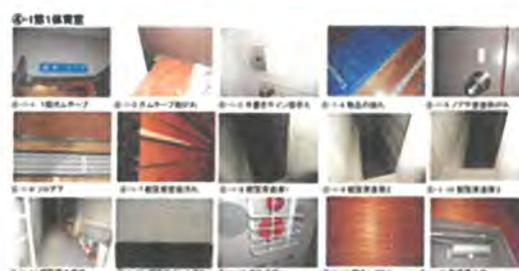
■ メンテナンスに関するマニュアルの完備

私たちは、当団体の『建築物維持管理基本マニュアル』に基づき着実にメンテナンスを実施する体制を整えます。また、設備機器管理業務は、国土交通省監修「建築保全業務共通仕様書」を規範とし、横浜市建築局策定の「維持保全の手引き」及び「施設点検マニュアル」に基づいて実施します。



■ インспекションチームによる業務品質管理

協力会社、現場職員、事務局本部が連携したインスペクション（建築物検査）チームによる設備確認や品質チェックを「現場調査・管理状況シート」に基づき定期的に行い、清掃状況や機器メンテナンスの状態を客観的な立場から監査することで、設備維持管理業務の水準や品質の向上を図ります。



現場調査・管理状況シート

イ 仕様書を上回る点検履行計画（日常点検・法定点検）

■ 安全と快適性を両立するための日常巡視点検

安心安全で快適な施設環境を保つために、職員による設備管理・清掃・警備全般の日常点検を徹底します。体育室や更衣室などの巡回・点検は、2時間おきに1日6回行い、異常の有無に関わらず「日常点検チェックシート」に記録します。異常を発見した場合は、応急処置を速やかに行い、お客様や近隣住民の方の安全を確保します。



定期点検・自主点検の実施

各設備の法定点検は、年1回以上、運転中の機器を停止し、外観・機能点検、機器動作特性試験等の整備業務を行います。また、建物・設備の性能評価をするために、法定点検の他に定期的な自主点検を行います。作業にあたっては、「作業工程」「安全作業」「コンプライアンス」を事前に再確認し、作業終了後は「実施状況」「不具合」「安全上の問題」を集約し、記録・報告します。

定期点検計画

	項目	具体的内容(仕様)	数量	実施月	頻度・回数
建物 保守 管理 業務	設備巡視点検	各設備機器の運転・作動確認、建物内外部の外観目視点検、官公庁検査および協力会社作業の立会作業	24回	毎月	24回/年
	自家用電気工作物	電気事業法等に基づく自家用電気工作物の年次点検および月次点検	1式	隔月	6回/年
	貯水槽清掃	12㎡ピル管理法による、清掃及び内部6面点検、残留塩素測定、満・減水警報の確認	1回	9月	1回/年
	給湯設備清掃	1回/年 内部開放清掃作業 機器1回/年・総合1回/年	1回	11月	1回/年
	消防設備点検	消火器、屋内消火栓設備又は屋外消火栓設備、スプリンクラー設備、自動火災報知設備、ガス漏れ火災警報、非常警報設備、誘導等及び誘導標識、排煙設備、非常コンセント設備等	1式	4・10月	2回/年
	自動ドア保守点検	外観目視点検、エンジン装置の点検及び調整、ベルトの点検、吊り車の増締め、センサー・スイッチの確認、ドアの開閉状況の確認	1式	5・8・11・2月	4回/年
	吸収式冷凍機保守点検	シーズンオン点検(暖房期・冷房期に1回)	1式	5・11	2回/年
	クーリングタワー清掃	40トン・冷房使用期間5ヶ月 高圧洗浄機による清掃及び冷却塔各機器点検	1式	5~10月	6回/年
	温水ヒーター保守点検	制御系統、燃料系統、真空関係、燃焼装置、安全装置の点検	1式	9・3月	2回/年
	フィルター清掃	吸塵・水洗いによる洗浄・及び交換作業	302枚	毎月	1回/年
	フロン排出規正法簡易点検	簡易点検	1式	4・7・10・1月	4回/年
	ガスヒートポンプ保守点検	保守点検	1式	3月	1回/年

ウ 施設の特徴を考慮したきめ細やかな維持管理

体育器具の安全点検

体育室に設置されているの吊り下げ式バスケットボールゴールや観覧席の点検・安全確認は、製造メーカーに点検を委託することで、お客様が安全に安心して使用できるようにします。また、卓球台などの体育器具についても職員がボルトの緩みがないか等を日常的に点検し、安全を確保します。



卓球台の点検

備品管理の ICT 化

横浜市の財産である備品は、全ての備品(品名・購入年月)をデータベース化した独自の備品管理アプリを構築し、管理の正確性と手間を大幅に省力化します。備品は、1年に1回以上のたな卸しをして在庫管理等を適切に行い、新規に追加や廃棄する際には、金沢区に報告・相談をします。



バーコード管理システム

■ トップライトの管理

当館の特徴となっているロビーやトレーニング室のトップライトは、明かり取りや排煙窓の役割を担っていますが、経年劣化で雨漏りなどの原因となっています。雨漏りの場所や原因を調査し、緩衝材を交換する、遮光フィルムを貼り付けて温度管理を行うなど、協力会社のキョーエーメックと協力して適切な管理を行います。



トレーニング室トップライト



ロビートップライト

工 適切な環境衛生の維持管理

■ 環境衛生業務の実施計画

金沢スポーツセンターは「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」の対象の建物ではありませんが、お客様が快適にご利用できる良質な環境を提供するため、環境衛生管理計画に基づいて管理を行うことで、常に施設及び敷地内の適切な環境衛生の維持に努めます。

■ 環境衛生管理計画

	項目	具体的内容(仕様)	数量	実施月	頻度・回数
環境衛生管理業務	①害虫駆除	定期点検:害虫等の発生源・棲息源の点検及び薬剤等による予防措置 全館クリーンアップ:害虫等の駆除、防除について薬剤散布、進入路の遮断	2 回		2回/年
	②飲料水水質検査	簡易 11項目	1 回		1回/年
	③飲料水水質検査	全項目 16項目+12項目(消毒副生成物)	1 回		1回/年
	④レジオネラ属菌水質検査	屋上冷却塔 2回/年、給湯 1回/年 横浜市レジオネラ症防止指針及びレジオネラ症を防止するための技術的管理指針に基づく、検体チェック	1 回		2回/年
	⑤冷却塔薬品洗浄	年2回	1 式		2回/年
	⑥空気環境測定	年2回	1 式		2回/年
	⑦簡易専用水道検査	登録検査機関による立ち入り検査	1 回		1回/年
	⑧トイレ環境保守	年6回	6 回		6回/年

(2) 清潔な施設環境を保つ清掃計画

ア 定期清掃・特別清掃

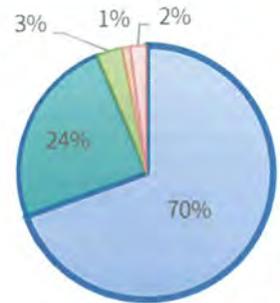
私たちが日常清掃では対応できない床のワックス塗布や高所での窓拭きなどは、協力会社のキョーエーメックが、毎月の施設点検日に実施します。また、大会等の利用後、ロビーや更衣室、観覧席などの汚れが激しい場合には、状況に応じて特別に清掃を実施します。

■ 定期清掃業務

	項目	具体的内容(仕様)	頻度・回数
定期清掃	床清掃(通常)	洗浄(モルタル等): 除塵し、モップがけを行う 洗浄・ワックス(タイル部等): 除塵し、ポリッシャー掛けし、ワックスがけを行う カーペット(カーペット部): シャンピングまたは適正な方法でクリーニングを行う	4回/年
	床定期清掃(はく離)	通常清掃でワックス掛けを行っている部分の汚れ・ワックスをはく離し、ワックスを塗布する	1回/年
	ガラス・鏡清掃	洗剤にて汚れを落とし、水切りして拭き取る	4回/年
	シャワー室清掃	壁面の汚れの除去、床面や排水溝のゴミの除去を行う。また、年2回シャワーヘッドの分解清掃を実施する	12回/年
	換気扇・ガラリ清掃	付着したホコリ等を除去し、適性な換気能力を維持する	1回/年

イ 経験豊富なスタッフだからできる高水準の日常清掃

私たちは、日々の清掃こそが、施設の衛生環境の維持に大きく影響する要素と考え、清掃のプロフェッショナルであるキョーエーメック監修のもと、スタッフが日常的に高水準の清掃を行うことで施設が常に安全で清潔な状態を保てるようにしています。毎年実施している施設の清掃状況に関するアンケート結果では、90%以上のお客様に「満足」の評価をいただいています。



清掃状況の満足度

■スタッフによる日常清掃例

項目	スタッフによる日常清掃
衛生環境への最大限配慮	<p>新型コロナウイルス感染症含む様々な感染症対策として、シャワー室やトイレ等の水周りは、特に衛生面に留意します。床面や壁面、便器等に汚れが目視できなくとも、必ずモップ掛けやブラシを使っての汚れ落としを行うことで、良好な衛生環境を保持します。</p> 
体育室・研修室の清掃	<p>体育室等のフローリングは、床材の劣化によるささくれが原因の事故を未然に防ぐため、乾燥モップによる粉塵除去を原則とします。お客様にも、使用後のモップ掛けをお願いします。靴跡等の汚れが発見された場合は、専用クリーナーを用いて除去します。</p> 
予防清掃の徹底	<p>建物や体育室などの出入口には、防塵マットを置き、汚損防止やフロアの長寿命化を図ります。トレーニング機器は、使用後のアルコール消毒や汚れ等による劣化や感染症防止のための定期的な清掃で清潔な状態を保ちます。</p> 

● キャットウォーク清掃

金沢スポーツセンターでは夏場の教室開催時の温度管理の一環として、体育室の排煙窓の開閉を行うため、例年5月の休館日に職員が中心となり、特別清掃として排煙窓の手前にあるキャットウォークの清掃を実施するとともに、併せて観覧席や床など全体的な清掃を行います。



■ 感染症拡大防止に向けた取組

当団体では、コロナ禍における新生活様式に沿った施設運営を行うため、神奈川県や横浜市のガイドラインに基づき、様々な対策に取り組んでいます。

強アルカリイオン電解水による洗浄 ～環境配慮と汚染防止～

- 高い安全性
洗剤のように界面活性剤や化学合成物質を使用しない電解水は水を電気分解して PH 値をアルカリ性にしたもの。残留分ゼロで環境に優しく、再汚染も防ぎます。
- 高い除菌効果
PH 値 12.5 では、微生物は生育出来ないので菌は死滅。除菌、消臭効果が実証されています。
- 優れた洗浄力
成分の 99.9% が純水でありながら、アルカリ性を極限まで引き上げているため、高い洗浄力を発揮できます。



私たちは、感染拡大防止に向けた様々な取組を行う上で、実際にご利用されるお客間に新たな運営方法についてご理解とご協力をいただくことが重要と考えています。

お客様には、丁寧な説明を心がけるとともに、「除菌済」「清掃済」等のポップを設置するなど、様々な工夫により、お客様に安心・安全にご利用いただけるようにしていきます。



窓口受付飛沫防止



入館時の検温、アルコール消毒



感染対策取組書の掲示



トレーニング室飛沫防止



更衣室・シャワー室の使用制限



チェックシート記入の徹底



ソーシャルディスタンス
マークの設置

(3) 美観を保つ外構・植栽計画

ア 安全性・視認性の高い外構管理

お客様や近隣住民の方の安全を第一に考え、施設の外構にスポットライトやサイン等を設置し、安全性・視認性の向上を図ります。また、混雑時はセンター出入口周辺に自転車が乱雑に置かれ、通行の妨げになるため、現在テープで区画している駐輪場所を塗料で塗り、風雨にさらされても剥がれないようにします。



テープ貼り直し作業

- 歩道ゴミ・落ち葉清掃 ○樹木等が屋外灯や電線に触れていないかの点検
- 害虫発生状況の確認及び簡易除去 ○マンホール・点字ブロックの浮き
- 階段や縁石からの雑草除去 ○ルーフドレンの清掃 他

イ 近隣住民に配慮した樹木剪定等の専門作業

植栽の種類に応じて落ち葉清掃、除草・草刈、中低木管理（4m以下）、高木管理を行い、施設の景観と安全性を保持します。作業にあたっては、事前に近隣住民の方に作業内容や日程をお知らせし、お客様や歩行者の動線確保など、安全第一の作業を心がけます。



樹木の剪定

■植栽管理業務

	項目	具体的内容(仕様)	実施月	数量	頻度・回数
植栽管理	刈り込み(低木)4m以下	枝つめ・枝すかしを行う。樹木の基本の形を整え、余分な枝を取り除く	5月	1式	1回/年
	除草(人力・肩掛機械)	機械または人力で除草する	5・7・10月		3回/年
	薬剤散布	ケムシ・アブラムシ等の樹木への寄生虫駆除を実施	5・7月		2回/年
	施肥	樹木にあった肥料を適期に与える	12月		1回/年

(4) 横浜市脱地球温暖化策に基づく維持管理手法

かけがえのないこの自然環境を損なうことなく、次の世代に伝えるために、金沢スポーツセンターでは、横浜市脱温暖化行動方針（CO-DO30）のもと、こまめな節電・節水やリサイクルの徹底を通じて、地球温暖化抑止に貢献していきます。

ア SDGs 未来都市 横浜としての取組

当団体は、地方創生 SDGs 官民連携プラットフォームの会員として活動しています。私たちは、維持管理業務では、SDGs の目標「11 住み続けられるまちづくりを」「13 気候変動に具体的な対策を」「17 パートナリーシップで目標を達成しよう」の項目についての横浜市の取組を応援します。



出典元:SDGs 未来都市・横浜パンフレット

イ 省エネ・環境保全に配慮した維持管理計画

■ 省エネ推進計画の実行 ～Zero Carbon Yokohama への取組～

「横浜市地球温暖化対策実行計画」に基づき算出した、お客様1人あたりの二酸化炭素排出量を、冷暖房の室温設定やツル性植物によるグリーンカーテンなどで室温の上昇を抑え、年間電気料金、二酸化炭素排出量を抑制することにより、5か年で計画的に削減していきます。

■ 二酸化炭素排出量

二酸化炭素削減目標	「地球温暖化対策の推進に関する基準」に基づき、お客様1人あたりの二酸化炭素排出量を算出し、5か年で計画的に削減していきます。
節水装置の導入	<p>市内スポーツセンターでも導入実績があるトイレ節水装置を、効果が確実に見込める女子トイレ7器に導入します。</p> 

● 横浜ブルーカーボン事業に参画します！

横浜市温暖化対策統括本部では海洋資源を活用した温暖化対策プロジェクト『横浜ブルーカーボン事業』を推進しています。

金沢スポーツセンターでは『横浜スポーツ・レクリエーションフェスティバル』の運営によって排出される温室効果ガスの排出量を、横浜ブルーカーボンオフセット制度を通じて金沢の海の CO2 削減に充てオフセットしました。



金沢スポーツセンターでの取組

● グリーン購入の推進

風力、太陽光、バイオマス（生物資源）などの自然エネルギーによる発電は、発電時に CO₂を発生せず再生可能であるため環境負荷が少ないエネルギーです。

私たちは、「横浜市グリーン購入の推進に関する基本方針」、「横浜市グリーン購入の推進を図るための調達方針」に基づき、グリーン購入を積極的に推進することで、自然エネルギーの普及に貢献します。



グリーン電力

● グリーンカーテンの設置

ツル性植物によるグリーンカーテンで室内温度の上昇を防ぎ、空調効率を高めます。また、夏季の暑い時期には、正面入口や駐車場などのコンクリート面に打ち水を実施することで、温度上昇を防ぎます



ゴーヤのグリーンカーテン

ウ ごみ排出量削減の取組

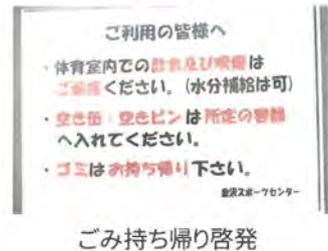
横浜市「ヨコハマ 3R 夢（スリム）プラン」を推進するため、大会時のごみの持ち帰りをお客様にご協力をいただくとともに、事務処理等でも裏紙を使つての再生利用を行うなど、廃棄物の削減に努めます。

また、産業廃棄物は、市内処理業者と契約し、廃棄物処理法に基づく廃棄物管理表（マニフェスト）を交付し、横浜市ゴミ分別回収ルールに従つて処分します。

■ 行政と連携した取組

横浜市資源循環局によるごみ減量や環境保護の啓発ポスターなどを館内に掲示し、スタッフをはじめお客様や近隣居住の方の環境保護への理解を深めていきます。

また、資源回収ボックスの設置など、横浜市の資源回収の取組にも協力していきます。



ごみ持ち帰り啓発

■ スポーツ用品のリユース

ご家庭で不要になったスポーツ用品を、当館を通じて希望者に提供し、資源を有効活用することで廃棄物を削減します。また、不要なタオルを清掃に役立てるなど、様々な方法で再利用を図ります。

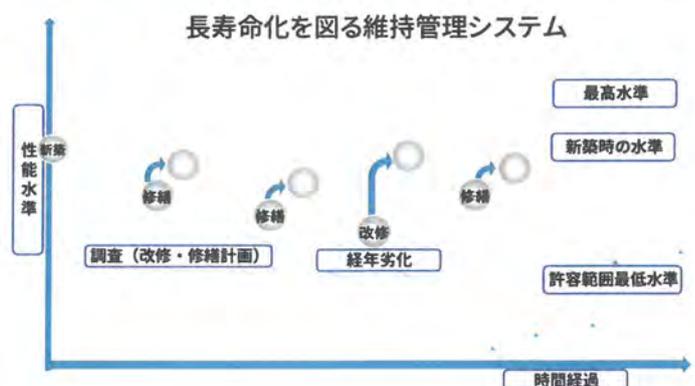


スポーツ用具のリユース

(5) 修繕・予防保全体制

施設の LCC（ライフサイクルコスト）に配慮した中長期保全計画を策定し、機器別の点検基準に基づいた点検・修繕を定期的に行います。

年間及び月ごとに予防保全を目的とした保守管理を行い、設備機器の品質を維持することで、施設の長寿命化を図ります。



ア 協力会社と連携した迅速な修繕対応

設備機器に故障等が発生し、現場での解決が困難な場合は、速やかに協力会社の保全コールセンターへ連絡し、専門的な見地から復旧に向けた的確なアドバイスを受けるとともに、迅速な対応による早期復旧に努めます。

■修繕実施体制

行動1	所長	<ul style="list-style-type: none"> ■施設・設備保全データベースを活用し、年次修繕計画を策定 ■計画策定は、年間利用状況を考慮し、照明交換や壁面清掃の高所作業を一括するなど効率的なスケジュールで実施 ■設備に不具合が発生した時は、速やかに善処し、金沢区に報告いたします
行動2	担当職員	<ul style="list-style-type: none"> ■修繕は、「建築物維持管理基本マニュアル」や協力会社のサポート機能を活用し、実施・検収・記録整理等の施工管理を行います。
行動3	当団体本部	<ul style="list-style-type: none"> ■保安全管理の日常的相談、体育機器等の設備機器の劣化・老朽化対策などの技術的支援を行います。また、施設管理において最適なテーマを設定した研修を開催し、職員の対応能力を高めます。

キョーエーメックによる
適切な修繕計画策定アドバイス

■維持管理業務から修繕にいたるフロー

日常点検・清掃や定期点検を通じて設備機器の修繕が必要となった場合は、速やかに設計書に基づいた見積書を徴収し、当団体契約規程に基づいて契約をします。修繕の履行後は当団体職員が検収を行います。

●職員の立会い業務

各種法令等に基づく官公庁立ち入り検査の立ち会いを行い、検査官からの質問、指摘等に対する確に応答します。また、金沢区と協議の上、修理、改良工事が必要となった場合は、専門業者等の作業に立ち会い、作業内容や異常発生防止策の把握、不具合の早期発見方法の確認を行います。



職員が作業確認を行います

■修繕の基本的な進め方



イ 第4期指定管理の修繕計画

私たちは、『スポーツ施設のストック適正化ガイドライン』（スポーツ庁策定）に準拠し、修繕計画を策定します。実施にあたっては仕様を決定のうえ設計金額を算出します。100万円（消費税別）以下になると予測される場合は、当団体において修繕を行います。

実施にあたっては、建築・機械設備（パートナーであるキョーエーメックが担当）以外の案件は、横浜市内中小企業の施工業者を公平な選定のうえ行います。

■金沢スポーツセンター第4期修繕計画（令和4年～令和8年度）

	実施内容	概算金額(千円・税抜)
令和4年度	公開空地タイル張替、男女更衣室タイル張替、第1体育室電球交換、トレーニング機器 他	2,500
	その他、小破修繕	1,000
令和5年度	第1体育室放送室屋上防水修繕、防火シャッター交換工事、トレーニング機器 他	2,500
	その他、小破修繕	1,000

	実施内容	概算金額(千円・税抜)
令和6年度	多目的トイレ扉交換工事、トイレ洋式化及びウォッシュレット化工事、第三体育室空調増設工事	2,500
	その他、小破修繕	1,000
令和7年度	第1体育室・トレーニング室トップライト取り替え工事、排煙窓パッキン及びワイヤー交換工事 他	2,500
	その他、小破修繕	1,000
令和8年度	劣化診断に基づいた修繕	2,500
	その他、小破修繕	1,000

■ 有資格者による劣化診断と修繕計画の策定

私たちは、株式会社キョーエーメックと協力して、安全対策・環境改善を中心とした年間 350 万円（税抜）以上の5ヵ年分の年間・月間修繕計画を策定します。

また、大規模な営繕が必要となった場合は、金沢区と協議の上、計画的に修繕や機器の更新を行います。

● 自主的な建物劣化診断

築 35 年以上になる金沢スポーツセンターの長寿命化、そして安全な利用を確保するために、私たちは横浜市で行う劣化診断とは別に、自主的に診断を実施し、施設設備の機能等を的確に把握しています。私たちは、第3期指定管理期間中に実施した診断結果をもとに修繕計画を策定します。

■ 建物劣化診断報告書（例）

場所	対象部位	対応処置	2011年 (竣工後17年)	2012年 (竣工後18年)	2013年 (竣工後19年)	2014年 (竣工後20年)	2015年 (竣工後21年)	工事費 (概算)	5年後点検 履歴○×
屋上・屋根	6×6m 屋根	2年後の劣化診断（1次診断）計画							○
	防水層	2年後の劣化診断（1次診断）計画							○
	排水層	2年後の劣化診断（1次診断）計画							○
換気	換気設備	設備点検と点検・器具等に付随して点検	742,000					742,000	○
	換気設備材面	2年後の劣化診断（1次診断）計画							○
一般外壁	7.5×7.5m 外壁	一般鉄筋コンクリート、塗装補修	418,000					418,000	○

安全管理について

私たちは、これまで培った市内スポーツセンターの管理・運営ノウハウと経験を金沢スポーツセンターでも生かし、新型コロナウイルス感染症対策（様式 17 詳細）はもちろんのこと、緊急時においても、お客様の安全を確保し、安心してご利用いただける体制を整えます。

(1) 安全・安心にご利用いただくための平常時の体制

ア 施設特性を反映した安全利用の確保

■ 利用形態に即した安全管理

● 団体利用

お客様がご利用になる器具は、安全管理上、職員が器具庫からご利用になる種目の器具を出し、お客様へ引き渡します。また、初めてご利用になるお客様には、スタッフが丁寧に器具の取り扱いを説明し、一緒に準備を行い、事故防止に努めます。



大型器具は職員がサポート

● 個人利用（バドミントン・卓球）

バドミントンと卓球の個人利用は、多くのお客様にご利用いただくため、スタッフが事前にバドミントンコート2面半、卓球台6台を設置し、お客様同士の接触事故を防ぎます。

● トレーニング室

常駐するトレーニングスタッフは、お客様が安全にトレーニングができるように、室内全体に目を配ります。

初めてご利用されるお客様には、「健康調査票」の記載事項である病気・怪我などの有無を確認し、正しい機器の使い方を丁寧に説明することで、安全で快適に運動ができる環境を提供します。

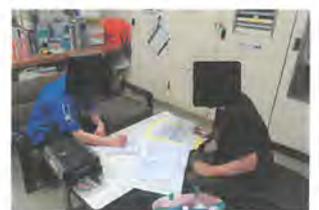


トレーニングをサポート

● スポーツ教室事業

スタッフと教室の指導者は、各回の教室準備の際に、床面の状態や使用する器具の破損状態をチェックします。また、事前の打ち合わせや教室終了後の振り返りを毎回実施し、プログラム内容に応じた安全対策の確認を行っています。

教室事業以外でも各体育室等に運動前後の体調確認ができるチェック表の掲示や、ロビーに血圧や体重を計測できる健康チェックコーナーを設置しています。



講師との綿密な打ち合わせ

● 託児サービスの安全確保

託児の際には、保育士資格等を持つ保育ボランティアを配置し、毎回「保育カード」によりお子様の状況を把握することで、お預かりしているお子様の事故防止や安全を確保に努めています。また、保育ボランティアによる不適切な行動を防止するため、四半期に1回の研修実施や、保育中に適宜職員による巡視を行います。



保育カード

■ スポーツ器具等の安全管理

● スポーツ用具等の日常点検

団体利用や個人利用で使用するスポーツ用具は、休館日や毎日の利用区分ごとに不具合がないか点検を行い、お客様に安全にご利用いただきます。また、トレーニング機器は「トレーニング器具日常点検チェックリスト」に基づき、2時間おきに目視・触診を行います。



バドミントン支柱の点検

● 大型器具等の定期点検（年1回）

日常点検では実施できない大型の器具の点検は、当団体独自に専門業者へ依頼し、年1回の点検を実施します。

器具	点検内容
第1体育室移動観覧席	本体、駆動装置、作動動作、安全装置等の確認
固定式バスケットボールゴール	ボルト・ナットの緩み、破損、変形等の確認
移動式ミニバスケットボールゴール	ボルト・ナットの緩み、破損、変形等の確認
トレーニング機器	可動チェック、電気系統、ボルト・ビス等の増し締め確認



■ 熱中症警戒アラートに即した安全管理

「熱中症警戒アラート」は、環境省と気象庁が極めて高い暑熱環境が予測される際に発表されます。アラートが発表された場合は、速やかにお客様へお知らせし、熱中症予防行動を促します。

● 声掛け、ポスター等による啓発

受付時に声掛けを行うとともに、こまめな水分補給や休息を励行するポスター等を館内に掲示します。また、体育室利用の入れ替え時間ごとに館内放送を流し、熱中症予防を啓発します。



館内表示で注意喚起を促します

● 温湿度計の設置

各体育室に温湿度計を設置し、各時間帯の外気温・室温・湿度をお客様自身で確認できるようにします。また、巡回点検時に職員が確認して、熱中症予防の注意喚起を行います。



体育室内に掲示します

■ 建物や設備機器等の日常点検による安全管理

建物や設備機器等は「日常点検チェックシート」に基づき、毎日の日常点検や月1回の定期点検を通して安全性を確認します。

(設備のメンテナンスは様式13に詳細)

イ 保安警備の実施体制

当団体の保安警備体制は、開館時間内はもちろんのこと、閉館後・休館日においても警備会社と機械警備システムを構築し、24時間365日万全な体制で臨んでいます。

■ 職員巡回による安全確保

私たちは、非常時に迅速で効果的な対応ができるよう、危機管理基本マニュアル内容を常に確認し、日頃から防犯や防災に関する意識を高めています。また、更衣室等の施設巡回・点検を2時間おき（1日6回）に実施するとともに、防犯カメラの視界に入らないエリアは特に巡視を強化し犯罪等を未然に防ぎます。



巡回時に全ロッカーを点検

■ 盗難・盗撮・盗聴等の防止

職員による入館者への積極的な声かけや、館内に「職員巡回強化」の掲示をし、不審者の侵入を未然に防ぐことで盗難事件を抑止します。盗撮・盗聴への対策としては、承諾無しの撮影を禁止するほか、盗聴や盗撮を発する電波を感知する発見機器を導入し、安全対策を強化します。また、選手の盗撮、性的目的の写真・動画の悪用、悪質なSNS投稿を問題視して、日本オリンピック委員会（JOC）やスポーツ庁が取り組んでいる「アスリートへの動画・写真による性的ハラスメント防止」にも協力をします。



入館チェック犯罪防止の館内掲示物

■ 映像記録装置付き防犯カメラの設置

防犯カメラは、映像を保存できるハードディスク内蔵録画機を設置し、画像を確認することができるようにすることで犯罪を抑止します。



録画機能付き防犯カメラ

■ 夜間・休館日の対応

閉館後及び休館日は、外部からの建物内侵入を阻止するために、警備員の巡回や機械警備システムによる監視を行い、安全な施設運営を担保します。

■ 警備内容

項目	主な仕様
巡回警備	夜間(365日/年)及び休館日(17日/年)の日中巡回警備の実施及び警備日報にて報告
機械警備	機械警備システムにより、建物の防犯・火災・各種事故を警戒し、被害拡大を防止



現在の機械式防犯装置

ウ 救急事態にも万全な有資格者配置と研修体制

当団体は、管理運営を行っている多くのスポーツ施設で万全の安全対策を行い、第3期の指定管理では、7人の人命を救助し、尊い命を救うことができました。

第4期指定管理においても、引き続き救命資格の取得や応急手当等の研修を実施することで、お客様の安全・安心を支えます。

年月日	施設名	対象者
2017年4月23日	日産スタジアム	公園利用者
2018年3月3日	瀬谷スポーツセンター	個人利用者
2018年7月1日	都筑スポーツセンター	団体利用者
2018年7月15日	保土ケ谷スポーツセンター	大会参加者
2018年9月20日	泉スポーツセンター	個人利用者
2019年9月22日	泉スポーツセンター	大会参加者
2020年1月13日	西スポーツセンター	個人利用者



■ 全常勤職員が応急手当普及員を取得

金沢スポーツセンター配属の全常勤職員は、横浜市消防局が認定する「応急手当普及員」の資格を取得し、自らが応急手当を実践します。また、当団体は、普通救命講習の指導者を養成するなど、応急手当の実践者を育成していきます。

■ 金沢スポーツセンター業務に係る全スタッフへの研修徹底

アルバイトスタッフ及び外部講師への研修は、資格保有者による月1回の定期的な救命講習会を実施し、AED操作、CPR動作の訓練を行います。また、委託先スタッフの研修は、契約時に社内研修等でのAED訓練の実施を書面で確認します。



心肺蘇生法・AED職員研修

エ 金沢区役所等への連絡体制の確立

事件・事故が発生した場合は、速やかに金沢区地域振興課及び当団体本部に報告をします。

■ 事件・事故発生後の報告連絡

危機発生報告書、事故報告書、設備事故・故障報告書等の各報告に基づき事故が起きた要因を分析し、再発防止に備えた対策を講じます。

また、各種報告を当団体内で共有することで、管理する他施設での事故等を未然に防ぎます。



事故報告書

(2) 緊急時に即応した危機管理体制の構築

ア 金沢区防災計画（震災対策編）における役割の認識

「金沢区防災計画（震災対策編）：平成 30 年 11 月から見直し運用」における金沢スポーツセンターの役割は、『遺体安置所』『帰宅困難者の一時滞在施設』となっています。

私たちは、この役割を十分に認識し、金沢区災害本部と連携・協力して対応していきます。

また、当館は地域防災拠点ではありませんが、無線 LAN をロビー等に設置し、横浜市等からの最新災害情報を入手・伝達するなど、災害時における情報拠点としての機能を担います。



- 災害時における金沢スポーツセンター周辺の拠点
- 地域防災拠点⇒横浜市立大西柴中学校(当館から徒歩約20分)
- 広域避難場所⇒長浜公園(当館から徒歩1分)

イ 緊急時・急病者発生時の対応

■ 緊急時に備えたマニュアルの整備と徹底

私たちは、危機発生時の緊急・救急体制や対応方法等を明記した「危機管理基本マニュアル」を策定し、社内ネットワーク上で職員誰もが閲覧できるようにしています。

また、金沢スポーツセンター独自の「災害対応マニュアル」を整備し、日頃からマニュアルに基づいた安全第一を考えた行動を心がけています。

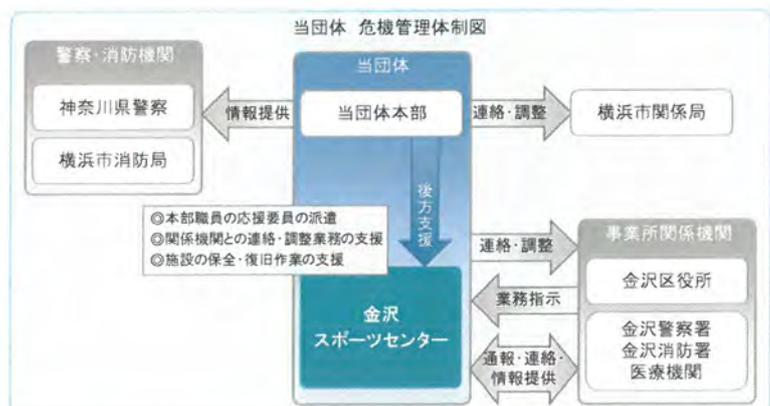


危機管理対応関係のマニュアル

■ 災害発生時の体制と迅速な対応

災害の発生時には、当館の危機管理担当者を所長とし、当団体本部とも密接な危機管理体制を構築することで、緊急時において迅速かつ効果的な対応を行います。

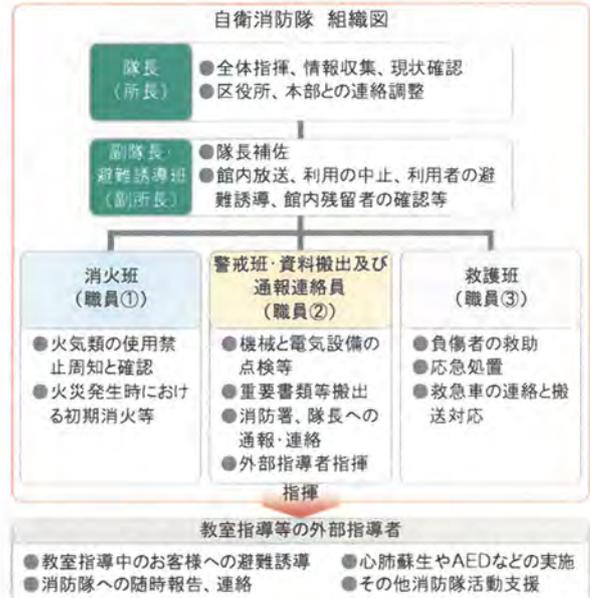
また、金沢警察署や金沢消防署、近隣の医療機関等と危機発生時に備えて緊急・救急ネットワーク体制を整備します。



災害時の明確な指揮命令系統の確立

災害時の万全な対応を可能とするために、金沢スポーツセンター消防計画を策定し、所長を隊長とする自衛消防隊を組織します。

災害対策体制は、外部講師や託児サービス従事者を含めて構築し、お客様の安全確保を最優先した円滑かつ的確な意思伝達が図られるように、避難誘導を行います。



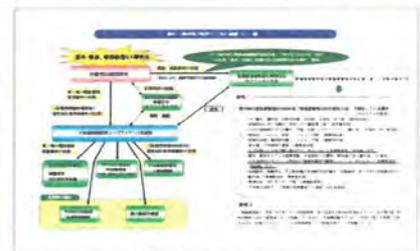
ウ 災害を想定した実践的な準備

平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災を教訓に、金沢区防災計画 (震災対策編・風水害対策編) に基づき、震災、風水害、土砂崩れ等に対応した準備を進め、あらゆる災害対策を講じています。

警察や救急隊への連絡

緊急時に、速やかに警察や消防に適切な連絡ができるよう、事務室内に災害等が発生した際の対応手順を掲出します。

また、当団体本部には、警備統括監 (危機管理室) を配置し、緊急時に警察や消防による早期対応が可能となるよう、日ごろから密接な連絡関係を築いています。



緊急時連絡フロー

実践的な訓練による盤石な危機管理対応

● 当団体全体での訓練

当団体は、毎年 9 月に災害発生時に職員自らの命は自ら守るため、「かながわシェイクアウト訓練」を実施するとともに、安否と施設の状態を迅速に確認することを目的とした「安否確認及び情報伝達訓練」を実施しています。

第 4 期指定管理においても、神奈川県が提唱する「かながわシェイクアウト訓練」及び安否確認訓練や情報伝達訓練については、東日本電信電話会社が提供する災害用伝言版 (web171) を活用し実施します。



提供 効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議

かながわシェイクアウト訓練

● 防災訓練の実施

防災対応能力を高めるため、金沢消防署の協力のもと、お客様とともに危機管理マニュアルや消防計画に基づいた実践的な防災訓練を実施します。また、年1回の休館日では、高齢者や障がい者等介助が必要なお客様を想定した避難誘導訓練を全職員で実施します。訓練では、当館の広域避難場所である長浜公園への誘導をシミュレーションします。



■ 避難誘導経路や防災担当者の見える化

緊急時の職員の避難誘導体制を確立し、防災担当者を館内に掲示するとともに、お客様が一目で職員の役割がわかるよう名札を着用します。

また、避難経路図を各体育室へ掲示し、教室講師や託児サービス従事者には、教室指導時に各体育室の避難誘導経路の確認を行います。

6/18 (金) 本日の防災担当者	
避難誘導班	宮城 直 さん
救護班	山本 一 さん
消火班	小野 一 さん
警備班・通報連絡員	星崎 一 さん

防災担当者の掲出



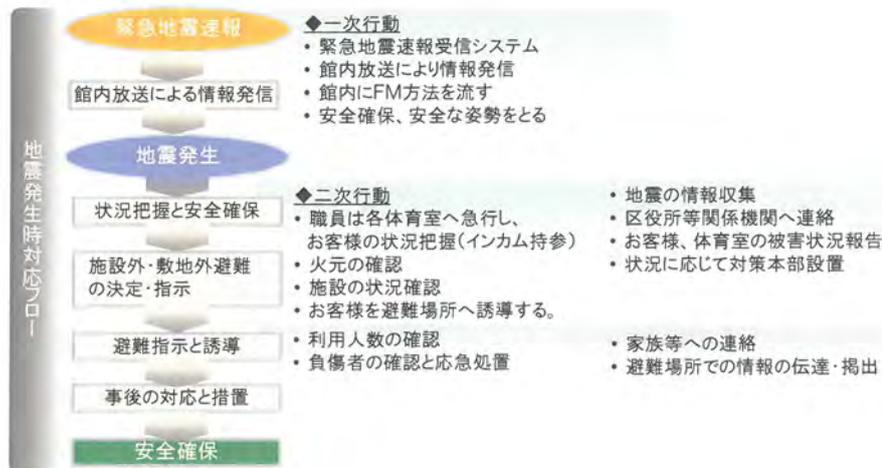
各体育室にも避難経路を掲示

■ 地震・火災等災害発生時の基本的行動

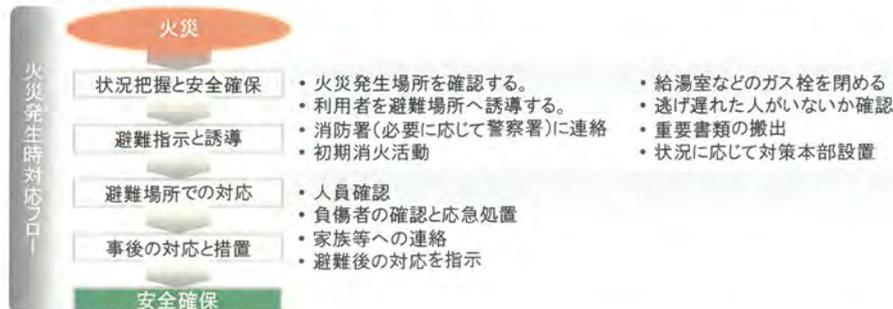
当団体では、危機管理マニュアル、震災対応マニュアル及び災害対策本部の設置等に関する要綱等の規定を整備しています。

金沢スポーツセンターは、災害等の発生時には当団体本部と連携を密にし、施設の出勤状況に応じた当団体本部職員の応援体制を確立します。また、対応マニュアルにある災害発生時のフローに沿って行動できるように訓練を怠りません。

■ 地震発生時のフロー

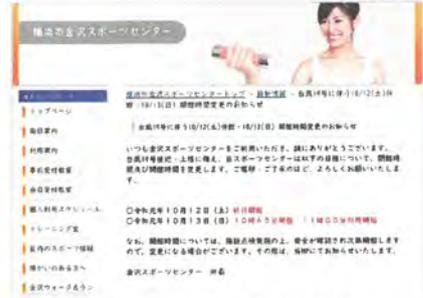


■ 火災発生時フロー



■ 風水害等への対応

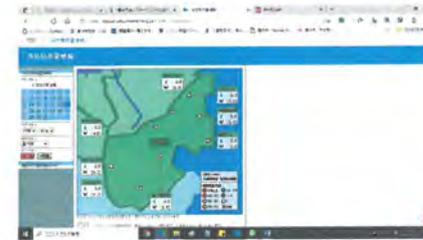
台風や大雨、ゲリラ豪雨、雷、降雪などの情報は、テレビやインターネットなどを使って情報を収集するほか、警報等が発令された場合は、「台風等の災害時におけるスポーツセンター・公会堂の施設運営について」に基づき対応します。また、荒天後は直ちに建物内外の壁や屋根などの目視点検を行い、被害状況を確認のうえ、被害の有無に関わらず、金沢区地域振興課及び当団体本部に速やかに報告します。



ホームページで情報提供

● ゲリラ豪雨時でのお客様等への対応

急激な積雷雲の発生に伴い、ゲリラ豪雨や落雷が心配される場合、当日の雲の動きに注意を払い、お客様や指導者へ伝達するほか、降雨や遠雷を観察しご案内していきます。



雨量情報等を随時確認

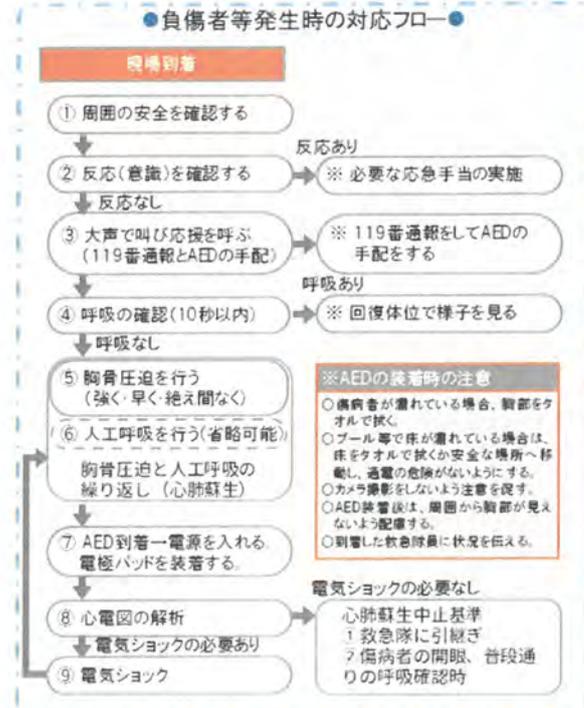
エ AEDの適切な配置・点検

館内各所での事故を想定し、お客様にもわかりやすいよう AED のサインを掲出します。また、屋外のイベント時は、当団体本部に配備する AED を会場へ持参します。なお、AED は点検表に基づき 1 日 1 回の点検を確実にを行います。



■ 急病人及び負傷者への基本的対応

万が一、ご利用中に人身事故等が発生した場合は、「負傷者等発生時の対応フロー」に従い対応します。スタッフは、急病人及び負傷者の救護を最優先に行動し、他のお客様の安全を確保し、二次災害の防止に努めます。



(3) 災害・事故等が発生した場合の賠償保険

ア 施設賠償責任保険への加入

建築物の設備構造上の欠陥、あるいは管理上の不備等に起因して、お客様に身体的傷害や財物損壊を与えた場合に備え、施設賠償責任保険に加入します。

■ 加入する施設賠償責任保険内容

保険種類	保険内容	補償限度額
施設賠償責任保険	施設側の瑕疵により、お客様に対する身体及び物品等に被害が発生した場合の賠償保険	対人：1人につき1億円、1事故につき1億円 期間中1億円 対物：1事故につき1億円、期間中1億円

イ スポーツ・レクリエーション傷害保険への加入 【再掲】

スポーツ教室事業の実施に際しては、スポーツ・レクリエーション傷害保険に加入し、参加者及び指導者の事故や怪我の発生に対しての補償を担保します。

● 教室事業における傷害保険への特約付与

昨今の気温上昇を考慮し、熱中症と診断された際にも補償が適用される「熱中症特約」を従来の補償に追加（夏季期間）し、お客様が安心して教室に参加できるようサポートします。

■ 加入するスポーツ・レクリエーション傷害保険内容

保険種類	保険内容	補償限度額
スポーツ・レクリエーション保険	教室の参加者が怪我をした場合に対応する傷害保険	死亡・後遺症：1人につき350万円 入院保険金：1人1日4,500円 手術保険金：手術の種類に応じて、入院保険金の10倍、20倍、又は40倍 通院保険金：1人1日3,000円

ウ 地域スポーツ指導者向け補償制度の創設

当団体は、スポーツ教室指導者や地域スポーツ指導者が安心して地域で活動できるように「横浜市スポーツ人材活用システム登録者補償制度」を設けています。この制度は、スポーツ指導中における様々なリスクに備える総合補償制度で、災害補償（ケガ等の補償）と賠償金補償の2つで構成され、スポーツ指導者のケガ等の際の補償を行っています。

補償対象範囲			補償金額
(1)おケガ等の補償額	災害死亡補償金		傷害事故 300万円
			特定疾病 300万円
	後遺障害補償金		傷害事故 最高300万円
			特定疾病 最高300万円
	※療養補償金	入院日額 (1日あたり)	傷害事故 3,000円(180日以内)
			特定疾病 3,000円(180日以内)
通院日額 (1日あたり)		傷害事故 1,000円(90日以内)	
		特定疾病 1,000円(90日以内)	
(2)賠償責任の補償額	身体と財物に対する補償 (支払限度)		1名・1事故につき3億円 自己負担金額 なし
	管理中の財物に対する補償 (支払限度)		1事故につき300万円 自己負担金額 なし

地域との協力について

(1) 金沢区のスポーツ振興のための地域支援

■ 信頼と実績 子どもから大人まで安心・元気に

新型コロナウイルス感染症により生活環境が大きく変化しました。その中でも健康志向やスポーツ活動への関心は衰えることなく、スポーツ教室のオンライン化や屋外での実施などニーズは多様化してきています。

当団体は、社会状況の変化やスポーツ活動に対する区民ニーズの多様化などを踏まえ、地域の実情に合わせたスポーツや健康づくりを区民が安心・安全に実施できるよう支援します。また、地域でのスポーツや健康づくりを活性化させる取組を積極的に行うことで、健康寿命の延伸に貢献します。子どもから高齢者まで、誰もが住み慣れた地域で安心して元気に暮らせるよう、地域に根ざした運営者として務めます。

ア 地域住民等のニーズの把握

金沢スポーツセンターでは、お客様の声に耳を傾けるため、ご意見箱の設置、お客様満足度調査アンケートの実施、ホームページお問い合わせフォームの設置などを行っています。

また、日頃から利用していただいているお客様、自治会町内会などの地域の方々、区スポーツ協会、スポーツ推進委員連絡協議会などの地域団体の方々にお集まりいただき、オープンミーティング（利用者懇談会）を開催しています。当館の運営に関して様々なご意見・ご要望を伺うことで、指定管理者としてお客様の立場に立ち、地域に根差した管理運営に努めています。



オープンミーティング

イ 金沢の未来を創る取組

■ 住みたい、住み続けたいまちづくり

金沢スポーツセンターは、地域、企業、大学等と連携し、地域活性化の取組を行っています。



金沢センターシーサイド名店会主催の餅つきと正月遊びに出展



横浜シーサイドライン主催のシーサイドラインフェスタで体力測定とさわやかスポーツ体験を実施



関東学院大学主催の創造祭スポーツフェスティバルで体力測定とさわやかスポーツ体験を実施

イベントに参加し、体力測定や簡易に体験できる輪投げや的当てなどの「さわやかスポーツ」を実施することで、地域の活性化を図るとともに、体力や筋力の変化に気付いていただくことで、運動を始めるための動機付けや運動機会の創出に取り組んでいます。また、環境美化の一環として、オフィス金沢登録団体でもある「ウェルカフェ&カルチャークラブ」と連携し、スタンドアップパドル (SUP) を活用した舟だまりのゴミ拾いや、いかだ体験なども行っています。



ウェルカフェ&カルチャークラブ主催
いかだ体験の運営に協力

私たちは、施設の管理運営だけでなく、地域や企業、大学などと連携を取りながら、金沢区の基本目標である住みたい、住み続けたいまちづくりの実現に向けた取組にも積極的に協力していきます。

ウ 子どもの体力向上への取組

横浜市は、横浜市スポーツ推進計画において「子どもの体力向上事業の実施及び拡充」を掲げています。私たちは、スポーツセンターで開催する子どもを対象とした教室のほかに、小学校や幼・保育園において子どもの体力向上事業を積極的に行います。

■ 教室プログラムでの多彩な取組

子どもの体力向上に資するプログラムを各年代や目的に合わせて多彩に開催します。幼児期に必要な生活の一部である「遊び」の要素を取り入れた「幼児体操教室」や親子のふれあいも取り入れた「親子体操イベント」を開催します。また、小学生には身体を動かすことへの興味や苦手な運動ができた喜び、身体を動かすことの楽しさが体感できる「苦手克服教室」や「HIPHOP 教室」などを開催し、子どもの運動離れを防ぎ、日常的なスポーツ活動へつなげていきます。



親子体操イベント(トランポリン)



親子体操イベント(サーキット)



子どもの運動苦手克服教室

■ 幼児期からの子どもの体力向上への取組

近年、社会環境の変化や生活様式の変化から、現代の幼児は体を動かして遊ぶ機会が減少し、転倒時に手が出ない、支えられないことによる怪我等も増加しています。

私たちは、幼・保育園への「はつらつキンダー」訪問プログラムを実施しています。遊びを通して幼児期に必要な多様な動きを身に付けるとともに、生涯にわたって運動を楽しむための基本的な能力を発達させます。



保育園訪問運動指導

また、保育園での幼児期における運動習慣の啓発や持続的・継続的な運動・スポーツの実施を図るため、金沢区福祉保健センターこども家庭支援課と連携し、「保育士向け運動指導研修」を開催します。

■ 小学校等における『体力向上プログラム』の展開

私たちは、「中（昼）休み」や「委員会活動」などの時間で児童が関心を持って運動やスポーツに継続的に取り組めるよう、学校と家庭、地域と協力しながら「体力向上プログラム」を展開します。児童が定期的に運動に親しむ機会を設けることで、主体的・日常的に体を動かし、適切な運動習慣を身に付ける一助となります。

また、金沢区内小学校の「学校保健委員会」と連携し、委員児童と教職員、PTA に健康と運動の必要性について講義や実技を行い、児童の主体的な活動を促します。

■ 平成 31 年度実績

参加者数	学校名
9,207人	朝比奈小学校、釜利谷小学校、釜利谷東小学校、釜利谷南小学校、大道小学校、高舟台小学校、富岡小学校、並木第一小学校、並木第四小学校、並木中央小学校、西柴小学校、西富岡小学校、能見台南小学校、八景小学校、文庫小学校、六浦小学校、六浦南小学校

エ 子育て世代への支援

金沢スポーツセンターは、横浜市こども青少年局の子育て家庭応援事業「ハマハグ」の協賛認定施設として、引き続き子育て中の親とその家族がご利用しやすい施設となるよう、子育て支援サービスの充実を図ります。

また、こども 110 番の家への登録や、所長が地域学校協働本部の役員を務めるなど、近隣小学校と連携し、様々な課題解決への取組の一助を担っています。

■ 地域子育て支援拠点「とことこ」との連携 新規

私たちは、地域子育て支援拠点「とことこ」や金沢区福祉保健センターこども家庭支援課と連携し、支援の場や機会の拡充を図るとともに、子育て支援ネットワークを主体とした交流イベントを協働で実施します。



土曜日開催！親子リミックス&トランポリン
イベント(親子リミックス)



土曜日開催！親子リミックス&トランポリン
イベント(親子トランポリン)

オ 障がい児・者スポーツの支援

■ インクルーシブスポーツ推進事業の支援

障害のある子どもたちに、スポーツを通じて元気を届け、スポーツへの興味・関心を高めるとともに、体力の向上を図るため、金沢養護学校と連携して体育の授業などで指導を行っています。

また、横浜市立並木中学校の「障がい者スポーツ体験会」の授業でボッチャなどのインクルーシブスポーツの指導を行うなど、障がいの有無に関わらず相互に認めあえる共生社会の実現に向けた支援を行っていきます。



シッティングバレーボール体験



ゴールボール体験



ボッチャ体験

■ 地域スポーツの担い手へのインクルーシブ啓発事業の推進

新規

「障害者スポーツ文化センター横浜ラポール」と連携を図り、地域スポーツの担い手である、スポーツ推進委員、さわやかスポーツ普及委員会、総合型地域スポーツクラブ等を対象として、障がい者スポーツ講習会を実施します。インクルーシブへの理解を深めることで、障がいの有無に関わらず誰もが身近な場所で継続的にスポーツを楽しむ機会を創出し、共生社会の実現していきます。



ラポールと連携した研修(実技)



ラポールと連携した研修(講義)

■ 障がい者団体などへの健康・体力づくり支援

私たちは、スポーツセンターで開催する「リハビリ教室」(脳血管疾患等の疾病に対する体力維持・向上を希望される方対象の体操教室)のほかに、中途障害者地域活動センター「ライブアップ金沢」、知的障害者の職能適性に応じたクリーニング、委託加工などの作業を通じて社会的自立を支援している「金沢若草園」、精神障がい者の横浜市地域活動支援センター「すぺーす海」や「はまべの」、金沢区難病患者等交流会(あすなる会)などでも運動指導を行い、運動の機会を提供することで社会参加の場の創出や日頃の体力維持向上に協力します。



金沢若草園での運動指導

■ 障がい児・者スポーツ団体への協力

当団体は、横浜F・マリノス・横浜ラポールと連携し、横浜F・マリノス「フトゥーロ」（知的障がい者サッカーチーム）の活動を支援するなど、障がい者団体が行うスポーツ活動に積極的に協力をします。

カ 高齢者の生きがいづくりに資するスポーツプログラム

私たちは、金沢スポーツセンターが高齢者の生きがいづくりの場となるよう積極的に取り組んでおり、平成30年度の金沢スポーツセンター定期教室では、年間延べ参加者数4,447人に対して高齢者の方の申込が1,925人と43%を占めています。

第4期指定管理期間では、新たな取組として少人数を対象とした、個々の体の不具合に対応できるオーダーメイド要素の高い教室を展開します。

また、経験豊かなシニア世代の方を、受付等のスタッフやスポーツ・文化教室の講師として採用するなど、多くのシニア人材に活躍していただきます。



体幹トレーニングでの運動指導



健康体操での運動指導



トレーニング室で生き生きと働くシニアスタッフ

キ ウォーキング等を活用した地域の健康づくり

横浜市では「健康寿命日本一のまち」を掲げ、「よこはまウォーキングポイント」を導入しており、市民の健康づくりにウォーキングは欠かすことのできない運動となっています。また、当団体が毎年実施している「市民スポーツ意識調査」でも過去1年間で行ったスポーツの中でウォーキングが第1位（43.3%）、散歩が第2位（40.3%）となっており、生活の中で誰もが気軽に行えるスポーツとして定着しています。

金沢区は公園面積や緑比率が上位の区で、平成30年度に整備が完了している健康みち・健康づくり公園を活用した、健康遊具の説明とウォーキングを組み合わせた事業や、「横浜つながりの森」の自然観察を取り入れたウォーキング事業を実施し、地域の健康づくりや魅力づくりを推進します。



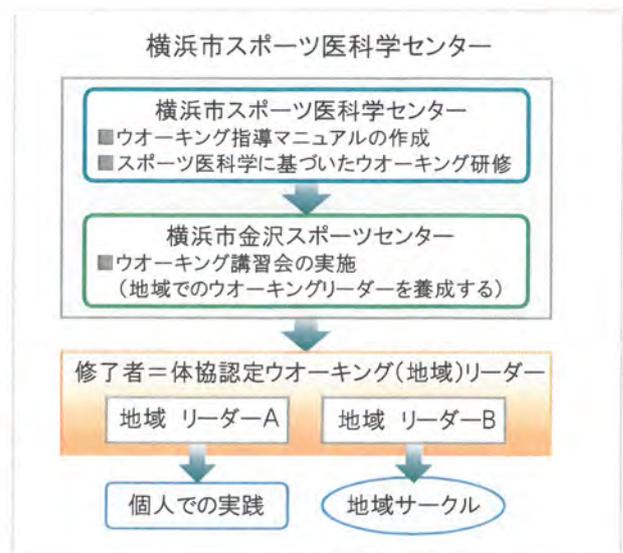
自然観察をしながらのウォーキング

■ウォーキングリーダーの養成

ウォーキング人口は増加しており、全国には3000万人以上のウォーキング志向の方々が存在します。

私たちは、健康・スポーツ医科学・運動生理学などに基づいたウォーキング指導ができるリーダーを養成し、多くのウォーキング愛好家をサポートします。

また、保健活動推進員やヘルスマイトなどの地域団体を対象としたウォーキング講習会を定期的で開催することで、各地域でのウォーキング実施者の増加、実施の継続につなげます。



■実施する指導者養成講座

名称	実施時期	内容
ウォーキング講座	年1回以上	保健活動推進員、食生活改善推進員、地域指導者等の対象に合わせた、派遣講座を実施します。



保健活動推進員対象のウォーキング講座(講義)



保健活動推進員対象のウォーキング講座(ストレッチ)

■ウォーキングイベントの開催

私たちは、地域団体と協働して各種ウォーキング事業を実施します。

■実施するイベント

名称	実施時期	内容
家族と自然を楽しむ「つながりの森ウォーキング」	春	横浜つながりの森を歩く中で、五感を使って全身で遊んだり、自然環境学習、家族の絆づくり、健康・体力づくりなど様々な学習を可能にするウォーキングです。
金沢の魅力発見！ウォーキング	秋	金沢区では海や山や歴史名所・旧跡があります。自然環境や歴史名所を訪ね、金沢区を再発見していただく散策事業を実施し、ウォーキングや健康への関心を深めます。
健康づくりウォーキング	冬	金沢区内に整備されている健康づくり公園を活用した、健康遊具の説明とウォーキングを組み合わせた事業です。



健康遊具の説明(ウォーキング講座で)



石碑などの説明を取り入れたウォーキング

ク 地域における健康づくり支援

金沢区は高齢化率が 18 区中 4 位、出生率が 18 位と少子高齢化が課題となっています。子どもから大人まで、健康に対する区民意識の向上に伴い、地域団体や区内公共施設等から当団体への健康づくりに関する講演や指導依頼等が増えています。当団体では、職員による体力の維持・増進や生活習慣病・介護予防、救命救急（AED 操作含む）等の派遣指導の実施、当団体の人材活用システムに登録している地域指導者など、地域人材の紹介を行っています。

■平成 30 年度地域での健康づくり派遣指導実績

主な活動場所	件数
・さくら並木の会(認知症予防サポーターズ) 2回/年 述べ参加者11名	述べ回数 120回 述べ参加者 16,603人
・金沢区リハビリ教室(ライブアップ金沢) 5回/年 述べ参加者33名	
・横浜市地域活動支援センター「はまべの会」 3回/年 延べ参加者46名	
・富岡団地老人会・自治会「歩き方講座」 2回/年 延べ参加者49名	
・並木地域ケアプラザ「健康体操講座(軸トレ)」 8回/年 延べ参加者144名	
・能見台地区保健活動推進委員会「公園でウォーキング」 1回/年 参加者25名	
・能見台地域ケアプラザ「ハマトレ講座」 1回/年 参加者25名	
・福祉保健センター「金沢区の魅力いっぱい健康ウォーキング2018」 1回/年 参加者1,005名	
・なみき音楽倶楽部♪元気づくりステーション「歩き方講座」 1回/年 参加者20名	
・食生活等改善推進委員会(体操指導) 1回/年 参加者50名	
・金沢中部地区保健活動推進委員会「中高年のロコモ予防」 1回/年 参加者27名	
・金沢地区保健活動推進委員会「健康づくりのためのウォーキング講習会」 1回/年 参加者30名	
・富岡地域ケアプラザ「体操の先生になってみませんか」 3回/年 延べ参加者12名	
・釜利谷地区保健活動推進委員会「健康づくりのためのウォーキング講習会」 1回/年 参加者36名	
・六浦西地区保健活動推進委員会「もっと効果的にウォーキングしませんか？」 1回/年 参加者37名	
・泥亀地域ケアプラザ「平成30年度第2階利用調整会議(椅子に座って出来るような軽いエクササイズ)」 1回/年 参加者45名	
・横浜シニア大学(健康講座) 1回/年 39名	
・地区かもめ体操研修会、高齢者健康体操、地区連合町内会運動会準備体操他	



さくら並木の会(認知症予防サポーターズ)指導



健康ウォーキングでのテニスボールマッサージ指導



■ 令和元年度地域での健康づくり派遣指導実績

主な活動場所	件数
<ul style="list-style-type: none"> ・さくら並木の会(認知症予防サポーターズ) 2回/年 述べ参加者11名 ・金沢区リハビリ教室(ライブアップ金沢) 5回/年 述べ参加者33名 ・横浜市地域活動支援センター「はまべの会」 3回/年 延べ参加者48名 ・富岡団地老人会・自治会「歩き方講座」 2回/年 延べ参加者46名 ・なみき音楽倶楽部♪元気づくりステーション「歩き方講座」 1回/年 参加者23名 ・福祉保健センター「こんにちは赤ちゃん訪問事業の研修」 1回/年 参加者45名 ・富岡西・能見台地区民生委員児童委員協議会「けんこう体操」 1回/年 参加者28名 ・食生活等改善推進員会(ヘルスマイト体操のポイント指導) 1回/年 参加者42名 ・横浜シニア大学(健康講座) 1回/年 50名 ・柳町地域ケアプラザ「ロコモ予防講座」 2回/年 延べ参加者34名 ・能見台地域ケアプラザ「体幹トレーニング」 6回/年 延べ参加者82名 ・福祉保健センター「ウォーキング講習会」金沢中部地区、富岡第一地区、富岡西・能見台地区 各1回/年 延べ参加者109名 ・釜利谷地区保健活動推進員会「タオルを使ってストレッチ講習会」「体幹トレーニング講習会」 各1回/年 延べ参加者36名 ・泥亀地域ケアプラザ「平成30年度第2階利用調整会議(ポッチャ体験)」 1回/年 参加者50名 ・地区かもめ体操研修会、高齢者健康体操、地区連合町内会運動会準備体操他 	<p>述べ回数 114回 述べ参加者 2,453人</p>

■ 令和2年度地域での健康づくり派遣指導実績

主な活動場所	件数
<ul style="list-style-type: none"> ・柳町地域ケアプラザ「ロコモ予防講座」 2回/年 延べ参加者23名 ・なみき音楽倶楽部(元気づくりステーション) 1回/年 22名 ・金沢区リハビリ教室(ライブアップ金沢) 5回/年 述べ参加者20名 ・横浜市地域活動支援センター「はまべの会」 1回/年 参加者12名 ・横浜市社会福祉協議会「ふれあいさざなみ元気づくりステーション」 1回/年 21名 ・高舟台自治会「健康づくりの会」 1回/年 18名 ・老人福祉センター晴嵐かなざわ「介護予防講座」 3回/年 延べ参加者49名 ・金沢区おうちでエクササイズプログラム動画撮影 1回/年 ※動画を市のYouTubeにアップ ・地区かもめ体操研修会、高齢者健康体操他 	<p>述べ回数 64回 述べ参加者 1,020人</p>

ケ 地域指導者の養成と育成

当団体が主催する「横浜市スポーツ・レクリエーション人材養成講座」や当団体が運営する地域指導者登録制度「人材活用システム」の登録者に対して研修会を開催し、当団体の専門的知識を有する有資格者が実技指導を行います。

【横浜市スポーツ・レクリエーション人材養成講座】

- スポーツリーダー講習会
- 健康体づくりインストラクター養成講座
- 地域クラブ・アシスタントマネージャー養成講座
- アウトドアルーダー講座 など

また、人材養成講座修了者や養成中の指導者にスポーツセンター等の施設や地域での実践研修の場を設けて質的向上を行うことで、身近な地域で活動できるようにするなど、地域での健康づくりに積極的に協力します。

コ 区内公共施設と連携したイベント等の開催

金沢スポーツセンターから遠い地域にお住いの区民で当館に足を運べない方々のために、金沢区内にある地域ケアプラザや地区センターなどの区内公共施設で健康づくりやイベントやスポーツセンター出張教室等を連携して実施することで、区民のスポーツ実施を支援します。



地域ケアプラザとの連携事業



ライブアップ金沢との連携事業

サ 地域へのスポーツ用具の無料貸出

自治会町内会や地域での運動会、体力測定などのイベントの際に、「さわやかスポーツ」の用具や握力計などの体力測定用具を、要望に応じて無料で貸出します。



さわやかスポーツ用具



体力測定用具

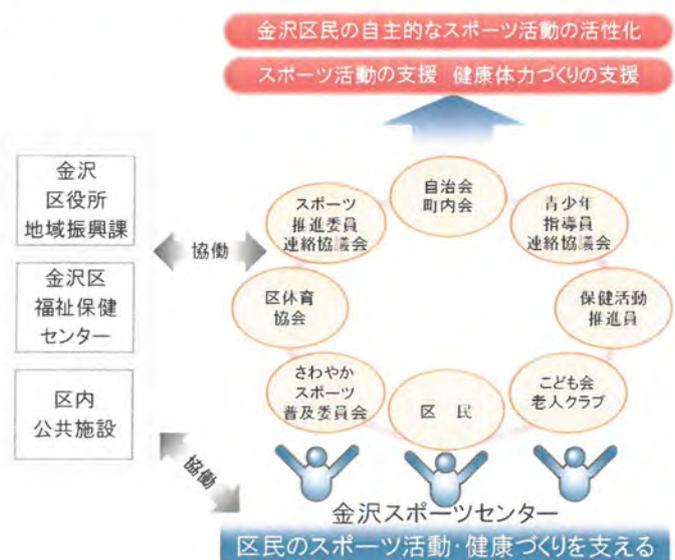
(2) 地域連携に対する取組

私たちは、身近なまちづくりに積極的に関わり、金沢区地域振興課や福祉保健センターと調整を図りながら、区民、自治会、町内会、区スポーツ協会、スポーツ推進委員連絡協議会、青少年指導員連絡協議会、子ども会連絡協議会、老人クラブ連合会、保健活動推進員、食生活等改善推進員、学校教育機関、商店街、企業、その他関係団体と情報を共有し、連携体制を強化します。地域における課題や特性を十分に理解し、協働した取組を推進することで、金沢区のスポーツ振興事業の促進、支援を行います。

ア 地域スポーツ団体や区民との協力・連携体制

金沢区区制運営方針において「誰もが健康で生きがいを感じられる地域の実現！」が掲げられています。

スポーツセンターは、単なる運動する場だけではなく金沢区におけるスポーツ施策を発信する拠点としてのセンター機能も有しており、これらの取組は、長年にわたり施設の管理運営を行い、豊富な経験を有する当団体でなければできません。



イ 地域団体等との協力・連携によるスポーツ振興

■ 自治会町内会との協力・連携

私たちは、地元の事業者として、自治会町内会に加入するとともに、更なる連携を深め、地域の活性化・健康づくりに貢献します。

自治会、町内会単位での運動会での運動指導、介護予防・認知症予防の体操教室、金沢区の自然を活用したウォーキングや健康遊具の指導、体力測定など、地域の要望に応じた支援を引き続き行います。

実施にあたっては、地域の保健活動推進員、食生活改善推進員、町内会関係者、介護予防サポーター、包括職員と協力することで、スポーツセンターに来館しづらい遠方の地域の方々も自治会館等で開催している活動に参加できるよう支援し、一人でも多くの区民がいつまでも健康でいられるように、様々な場所で運動やスポーツの機会を提供します。



釜利谷地区のウォーキング講習会



富岡地区お元気フェスタでの生活体力測定

■ 金沢区スポーツ協会との協力・連携

金沢スポーツセンター内には、「金沢区スポーツ協会（加盟団体：17種目部会）」の事務局があり、多数の区内種目団体が協会に加盟をしています。

当団体では、同協会主催の地域貢献事業への企画運営協力、総会や各部会会議に出席し、助言や情報提供を行うなど、運営を支援しています。第4期指定管理期間も、スポーツ振興の担い手として協力的体制を築き、同協会への運営支援を継続して行うことで、区民の多種多様なスポーツ活動の要望に応じていきます。



金沢区スポーツ協会主催の地域貢献事業（野球教室）

● 区スポーツ協会事務局スペース配置への協力

現在、金沢スポーツセンター内に設置されている金沢区スポーツ協会の事務局については、引き続き覚書を締結し、運営の協力をします。

■ 金沢区スポーツ推進委員連絡協議会との協力・連携

金沢区スポーツ推進委員連絡協議会は、スポーツを中心とした幅広い事業を実施しており、各地域で欠かせない存在です。地域の誰もがいきいきと健康で生きがいを実感できるようにするためには、地域に精通している委員の方々と協力して区のスポーツの普及振興を図る必要があります。

私たちは、第3期指定管理期間において、連絡協議会が開催した研修会やフェスティバルでの事業協力等、相互連携を図ってきました。第4期指定管理期間においても、知識や技術の習得に必要な研修会の支援を継続すると共に、地域の実情に合わせた事業の相談や用具の貸し出しなど、これまで以上に相互連携を行い、地域活動やイベントにおいて区民の自主的なスポーツ活動を支援します。



ニュースポーツ(カローリング)勉強会

■ 金沢区青少年指導員連絡協議会との協力・連携

金沢区青少年指導員連絡協議会は、地域における青少年の自主的活動と健全育成のために、夏の自然を満喫できる宿泊イベントや、金沢区の小学校と連携して、地域の子どもたちへの見守り活動を啓発する「スクールゾーンキャンペーン」を開催しています。

私たちは、横浜元気!!スポーツ・レクリエーションフェスティバルやオープンミーティングなどで連携し、青少年の健全育成を支援しています。



イベントでの昔遊び体験コーナー

■ 金沢区さわやかスポーツ普及員会との協力・連携

横浜市では、「いつでも・どこでも・だれにでも」楽しめるニュースポーツを「ヨコハマさわやかスポーツ」として市民に普及しています。近年では、子どもの体力向上や高齢者の健康づくりにさわやかスポーツの種目が取り入れられています。金沢区さわやかスポーツ普及員会が実施する子どもから高齢者、障がい者、障がい児を対象としたさわやかスポーツ事業に協力し、区民の運動機会を増やします。



いきいきフェスタでのさわやかスポーツ体験会

ヨコハマさわやかスポーツ普及種目

ディスクゴルフ・グラウンドゴルフ・ペタンク・チュックボール・シャフルボード・ソフトバレーボール・インディアカ・バウンドテニス・ファジーテニス・輪投げ・ナインボール ほか

■ 金沢区保健活動推進員等との協力・連携

「金沢区保健活動推進員」「金沢区食生活等改善推進員会」など各団体とウォーキングなどの運動指導を通じて協働し、金沢区の健康づくりの促進、区民の自主的なスポーツ活動の推進を図ります。またウォーキングだけでなく、金沢スポーツセンターに隣接する長浜公園のように健康遊具が設置されている公園を活用し、ウォーキングと健康遊具を組み合わせた事業を実施し、健康への理解と地域コミュニティを深めます。



健康遊具の説明



■ その他団体等との協力・連携

金沢区内にある様々な団体や大学等の活動を支援し、相互連携・協力した事業を実施します。

● 認定 NPO 法人コロンブスアカデミーとの協力・運営

不登校、ひきこもり、家庭内暴力、ニートなど地域社会や学校生活になじみにくい青少年達の自立を支援する「NPO 法人コロンブスアカデミー」と連携し、コロンブスアカデミー利用者をイベントなどのボランティアとして受け入れるなど、様々な活動の場を提供していきます。



イベントでのボランティア

● (公財) 横浜市緑の協会との協力・連携

私たちは、金沢スポーツセンターに隣接している(公財)横浜市緑の協会と連携し、金沢区スポーツ協会の公益的事業(スポーツフェスティバル)の実施や、長浜公園感謝DAYへの金沢区さわやかスポーツ普及委員の派遣などを行っています。

第4期指定管理期間ではお互いの強みを活かした新たな事業を展開します。



金沢区スポーツ協会の公益的事業



長浜公園感謝DAYへの
さわやかスポーツ普及委員派遣

● スポーツ・文化による交流事業の実施

区民活動拠点「オフィスかなざわ」内のコミュニティカフェでスポーツ・文化の交流事業を行い、地域の方々の輪を広げていきます。私たちは、シーサイドカルチャー事務局を担い、「オフィスかなざわ」の事務局機能を担う団体「らしく並木」と事業連携し、区民の地域交流を深めます。

平成 30 年度開催事業及び実績

- ・歌声と喫茶の会(月 2 回開催、述べ参加者数 737 名)
- ・万華鏡を作ろう(26 名参加)※子ども対象
- ・いかだ体験運営支援
- ・門松づくり(19 名参加)



連携事業「万華鏡を作ろう」



いかだ体験運営支援



連携事業「本物の竹で門松を作ろう」

● 地区社会福祉協議会や地域団体との交流事業の実施

子どもから高齢者、障がい者がスポーツやレクリエーション、健康づくり事業へ身近に参加できるよう、各団体と協働し、自主的なスポーツ事業等の推進を図ります。

平成 30 年度開催連携事業

- ・金沢シーサイドタウン地区社会福祉協議会
「お父さんと遊ぼう」事業・体操指導の協力
- ・サニーアベニュー(地域住民交流活性化の会)事業運営協力
- ・金沢センターシーサイド名店会
地域交流事業「餅つきと正月遊び」への協力



地区社会福祉協議会
「お父さんと遊ぼう」事業

ウ 地域との連携による防災・防犯への取組

■ 金沢消防署と連携した防災訓練の実施

私たちは大規模災害において、人命を守るとともに被害を抑制し、円滑な救助・復旧活動に資する機能を維持するため、金沢区区政運営方針の施策である「安心して暮らせるまちづくり」の推進を基本とし、金沢警察署と連携した、初期消火、避難訓練などを行います。また、自助・共助の考えに基づき、救急法講座の開催など、お客様、教室講師、地域住民を含めた合同訓練を行い、防災意識の向上や日ごろからの備えを強化するため、減災行動を啓発していきます。



金沢消防署幸浦出張所との
防災訓練(起震車体験)



金沢消防署幸浦出張所との
防災訓練(初期消火訓練)

■ 金沢警察署と連携した啓発事業の実施

金沢スポーツセンターの周辺には小中学校が多く、「子ども 110 番の家」等の緊急拠点として活用されています。

● 地区社会福祉協議会や地域団体との交流事業の実施

私たちは、第 3 期指定管理期間において、金沢警察署の協力のもと「特殊詐欺防止講座」を開催しました。引き続き、反社会団体の活動撲滅に向けて取り組んでいきます。



金沢警察署員による特殊詐欺防止講座

エ 横浜市及び金沢区と連携・協力した事業

当団体は、金沢スポーツセンター開館当初から運営に携わっています。金沢区や横浜市の行政施策を十分に理解し、金沢区が推進するスポーツ・健康づくり、地域協働施策に関する具体的かつ効果的な策を講じています。



金沢区福祉保健センター保健師による「健康ミニ講座」

■ 所管部署との円滑な連携体制の構築

私たちは、スポーツセンターを所管していただく金沢区役所地域振興課と、四半期ごとにヒアリングを行い、スポーツセンターの管理運営に関する進捗状況を共有します。

円滑な運営をするとともに、地域振興課が携わる区民対象事業について、調整する機会として活用させていただきます。

● 金沢まつり「いきいきフェスタ」への参加によるスポーツ振興

私たちは、金沢区で開催される金沢まつり「いきいきフェスタ」において、さわやかスポーツなどの事業を実施し、スポーツや健康づくりの場を提供しています。

● 健康ウォーキングでの準備体操等の実施

金沢区役所が主催の「健康ウォーキング」では、スタート時の準備体操と、ゴール時のテニスボールマッサージの指導を行い、安全な事業運営に協力しました。

● ロードレース及び小学生駅伝大会での準備体操等の実施

金沢区ロードレース及び小学生駅伝大会実行委員会、金沢区役所、横浜マラソン組織委員会が主催の「ロードレース大会・小学生駅伝大会」でも準備体操の指導や、簡易体力測定を実施しました。安全な事業運営に協力するとともに、体力や筋力の変化に気付くことで、運動を始めるための動機付けを行ったり、運動機会の創出に取り組んでいます。



ロードレース及び小学生駅伝大会の準備体操



ロードレース及び小学生駅伝大会の簡易体力測定(結果説明)

オ お客様・近隣住民・事業所との意見交換

■ オープンミーティング（利用者会議）の開催

金沢スポーツセンターでは、団体利用・個人利用・教室に参加しているお客様、近隣自治会や町内会などの地域の方々、区スポーツ協会・スポーツ推進委員、青少年指導員など、スポーツに関わる団体の方々にお集まりいただき、オープンミーティングを開催しています。当館の運営に関して様々なご意見・ご要望を伺うことで、指定管理者としてお客様の立場に立ち、地域の根差した管理運営に努めます。

■ 「金沢区新年賀詞交歓会」での情報交換

毎年1月に、自治会町内会や区内の主だった地域団体の方々の交流を目的として、「金沢区新年賀詞交歓会」や近隣地区の「金沢シーサイドタウン連合自治会新年賀詞交歓会」が実施されています。所長が賀詞交歓会に出席し、自治会町内会や地域団体の方々と積極的に交流を図っています。



金沢シーサイドタウン連合自治会新年賀詞交歓会

カ 地域住民の方や地元企業のご協力

私たちは、金沢スポーツセンターの管理運営において、これまで地域の方や商店、団体から人的支援、物的支援をいただく場面がありました。

第4期指定管理においても、金沢スポーツセンターが地域の方に親しまれ、ボランティアや各種ご支援をいただけるように、地域の方との信頼関係を築いていきます。

(3) 地域貢献に対する取組

「横浜市地域の絆をはぐくみ、地域で支え合う社会の構築を促進する条例」に則り、私たちは、地域活動に参加するとともに、区が実施する地域活動を促進するための施策に協力をします。また、地域の活性化・発展のための社会的活動や地元雇用など、地域の公共益に資する活動に取り組みます。

ア 収益を金沢区のスポーツ振興に充当します！

金沢スポーツセンターの管理運営を通して、予算を超える収益が得られた場合は、その一部を区民向け無料還元イベント、区スポーツ協会への協賛など、金沢区のスポーツ振興をはじめ、子育て・高齢者・障がい者支援事業などの財源に充当します。

■ スポーツ・レクリエーションフェスティバルの実施

子どもから高齢者、障がい児・者を対象とした体験教室等、区民向けの還元イベントを開催します。実施にあたっては、地域の方々、区スポーツ協会、さわやかスポーツ普及委員会、総合型地域スポーツクラブ、区内関連団体と協働して行います。

■ 開館 40 周年記念事業の実施

金沢スポーツセンターは、2020 年に開館 35 周年を迎え、スポーツ・レクリエーションフェスティバルとして、オリンピックの米田功さんを講師とした体操教室や、パラリンピックの正式種目であるゴールボールの体験会を開催しました。コロナ禍での開催のため規模を縮小し、検温や消毒、マスクの着用など、安全対策を徹底しました。

2025 年には開館 40 周年を迎えます。日ごろからご利用いただいているお客様をはじめ、地元自治会、町内会、地域で共に活動する団体の皆様など、支えていただいた多くの方々への感謝の気持ちを込めた「開館 40 周年記念事業」を実施します。



2004 年 アテネオリンピック男子体操団体金メダリスト！米田功さんによる体操教室



入館時の消毒と検温
体調の聞き取り



パラリンピック正式種目ゴールボール体験

イ 地域の事業者としての取組

■ 地元住民の方の雇用

私たちは、清掃、受付、事務補助を行うコンシェルジュスタッフを、金沢区の住民から採用します。また、区スポーツ協会に加盟する種目団体の方々や、金沢区在住のインストラクターを積極的に教室講師として登用することで、地域に根ざした親しみのある施設づくりを行います。



金沢区在住のスタッフ

■ 地域活動への参加

金沢スポーツセンターでは、職員が地域での清掃活動や福祉活動に協力する等、積極的に地域活動に参画しています。また、地域でのボランティア活動に積極的に参加します。

地域学校協働本部役員、小学校 P T A 本部役員、小学校 P T A 役員、中学校 P T A 役員、子ども会役員、舟だまり清掃ボランティア、バドミントン指導 等

■ 地域と共に持続可能な社会の実現

地元の事業者として、持続可能な社会の実現を目指し、地域のための募金などのチャリティ活動に積極的に取り組みます。

過去3年間の実績としては、金沢まつり、金沢区ロードレース大会及び小学生駅伝大会に協賛を行いました。平成29年度には、金沢区制70周年記念事業として公会堂にグランドピアノを寄贈する取組にも協賛を行いました。

● 赤い羽根共同募金への協力

受付に共同募金箱を設置し、お客様にも募金にご協力いただきます。収集した募金は、「金沢区社会福祉協議会」に寄付します。金沢スポーツセンターは、今後とも地域福祉活動に積極的に協力します。(過去3年間の累計募金額：7,743円)

● 視覚障がい者と盲導犬を応援

金沢スポーツセンター内にラブラドル募金箱を設置することで、視覚障がい者の支援活動や盲導犬の啓発活動を推進します。また、当館のホームページに財団法人日本盲導犬協会へのリンクを設定することで、併せて啓発活動に貢献します。(過去3年間の累計募金額：17,435円)



ラブラドル募金箱

● ベルマーク運動の推進

小中学校などの教育施設、福祉施設の設備の助成を目的としたベルマーク運動を推進するため、施設における購入物品のベルマークを収集します。また、お客様にも周知・PRして収集にご協力いただき、集まったベルマークは区内の小中学校に寄付します。

(過去3年間の寄付実績：並木第一小学校・並木中央小学校・並木第四小学校)



ベルマーク

● 使用済み切手収集で国際貢献

教室申込時に使用された使用済みの切手を集めて、アジア・アフリカの医療援助団体である公益社団法人日本キリスト教海外医療協力会へ送付することで、ワクチンの提供など、現地での医療活動に貢献します。

また、使用済み切手の収集については、お客様や区民の方々にも周知・PRし、ご協力をいただきます。

(過去3年間の実績：コロナで使用済み切手等受付中止になるまで、回収ボックスがいっぱいになる度に郵送しています。)



使用済み切手

● インクカートリッジ里帰りプロジェクトへの協力

使用済インクカートリッジを再資源化し、環境貢献に加え、環境保全活動に取り組む機関への寄付を行う里帰りプロジェクトに協力します。金沢スポーツセンター内に使用済のインクカートリッジの回収箱を設置し、お客様にもご協力いただきます。

(過去3年間の実績：回収箱がいっぱいになる度に郵送しています。)



里帰りプロジェクト回収箱

● ペットボトルキャップ回収によるワクチン募金

ペットボトルのキャップを回収し、再資源化事業者に売却した収益でワクチンを寄付します。キャップ 430 個で 3,150g の CO2 が発生するため、環境貢献にもつながります。金沢スポーツセンター内に回収箱を設置し、お客様にも協力いただきます。

(過去3年間の実績：回収箱がいっぱいになる度に金沢区内にあるNPO法人 Re ライフスタイルに届けています。)



エコキャップ回収箱

ウ 地元教育機関やプロスポーツ・商工団体等との連携

■ 職業体験・インターンシップの受け入れ協力

金沢区全中学校の職業体験を受け入れます。また、インターンシップ、小学生の社会科見学、大学や体育専門学校等からの教育実習生の受け入れにも協力します。

受け入れ実績(平成 28 年度～令和元年度)

小学校: 並木中央、並木第四

中学校: 釜利谷、小田、富岡、大道、金沢、並木、六浦、西柴、富岡東
金沢養護、浜

高校生:(インターンシップ): 金沢総合、横浜立野

専門学校(インターンシップ): 横浜リポート&スポーツ専門学校
日本ウェルネス専門学校

その他: 市立小中学校教職員(リーダーシップ研修)



インターンシップ

■ 関東学院大学との事業協定の締結

金沢スポーツセンターでは、関東学院大学と連携し、関東学院大学が主催している「創造祭スポーツフェスティバル」に簡易体力測定、さわやかスポーツ体験を実施しています。

第4期指定管理期間においても、更なる協力関係を築いていきます。



関東学院大学「創造祭スポーツフェスティバル」に出展(簡易体力測定)

■ 日本体育大学との事業協定の締結

当団体は、日本体育大学と社会貢献推進事業に関する協定を結んでおり、互いの資源を有効に活用することで、地域住民の健康の維持増進、活力ある地域社会の実現を目指しています。

金沢区内で開催する市民対象講座や実技指導の講師、体力測定の実施、スポーツイベントの運営補助など、各種事業を通じて連携し、金沢区内におけるスポーツの普及・振興を推進します。

■ 地元商店街等との連携

金沢スポーツセンターは、「横浜市商店街活性化に関する条例」に基づき、市が定めた商店街の活性化に関する施策に協力します。

商店街が地域のにぎわいと交流の場となるよう、区役所、商店街連合会、商工会議所、他の指定管理者、その他地域経済の振興に関する活動を行う団体と連携した、ウォーキングマップの作成やポイント制度の導入、販売協力など、共同利用促進策の取組を行い、商店街の活性化に貢献します。



金沢センターシーサイド名店会
主催の餅つきと正月遊び(R2.1)

エ 障がい児・者等の社会活動の促進

■ 障がい児・者が作成した作品等の販売協力・事業所からの優先的調達

区内の障がい児・者地域作業所や中途障害者地域活動センターなどと連携して、金沢スポーツセンター内での作品展示や販売協力を行います。

「障害者優先調達推進法」や「横浜市における障害者就労施設からの物品等の調達方針」に則り、金沢スポーツセンターでは、障がい者の経済面の自立を進めるため、福祉団体や就労施設から優先的・積極的に物品等を購入します。



「ライブアップ金沢」の作品販売

オ 環境保全活動への取組

当団体は、持続可能な社会の実現に向け、金沢区の施策に貢献し、区民、団体、他の事業者と連携して、環境保全活動に積極的に取り組みます。

■ 低炭素社会の実現に向けた取組 新規

環境省では、地球温暖化対策のため、豊かな低炭素社会づくりに向けた知恵や技術を共有し発信する気候変動キャンペーン「Fun to Share」を実施しています。

私たちはこの取組に賛同し、「COOL BIZ」や「LED 照明の導入」などの低炭素アクションに取り組みます。

■ **カーボンオフセットの推進** 拡充

金沢スポーツセンターの運営によって排出される、温室効果ガスの排出量に見合った削減活動を行うとともに、風力、太陽光、バイオマス、マイクロ水力、地熱など、自然エネルギーから生まれたグリーン電力を購入するなど、カーボンオフセットの取組を推進します。

令和2年10月25日(日)に開催した「横浜元気!!スポーツ・レクリエーションフェスティバル2020」で実施しました「InBody測定」が、市内スポーツセンター初の『横浜ブルーカーボン・オフセット認証』をいただきました。本イベントの参加料が、横浜ブルーカーボン・オフセット制度を通じて、金沢の海のCO2削減に充てられるというものでした。今後も金沢区の健康増進、自然環境保護の両面から地域貢献に取り組みます。



InBody 測定



カーボンオフセット認証通知書

■ **緑を増やす「緑化事業」の推進**

金沢スポーツセンターでは、事務室前の窓に面して緑のカーテンを作ることで、夏の陽射しが強い時期の室温上昇を防ぎます。また、中庭に花を植えるなど、お客様に楽しんでいただくよう敷地内の緑を充実していきます。



グリーンカーテン

■ **「はまっ子どうし TheWater」で環境保全と国際貢献**

横浜市水道局では、横浜市の水源林である山梨県道志村の清流水をつめた「はまっ子どうし The Water」の売上の一部を「道志水源林ボランティア事業」や JICA（独立行政法人国際協力機構）に寄付しています。

私たちはこの活動に賛同し、自動販売機にて「はまっ子どうし The Water」を販売します。



はまっ子どうし The Water
自販機販売

モニタリングについて

(1) 目標達成及び業務水準向上のための仕組み

横浜市の指定管理者制度におけるモニタリング業務は、「横浜市指定管理者制度運用ガイドライン【第14版】」にて、「施設の管理運営の水準等について、日常的・継続的に確認を実施すること」と明示されています。

私たちは、金沢スポーツセンターの設置目的や協定書・仕様書（業務の基準）を踏まえ、指定管理者として提案内容達成及び業務水準を向上させるためのモニタリング体制を実行していきます。

ア 組織的に行うPDCAマネジメント

私たちは、提案内容の達成及び業務水準を継続的に改善するために、PDCA サイクルを実行するマネジメントシステムを構築しており、各年度の事業計画書に基づいた計画的な業務履行と定期的な評価を徹底します。

特に、評価（Check）と改善（Action）に必要なモニタリングを強化し、多様な評価を受けることで、効果的な改善活動を行います。



■ 提案内容を確実に履行できる組織的な業務管理

指定管理者は、指定管理期間中に提案内容を確実に履行し、お客様・金沢区からのご要望に的確に応じていくことが最大の使命であると認識しています。

金沢スポーツセンターの管理運営にあたっては、所長が統括責任者として施設の運営状況を把握し、事業評価（月1回）や職場における実務研修（OJT）などを通じて、業務水準の向上を図ります。

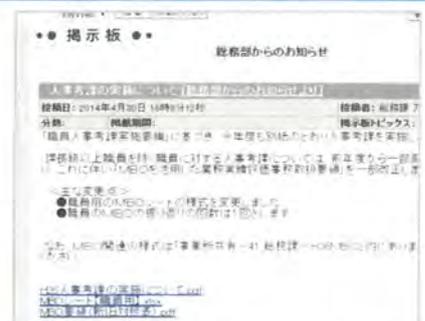
金沢スポーツセンター年次計画や提案事項は、月次会議や当団体管理のスポーツセンター所長会議にて、管理職がその進捗を管理します。



オンラインでのスポーツセンター所長会議

■ 提案達成のために職員の目標管理に落とし込みます！

事業改善や目標達成には、業務の適切な管理が何よりも大切です。私たちは、職員対象のMBO（目標管理:Management by Object）制度を整えています。MBOは、定期的に目標到達度とその振り返りを行い、上席による評価を受けることで、組織全体の業務水準の向上を図るとともに、指定管理者提案内容を確実に履行させます。



職員グループウェアでのMBO実施通知

■ 透明性の高い会計管理体制

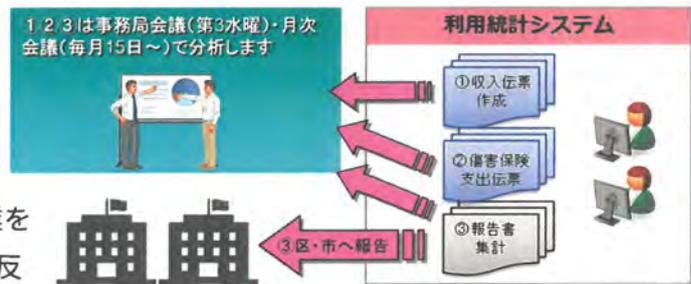
当団体では、施設毎の財務状況を本部経理部門がオンタイムで確認できる公益法人会計システムを導入しています。本システムにより、経理業務の効率化と正確性を両立しつつ、**公共施設に求められる透明性において、いつでも金沢スポーツセンターの財務状況を報告することができます。**本システムを用いて、毎月定例の管理職会議で経営状況を報告し、改善活動につなげています。



私たち経理部門がバックアップします!

■ 利用統計システムによる利用状況の把握と分析

私たちが独自に開発した利用統計システムは、利用状況（人数、稼働率、収納額）を正確に把握でき、利用の調整や収入の状況確認に役立てています。これにより、団体の利用率が高い時間帯には、教室事業を設定しないなど、バランスのとれた利用に反映させるほか、金沢区への正確な報告にも繋がります。



イ 金沢区への確実な報告

お客様の満足度評価などのモニタリング結果は、ホームページや館内にて公開します。また、お客様からのご意見と、その対応状況は、月次・四半期・年間の各事業報告で金沢区に報告します。

ただし、緊急性や特別に必要と判断したものは、速やかに報告します。



館内閲覧用の事業計画・報告

■ 金沢区への報告事項

報告書類	内容	報告期限
月次事業報告書	利用実績(利用人数、団体利用数、稼働率、利用料金収入)、要望処理報告書等	翌月末
四半期事業報告書	利用実績、管理業務の実施状況、利用状況分析報告、収支報告書、満足度評価	各四半期の翌月末
年間事業報告書	利用実績、管理業務の実施状況、利用状況分析報告等、収支決算書、満足度評価等	翌年度5月末
事故・災害発生報告	事故・災害等発生報告	点検後、直ちに

(2) 自己評価（セルフモニタリング）

ア 業務文書の適切な保管

指定管理業務に関する文書・記録（文書、図画、写真、フィルム及び電磁的記録）は、文書管理に関する規定を定め、適正に作成し保管します。

文書の種別・保存年数は、文書分類表で定め、指定管理関係書類についても規定しています。

■指定管理関係文書の保存年数

指定管理関係書類	5年 1年
年間事業報告書	10年
月次・四半期事業報告書	3年
第三者評価関係書類	5年

イ 指定管理者としての自己評価

■施設ミーティングと連絡ノートによる確実な情報伝達

モニタリングにより明らかになった改善点は、金沢スポーツセンター職員ミーティングで、情報共有を図っています。非常勤職員である専門スタッフには、スタッフミーティングの随時開催や連絡ノートを用いて確実に情報を伝達します。

また、外部講師や委託先従業員にも共有し、当館全体で業務改善が図られる体制を構築します。



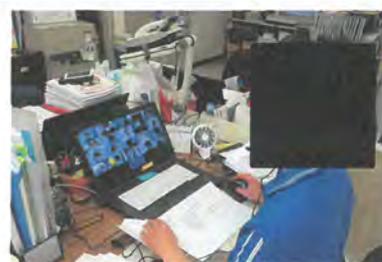
施設ミーティング

■月次執行会議による状況・課題の共有

金沢スポーツセンター所長と本部職員で、事業評価を兼ねた月次執行会議を実施しています。この会議は、利用者数や収入実績の目標達成状況の確認や、お客様からのご意見内容等を踏まえた業務評価を行い、課題を共有し、改善に繋げる仕組みとします。

■月次執行会議での確認事項

- (1) 年度目標数値の達成状況(提案事項含む)
- (2) 収支計画の執行状況
- (3) 修繕計画の履行状況
- (4) 職員のお客様対応や施設の美観
- (5) 苦情・要望・事件・事故対応報告
- (6) お客様満足度の調査結果



オンライン会議を採用しています

■内部監査の実施

私たちは、当団体内部監査要綱に基づく**内部監査を毎年実施**しています。この内部監査は、文書管理、労務管理、経理処理、情報ネットワーク等に関する事務の執行状況や、現金出納が規定に沿って適正かつ効率的に行われているか監査するものです。金沢スポーツセンターにおいても、監査受審による業務点検及び改善への提言を受け、業務の適正化・効率化を図ります。

ウ お客様の声と満足度の収集

私たちは様々な手法を活用し、お客様からの大切なご意見やご要望を積極的に収集します。また、いただいたご意見やご要望には、お客様の視点にたって丁寧に対応します。ご意見箱に寄せられたご要望・ご意見には、総括責任者である所長自ら回答し、その内容をご意見箱の近くに掲示します。

■ 利用方法に沿ったご意見の収集方法

金沢スポーツセンターでは、団体・個人のお客様、教室参加者に対して、利用方法に応じたアンケートを実施し、広くご意見を収集します。また、ご意見箱を設置することで、お客様がいつでも気軽にご意見を届けられるように配慮します。

これらの様々な手法で収集したご意見は、業務や事業の改善活動のデータとして活用します。



館内に設置しているご意見箱

■ 利用者モニタリングの種類

お客様アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ○ 団体代表者・個人利用のお客様・教室参加者を対象に四半期ごとに実施 ○ 施設サービスや管理状況、教室プログラムや指導方法などの満足度を調査 ○ モニタリング結果を施設内に掲示
ご意見箱	<ul style="list-style-type: none"> ○ 気兼ねなく記載できるようにフロントから離れた場所にご意見箱を設置 ○ 総括責任者の所長が回答し、10日以内に施設内に掲示
横浜市コールセンター	<ul style="list-style-type: none"> ○ 横浜市コールセンターに設置されているご意見ダイヤルを積極的にPR ○ 施設内だけでなく、ご意見を自由に寄せることが可能
ホームページ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 電話やファックスだけでなく、問合せ受付メールを整備 ○ 施設内のみならず、当団体全体でご意見を収集する環境を整備

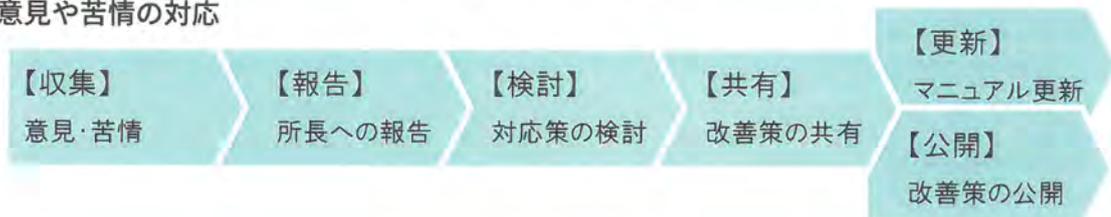
■ 接遇に関するモニタリング

私たちは、お客様の声を傾聴するための心構えや姿勢、「おもてなしの心」あふれるサービスの実践方法を学ぶために全スタッフが接遇研修を受講しています。法人本部による覆面調査を行い、研修（Plan）内容が実施されているか（Do）を品質チェック（Check）します。

■ お客様の声を反映する体制

お客様のご意見は、小さな苦情であっても、対応した者が所長に必ず報告します。報告された情報は、職員はもとより講師・委託先も含め金沢スポーツセンター運営に係る全スタッフで共有します。総括責任者である所長はご要望や苦情とその対応を10日以内に回答し、お客様に公開します。

■ ご意見や苦情の対応

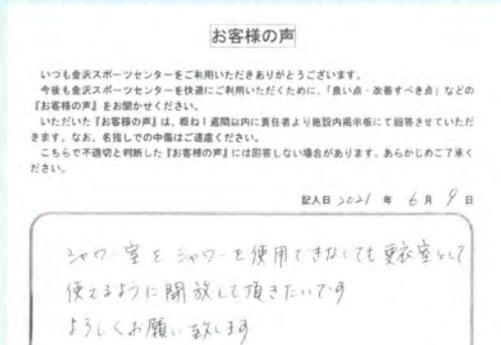


■対応後

- 対応事例を施設内のみならず、職員が毎日利用するグループウェアで社内全体に瞬時に知らせ、同類施設での再発防止に努めます。
- 新たな事例には対応ルールを見直すとともに、管理運営にかかるマニュアルを更新し、当団体管理の全施設の運営に反映させます。

● お客様の声を反映しました！

コロナ禍ではシャワー利用をご遠慮いただき、シャワーブースを閉めていましたが、お客様のご要望に応じ、水栓を閉め更衣室として開放しました。



上記以外にも、換気のためにロビーの窓を開けたままご利用いただいておりますが、金沢スポーツセンターの窓には網戸がないため、お客様から「虫が入ってくる」というご意見をいただきました。

網戸を新設するにはコストもかかるため、職員が製作した網戸の代用品を設置し、コロナ対策と快適な利用の両立に取り組んでいます。



■ お客様への報告・公開

ご要望や苦情とその対策結果を、総括責任者である所長から 10 日以内に回答し、その内容を施設内に掲示します。ホームページに寄せられたご意見についても、10 日以内に回答を返信します。また、モニタリング結果は、分析結果を館内に掲示するとともに、ホームページにも公表します。



ご意見とお褒めの言葉を掲示

工 横浜市民スポーツ意識調査

金沢スポーツセンターには、市内全域から多くのお客様が来られることから、市民のニーズをいかに把握し、管理運営に反映していくかが求められます。そこで「横浜市民スポーツ意識調査」の最新データを活用して市民ニーズを把握し、金沢スポーツセンターの管理運営に活かしていきます。

(3) 第三者評価への取組

ア 金沢スポーツセンター 地域懇話会

私たちは、金沢スポーツセンターが区のスポーツ振興と健康づくり推進に有効に機能するよう、地域住民（自治会・町内会・スポーツ推進委員・区体協）やお客様など、様々な立場の方からご意見をいただく「地域懇話会」を開催しています。今期開催した地域懇話会では、サービス向上や運営改善へのご意見をいただき、さらには金沢区のスポーツ振興に関する意見交換を行うことができました。



オープンミーティングでの意見交換



いただいたご意見や改善策を館内・ホームページなどで公開し、金沢スポーツセンターの改善活動をお示します！

イ 横浜市第三者評価を改善活動に活かします！

当団体は、平成 29 年 12 月に金沢スポーツセンターの横浜市第三者評価を受審しました。評価機関から、他団体と協働・連携した「市・区施設としての事業協力」や「健康づくり施策への実績」、また営業日の拡大など、お客様サービスの向上に評価をいただきました。また、ヒヤリハット事例の徹底的な職員共有や緊急時対応などの安全・危機管理対策についても評価していただきました。

第 4 期の指定管理期間も、公正で客観的な第三者による点検評価を活かして、お客様サービスの向上や業務改善を行っていきます。

ウ 外部機関による評価の実施

横浜市が実施する指定管理者評価とは別に、私たちの独自の取組による第三者機関による評価を実施します。

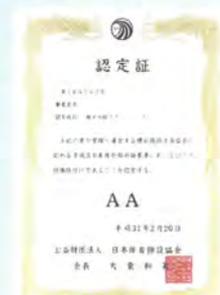
実施にあたっては、公共スポーツ施設の運営知識を有し、お客様からのご意見聴取やその分析、ヒアリング等を通じて、専門的な面での的確なアドバイスできる機関を厳選して行います。



外部評価の様子

格付け AA 評価をいただきました！（横浜市緑スポーツセンター）

日本スポーツ施設協会が実施する「指定管理者外部評価」（平成 30 年 12 月実施）で、当団体運営の横浜市緑スポーツセンターが「A A 評価：経営体制及び管理運営体制が安定的かつ良好な状態」と評価格付・認定されました。



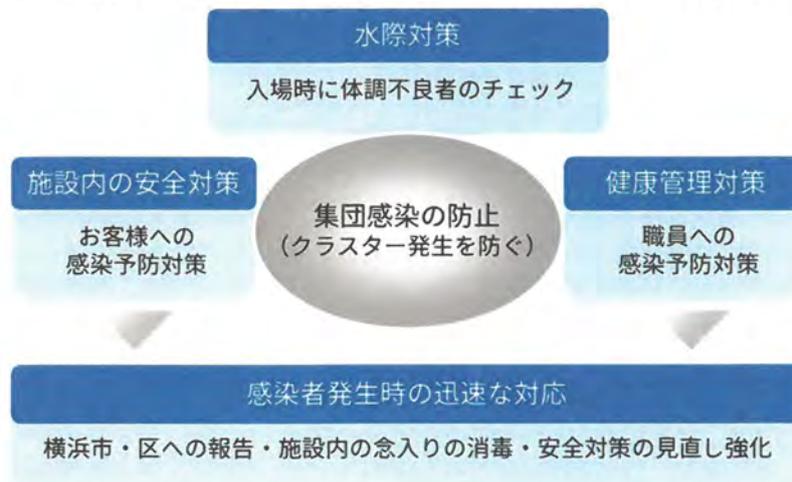
新型コロナウイルスの感染症等への対応

(1) 新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る対策

ア 感染症拡大防止の考え方

令和3年5月現在で日本国内にまん延している新型コロナウイルスの感染症拡大防止に向けて、当団体が運営するスポーツ施設では、横浜市「スポーツ施設再開ガイドライン」をはじめ、スポーツ庁、文化庁、日本フィットネス産業協会、各種スポーツ団体等のガイドラインに基づき、感染防止を徹底し運営しております。

■ 当団体の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の考え方

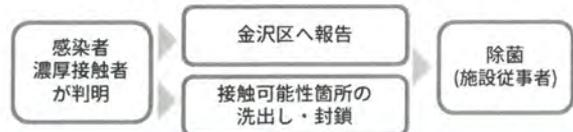


■ 施設内での感染者発生時の対応

● 早期の消毒と二次感染の防止

利用者の感染者が発生した場合、また濃厚接触者であることが判明した場合は、迅速に金沢区役所の地域振興課に報告し、右図の流れで対応いたします。当該利用者が利用した可能性がある室場・空間・備品類を迅速に洗い出し、除菌を行うことで、感染拡大を防止します。

■ 感染者・濃厚接触者が判明した場合のフロー



※当該利用者の特定や詮索がなされることが無いよう、プライバシーの保護を重要視します

イ 新型コロナウイルスへの具体的な感染対策

● 体調チェックの徹底

入館時（ご利用前）の検温、手洗い、除菌ポンプでの手指消毒・発熱・息苦しさなど体調不良の方には、入館をご遠慮いただきます。また、新たに入口にサーマルカメラを設置することにより、利用の有無に限らず、非接触での検温、マスク着用チェックを実施します。



非接触型体温計

【お客様への対応】

- | | |
|---------|---|
| 受付時 | <ul style="list-style-type: none"> ・アクリル板や透明のビニールカーテン等を設置 ・お客様が並ぶ場合は、距離を保てるように床にしるしをつけます ・マスク着用・三密回避などのお願いを口頭や掲示、チラシ配布で呼びかけ |
| 更衣室 | <ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルディスタンスを保てるようにロッカーの間引きを行います ・人数制限を行い、出入口に人数がわかるように札をおきます ・シャワーの利用制限(横浜市のガイドラインにより規制)をします |
| トレーニング室 | <ul style="list-style-type: none"> ・トレーニング室の混雑状況は、ホームページでお知らせ ・原則トレーニング中のマスク着用のお願い ・除菌ポンプと雑巾セットを渡し、マシン使用後の除菌をお願いします ・マシンの間隔をあけてパーテーション等を設置 |
| 各室への利用 | <ul style="list-style-type: none"> ・入口に除菌ポンプを設置 ・入口にマスク着用・三密回避などのお願いを掲示 ・職員による注意喚起の放送し、協力を呼びかけます ・できる限りの換気をします。(窓開け・空調設備) ・2時間ごとに使用後は、職員がドアノブ等の消毒清掃を実施 |

【職員の対応】

- | | |
|-----|--|
| 出勤前 | <p>(体調チェックの徹底)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検温及び体調確認を行い、体調不良がある場合は自宅待機とする |
| 勤務中 | <ul style="list-style-type: none"> ・こまめなうがい、手洗い、手指消毒を徹底し、チェックシートを記入 ・清掃時などの作業時は、ゴム手袋を着用し、お客様と接する場合は、マスクのほか、必要に応じてフェイスシールドを着用 ・勤務中に体調不良を感じた場合は、直ちに帰宅させます |



窓口受付飛沫防止



入館時の検温、アルコール消毒



感染対策取組書の掲示



ソーシャルディスタンス
マークの設置



トレーニング室飛沫防止



更衣室・シャワー室の使用制限



チェックシート記入の徹底

■ 感染予防に対する取組

● 強アルカリイオン電解水による除菌

水道水を電気分解し生成する洗浄水である強アルカリイオン電解水を日常清掃に用いることで、施設内各所の除菌効果を高めます。強アルカリ性(pH13.1)の特性により、細菌やウイルスを30秒～1分間で除去されることが実証させているとともに、合成洗剤とは異なり界面活性剤や有害な化学物質を含まないことから、人体や自然環境への影響も緩和します。



ワクチン集団接種会場としての対応経験を活かします！

当団体が運営するスポーツセンターは、新型コロナウイルスのワクチン集団接種会場となりました。「予約方法を教えてほしい」「会場までのアクセスが知りたい」等、予約開始前から、区内外の皆さまから、毎日お問い合わせがきています。

私たちは、横浜市のワクチン担当者と連携し、混乱をきたさないよう、誠実に対応させていただきました。今後も、ワクチンの接種がスムーズに進行するよう、横浜市に協力してまいります。

■ ワクチン集団接種会場の様子



ウ 教室事業等実施時の工夫

● 参加者定員の柔軟な設定

参加者であるお客様の安全を最優先にして、原則として、ソーシャルディスタンスを保てるように、第1体育室及び第2体育室は、6㎡に1人、研修室は、4㎡に1人を定員の原則とします。

■ スポーツセンターの教室実施例

室場	種目	制限人数
第1体育室	バドミントン	66名
	卓球	84名
第2体育室	ヨガ	80名
	体操	80名
研修室	ヨガ	15名
	体操	15名

※本館におけるダブルス利用について「スポーツセンター公告より」
 投稿日：2021年4月9日 16時46分29秒 投稿者：定規スポーツ
 分類： スポーツセンター職員各位 宛先： 宛先者トピックス： 転載する

卓球については、日本卓球協会ガイドライン/日本卓球協会における新型コロナウイルス感染症対策に、
 『当面の間、ダブルスの練習を避けることを推奨する(ITTFガイドラインに準拠)』

とあったことから、スポーツセンターにおける卓球利用(個人利用・教室等)においても
 シングルス利用を推奨していましたが、3月15日に改訂された上記ガイドラインにおいて、

『ダブルスの練習を再開する場合は、地域の感染状況を鑑みながら検討する。
 なお、以下の事項を基本とする。』

- 1 地域に緊急事態宣言が発令されていないこと。
- 2 練習場関係者に感染者、濃厚接触者がいないこと。
- 3 練習場関係者の2週間以内の体調管理を徹底していること。』

と、変わったことから、スポーツセンターにおける卓球利用についても、この取組に準ずるとします。
 なお、上記の条件項目に当てはまる(緊急事態宣言が発令された)場合は、現状どおり、シングルス
 を推奨するものとします。

● 参加者受付・支払いの簡素化

日本卓球協会ガイドラインに基づくダブルス緩和をいち早く通知

事前受付教室の申込みを、スマートフォンやパソコン、往復はがきでできるようにしています。これまで、参加料の払い込み期間を指定していましたが、来館する機会を最小にするため、クレジットカード決済や、教室初回来場時の支払いができるよう、柔軟に対応してまいります。

■ 教室当日の具体的な感染防止策

【講師への対応】

出勤前	<ul style="list-style-type: none"> ・検温及び体調確認 →体調不良がある場合は自宅待機とし、教室を中止または延期します。
レッスン前	<ul style="list-style-type: none"> ・手指消毒を行い、マスク及び必要に応じてフェイスシールドを着用します。
レッスン中	<ul style="list-style-type: none"> ・空調及び窓を開けて換気を行います。 ・ソーシャルディスタンスを保てるよう、指導を行います。
レッスン後	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者の体調チェックを行います。 ・使用した備品や器具の消毒を行います。

【参加者への対応】

レッスン前	<ul style="list-style-type: none"> ・教室中止が決定した際は速やかにホームページや館内で告知をします。 ・体調チェック表に記入してもらい、体調不良がないかを確認します。 ・体調不良が確認された場合は、参加をご遠慮いただきます。 ・手指消毒を行い、マスクや必要に応じてフェイスシールド着用をお願いします。
レッスン中	<ul style="list-style-type: none"> ・他の参加者とソーシャルディスタンスを保てるようお願いをします。
レッスン後	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗いや手指消毒の実施をお願いします。

エ 料金収入減に対する対応策

ヨガやピラティスの教室は、中高年だけではなく、働き世代や子育て世代にも人気の高い教室です。私たちは、これらの教室にオンラインレッスンを導入し、教室数を増やして収入増を図ります。また、企業への健康経営の推進のアドバイザー費用、地元企業のホームページや体育室への広告収入増など、新たな収入の方策を実施します。

オンライン
おうちで簡単！骨盤調整ストレッチタイム
～柔軟力UP! 目指せ開脚マスター～
6月8日、15日、22日、29日
火曜日 10:30-11:20

オンライン事業はすでに 20 本以上実施しています！

■ 指定4期の収入増加策

- オンラインレッスンの導入
- 教室開催時間を短縮し教室数増加による教室事業収入の増収
- ヘルスプロモーション事業の拡大
- 自動販売機の多角化
- レンタル物品の多角化
- 物販の多角化(オリンピック公式グッズ、スポーツ用品・スポーツウエア等)
- ウォーキング、ランニング等、屋外スポーツイベントでの増収
- 広告収入(ホームページへの広告掲載・体育室内看板)

(2) with/after コロナを見据えた施設運営・事業展開

ア with/after コロナを見据えた施設運営

本施設の施設運営では、新型コロナウイルス拡大防止対策を講じることに加え、お客様が当施設を利用する上で、「不安」を感じさせないことが大切です。

私たちは、館内やホームページにて、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の情報を公開し、安心・納得して施設を利用していただきます。



出入口のマット消毒

また、施設では、常に衛生関係に気を配り、清掃や点検等を適切に行いながら、確実に感染防止対策を実施します。

● 安心と快適を両立させる取組

金沢スポーツセンターの窓にはもともと網戸がなく、コロナ対策で窓を開けて換気を行っているとき、虫や落ち葉などが館内に入ってきてしまいます。お客様の安心と快適を両立させるために、網戸の代用品を設置しました。

また、卓球やバドミントンなどの種目は、光が入るとプレーに影響するため、カーテンを閉めたまま換気ができるように工夫しました。



網戸の代用品



窓部分だけカーテンをめくり換気

イ with/after コロナを見据えた事業展開の方針

私たちは、横浜市や金沢区の指示を受けて、新型コロナウイルスの感染防止に伴う休館や、開館時間の短縮に柔軟に応じながらも、区民が楽しい事業をします。教室事業は、「新しい生活様式」の条件の中で、安全対策を徹底して実施します。

また、after コロナでは、スポーツ庁『スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン』等に則り、対策を行います。手指消毒、距離を十分とる、入退場の際に密集にならないように導線やスタッフの配置を行う、などを徹底します。



入場前の検温

● イベント時の対応

昨年度、私たちは、コロナ禍でも新型コロナウイルスの感染防止策を十分にとり、『インクルーシブスポーツフェスタ 2020』を開催しました。障害のある方・健常の方、老若男女など 202 名の方々に安全に楽しんでいただきました。今回の開催でのノウハウを生かし、コロナ禍でも安全で安心した環境でスポーツの楽しさを伝え続け、人々のふれあいや笑顔を取り戻します。



感染対策(マスク・グローブの着用)を実施した車イスレーサー体験

その他

(1) 重ねて記載する重要な事項

ア ロビーを活用した事業の実施

私たちは、ロビーを活用した各種事業を展開し、区民の皆様が気軽に金沢スポーツセンターに足を運んでいただける雰囲気づくりを行います。ご利用中のお客様だけでなく、近隣にお住いの方など、新たなお客様にお越しいただき、スポーツセンターの多彩な事業を知っていただきます。

これまでの他施設の実績では、ロビーコンサート、母の日・父の日の似顔絵掲示、文化系教室の作品展なども、区民の皆さまに親しまれる施設づくりに励んでいます。



金沢海岸の埋め立て前に撮影された航空写真を展示

イ インクルーシブスポーツの実現

インクルーシブスポーツとは、幼児、成年、高齢者といった年齢や障害の有無といった視点ではなく、一人ひとりに合ったスポーツ活動を進めていくものと定義できます。

すなわち、「すべての人々が分け隔てなくスポーツに親しむことで、誰もが互いに尊重し支え合う共生社会の実現を目指す」活動であると言えます。

障がい者スポーツの推進

当団体は、障がい者スポーツへの取組をきっかけに、インクルーシブスポーツを推進していきます。

● 全国障害者スポーツ大会のサポート

全国障害者スポーツ大会は、障がい者スポーツの国体と呼ばれ、毎年横浜市選手団が出演しています。私たちは、横浜ラポール（指定管理者：社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団）を中心とした市内障がい者スポーツ団体や競技団体の方々とともに、コーチとして強化練習から大会当日までサポートしています。



横浜市選手団をサポートしています

● 横浜 F・マリノス フトゥーロでの指導

横浜 F・マリノスは、2004年（平成14年）年に知的障害者サッカーチーム「フトゥーロ」を創設し、知的障がいのある方々が気軽にサッカーを楽しめる環境を目指し様々な活動を続けています。

当団体の職員が、設立当初からコーチとして定期練習会での指導や大会帯同等の協力をしています。



フトゥーロカップの開催

■ すべてのステージにあったスポーツ事業

インクルーシブスポーツは、スポーツ参加者それぞれに適した活動となるような工夫が必要になります。幼児から高齢者まで、健康志向から競技志向まで、健常者から障がい者まで各年代・ステージにあったスポーツ事業を展開しています。

● 年代別スポーツ事業

幼児・児童・社会人・高齢者等々年代のステージに適したスポーツ事業を開催しています。



幼児スポーツ教室



ボッチャ体験



シティウォーク



ビーチバレー

● 市民のスポーツ志向を網羅する事業展開

スポーツの目的は人さまざまであり、各々の求めるスポーツの志向（健康志向・競技志向など）に最適なものを選ぶよう、多くの種類の事業を企画し実施しています。



ハマトレ派遣指導



長浜公園感謝 DAY



市民スポーツ大会



ビーチフェスタ

■ 国際大会から地域のイベントまで支援しています

当団体は、横浜マラソン実行委員会やワールドトライアスロンチャンピオンシップシリーズ横浜組織委員会の事務局に職員を派遣し、これらの大規模イベント運営の中核を担い、全日本規模・世界規模の大会を支えています。

また、毎年秋に市内全域で開催している「横浜元気!!スポーツ・レクリエーションフェスティバル」の実行委員会事務局として、取りまとめを行うとともに、10,000人の参加者を見込んでいる中央イベントも企画運営しています。

その他、各区で行われる地域のイベントの開催に、時には共催者に連なり、時には開催にあたりアドバイスを送るなど、地域イベントの開催に協力しています。



ワールドトライアスロン
チャンピオンシップシリーズ横浜



横浜マラソン



いきいきフェスタ



シニアの祭典

(2) 豊富なスポーツ施設の管理運営

当団体は、様々なスポーツ事業を行っていますが、その活動場所であるスポーツ施設についても、多種多様な施設の管理運営を行っています。

これらの施設を安全・安心に管理運営を行うことはもちろん、これらの施設を活用して、効果的にスポーツ事業を展開しています。

■ 横浜武道館（新横浜文化体育館サブアリーナ）

当団体は、横浜文化体育館の再整備事業に「株式会社YOKOHAMA文体」のコンソーシアムの一員として参画しています。

サブアリーナとなる横浜武道館（2020年（令和2年）6月竣工）の管理運営を担い、武道の普及・振興に貢献していくとともに、3,000人の観客席を有するフロアを活用し、横浜のスポーツ活動を活性化させていきます。※メインアリーナは2024年（令和6年）竣工予定



横浜武道館

■ 横浜銀行アイスアリーナ（神奈川スケートリンク）

当団体の所有する横浜銀行アイスアリーナは、60m×30mの国際規格リンクを有し、1年中アイススケートができる神奈川県内有数の施設です。

一般滑走として自由に滑走できる時間が多く、技術レベルに応じたアイススケート教室も開催し、毎年約30万人の市民の皆様にご利用いただいています。



横浜銀行アイスアリーナ

■ 多岐にわたる施設の管理者としての実績

FIFAワールドカップTMやラグビーワールドカップ、今年開催の、オリンピックサッカー競技と3大ファイナルスタジアムとなる日産スタジアム、ニッパツ三ツ沢球技場、横浜国際プール、スポーツ医科学センターを管理運営し、国際級の大会開催を裏方からサポートしてきました。

また、青少年野外活動センター3施設、少年自然の家2施設、日産スタジアムのある新横浜公園、三ツ沢公園の市内2大スポーツ公園、鶴見川漕艇場、テニスガーデンなど多岐にわたる施設の管理者として35年の実績を誇ります。



日産スタジアム



横浜国際プール



くろがね青少年
野外活動センター



鶴見川漕艇場

(3) 多くのパートナーとの協働で横浜のスポーツを推進

ア スポーツ関連の各種団体

スポーツ事業の展開には、スポーツを専門にしている団体との連携は欠かせません。横浜市内はもとより、全国のスポーツ関連団体と協力し、より高品質なスポーツ事業を実施しています。

■ 当団体への加盟団体

当団体には、74 のスポーツ団体（52 競技団体、18 区スポーツ・体育協会、3 学校団体、レクリエーション連合）が加盟しています。アマチュアアスリートの活躍の場である市民大会の開催やジュニア選手の競技力向上、指導者の技術向上など、私たちの事業は、これらの団体の活動に支えられており、私たちは財政面での支援をしています。



全加盟団体の代表者が集まる「加盟団体代表者会議」

■ 中央競技団体との連携

大規模施設の施設管理者として、また、加盟団体を介して、全日本柔道連盟や日本サッカー協会、日本水泳連盟など中央競技団体との密な関係性も構築しています。全日本クラスの大会・競技会を開催し、横浜市民にトップアスリートによるパフォーマンスを間近に見る機会を創り出しています。

■ 障がい者スポーツ関係団体との密な協力体制

インクルーシブスポーツの推進において、特に障がい者スポーツの特性を熟知している障がい者スポーツ関係団体との協力が欠かせません。「障害者スポーツ文化センター ラポール」を筆頭とした多くの市内・市外の団体と協働で事業を進めています。

障がい者スポーツ団体

障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール	横浜市 障がい者スポーツ指導者協議会	かながわ障がい者 フライングディスク協会
一般社団法人 日本知的障がい者卓球連盟	神奈川県 知的障がい者サッカー連盟	一般社団法人 横浜水泳協会 障害者委員会
関東聾学校体育連盟	横浜市立中学校 特別支援教育研究会	

イ 産学官の連携と協業

大学や民間企業、行政各部署は、それぞれが持つ専門性は、当団体の足りない部分を補完し、より良いスポーツ事業を横浜市民に提供することができます。

私たちは、様々な事業者と積極的に協業を進めることで、事業の質を高めることを目指すとともに、自らの能力向上にも取り組んでいます。

■ 多くの大学との事業提携

大学の研究機関との共同研究や学生インターンシップの受け入れ、学生ボランティア活動など、大学と当団体との双方がメリットを享受できる様々な事業提携を行っています。

※事業提携の例

ヨコハママラソン給水ボランティア、ビーチスポーツフェスタ運営補助、スポーツ・レクリエーションフェスティバル企画運営 等



ヨコハママラソン
給水ボランティア

■ 専門性を発揮する企業との協業

地元テレビ局や FM 放送局、ケーブルテレビ局など、地元のマスコミ各社とは、イベント告知だけでなく、インターネットを活用した事業も含め、メディアミックスを駆使した事業の連携を図っています。

また、施設管理においては設備保守事業者、イベント実施においては音響・照明・設営など、専門業者と協業を図り、私たちに足りない部分を補いより良い施設管理・事業運営を進めています。



電通スポーツ局による
集客力アップ研修

■ 医療関係者との連携

大規模イベントでは欠かせない救護チームや健康づくり事業でのアドバイザー、競技スポーツでの障害予防など、横浜市医師会・看護師会、スポーツ医会等の医療関係者との連携は、当団体の事業をより充実させています。

収支計画について

当団体は、これまでの横浜市内のスポーツセンターの管理運営実績と経営ノウハウ、そして協力会社の専門ノウハウをもとに、ヘルスプロモーション事業の拡充や、更なるお客様サービスの向上を図りながらも、効率的に施設運営を行う5年間の予算を次のとおり算出しました。

収支計画の総括表

金沢スポーツセンターでの積極的な自主事業拡充によって、収入を増加させます。また、その収入増や省エネルギー化への取組を徹底し、効率的な運営をすることにより、安心・安全・快適な環境を保ちながら、魅力あるスポーツ・レクリエーション空間を提供できるよう積極的な投資を行います。

(千円:税込)

指定管理事業	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
収入	117,081	116,974	117,063	116,559	116,661
利用料金収入	25,925	26,051	26,178	26,306	26,436
スポーツ教室等収入	39,040	39,040	39,434	39,434	40,238
駐車場事業収入	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
広告業務収入	110	110	110	110	110
自主事業還元収入	5,230	5,297	5,365	5,433	5,501
指定管理料	41,560	41,260	40,760	40,060	39,160
支出	117,081	116,974	117,063	116,559	116,661
人件費	47,221	47,221	47,221	47,221	47,221
修繕費	3,850	3,850	3,850	3,850	3,850
光熱水費・燃料費	10,926	10,926	10,926	10,926	10,926
その他管理費・事業費等	55,084	54,977	55,066	54,562	54,664
収支差額	0	0	0	0	0
自主事業					
収入	9,871	9,938	10,006	10,074	10,142
自動販売機収入	2,302	2,326	2,350	2,374	2,398
物販事業収入	954	954	954	954	954
レンタル収入	330	330	330	330	330
ヘルスプロモーション事業	617	624	631	638	645
利用料金収入(駐車場含む)	5,668	5,704	5,741	5,778	5,815
支出	4,641	4,641	4,641	4,641	4,641
自動販売機支出	329	329	329	329	329
物販事業支出	681	681	681	681	681
レンタル事業支出	66	66	66	66	66
ヘルスプロモーション事業	346	346	346	346	346
時間外施設管理費支出	3,219	3,219	3,219	3,219	3,219
収支差額	5,230	5,297	5,365	5,433	5,501

自主事業の利益を指定管理事業に充当します

収支予算書

1 総括表

(1)収入 ※ 指定管理料を除いた金額。 (千円、税込み)

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	合計	備考
①施設運営収入 (A)	75,521	75,714	76,303	76,499	77,501	381,538	
利用料金収入	25,925	26,051	26,178	26,306	26,436	130,896	
文化教室事業収入	1,519	1,519	1,535	1,535	1,565	7,673	
スポーツ教室事業収入	37,521	37,521	37,899	37,899	38,673	189,513	
託児事業収入	216	216	216	216	216	1,080	
駐車場事業収入	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	25,000	
広告業務収入	110	110	110	110	110	550	
その他収入(自主還元)	5,230	5,297	5,365	5,433	5,501	26,826	
②自主事業による収入	9,871	9,938	10,006	10,074	10,142	50,031	
自動販売機収入	2,302	2,326	2,350	2,374	2,398	11,750	
物販事業収入	954	954	954	954	954	4,770	
レンタル事業収入	330	330	330	330	330	1,650	
ヘルスプロモーション事業収入	617	624	631	638	645	3,155	
その他収入	0	0	0	0	0	0	
時間外利用料金収入	3,586	3,622	3,659	3,696	3,733	18,296	
時間外スポーツ教室等事業収入	0	0	0	0	0	0	
時間外駐車場事業収入	2,082	2,082	2,082	2,082	2,082	10,410	
合計(①+②)	85,392	85,652	86,309	86,573	87,643	431,569	

(2)支出 (千円、税込み)

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	合計	備考
③維持管理運営費用 (B)	117,081	116,974	117,063	116,559	116,661	584,338	
人件費	47,221	47,221	47,221	47,221	47,221	236,105	
修繕費	3,850	3,850	3,850	3,850	3,850	19,250	
設備管理費・保安警備費	6,393	6,393	6,393	6,393	6,393	31,965	
備品購入費・消耗品費	4,074	3,951	3,993	3,473	3,495	18,986	
外構・植栽管理費・廃棄物処理費	1,750	1,750	1,750	1,750	1,750	8,750	
広報費・印刷製本費	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000	
光熱水費・燃料費	10,926	10,926	10,926	10,926	10,926	54,630	
保険料	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	6,500	
使用料・賃借料	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	30,000	
委託料・謝金	23,000	23,000	23,000	23,000	23,000	115,000	
公租公課	300	300	300	300	300	1,500	
旅費	91	91	91	91	91	455	
会議賄い費	0	0	0	0	0	0	
通信運搬費	363	363	363	363	363	1,815	
支払手数料	300	300	300	300	300	1,500	
会費及び負担金	100	100	100	100	100	500	
事務経費本部分	6,413	6,429	6,476	6,492	6,572	32,382	
その他(租税公課費)	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	20,000	
④自主事業による経費	4,641	4,641	4,641	4,641	4,641	23,205	
自動販売機支出	329	329	329	329	329	1,645	
物販等事業支出	681	681	681	681	681	3,405	
レンタル事業費支出	66	66	66	66	66	330	
ヘルスプロモーション事業費支出	346	346	346	346	346	1,730	
その他支出	0	0	0	0	0	0	
時間外施設管理費支出	3,219	3,219	3,219	3,219	3,219	16,095	
時間外教室事業費支出	0	0	0	0	0	0	
時間外駐車場事業費支出	0	0	0	0	0	0	
合計(③+④)	121,722	121,615	121,704	121,200	121,302	607,543	

(3) 指定管理料 (千円、税込み)

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	合計	備考
指定管理料＝ (支出(B)－収入(A))	41,560	41,260	40,760	40,060	39,160	202,800	

※ 自主事業の内訳は、様式23、24の事業ごとに記載してください。

収支予算書

2 指定管理・収入の部(令和4年度) ※指定管理料を除く。

(1)収入

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
合計 (A)			75,521
利用料金収入			25,925
項 目	第1体育室(団体)	平成30年度実績(稼働率・コマ・減免利用)をもとに積算 A区分稼働率 94% (1,112千円) B区分稼働率 91% (985千円) C区分稼働率 83% (961千円) D区分稼働率 77% (715千円) E区分稼働率 82% (675千円) F区分稼働率 86% (1,475千円)	5,923
	第2体育室(団体)	平成30年度実績(稼働率・コマ・減免利用)をもとに積算 A区分稼働率 100% (299千円) B区分稼働率 100% (200千円) C区分稼働率 100% (186千円) D区分稼働率 100% (138千円) E区分稼働率 100% (179千円) F区分稼働率 100% (4千円)	1,006
	第3体育室(団体)	平成30年度実績(稼働率・コマ・減免利用)をもとに積算 A区分稼働率 91% (313千円) B区分稼働率 91% (310千円) C区分稼働率 92% (317千円) D区分稼働率 82% (283千円) E区分稼働率 83% (283千円) F区分稼働率 85% (293千円)	1,799
	研修室(団体)	平成30年度実績(稼働率・コマ・減免利用)をもとに積算 A区分稼働率 84% (191千円) B区分稼働率 70% (157千円) C区分稼働率 87% (200千円) D区分稼働率 68% (153千円) E区分稼働率 50% (111千円) F区分稼働率 50% (112千円)	924
	体育室(個人)	平成30年度実績に準拠 体育室個人利用収入(卓球・バドミントン・その他)	3,062
	トレーニング室(個人)	利用予定人数(44,947人)×30年度平均利用単価(280円)÷100% ※利用予定人数 平成30年度実績×100%	12,585
	附帯設備利用料金	放送設備、空調、観覧席、レンタルロッカー等利用料	626
利用料金収入(駐車場)		平成30年度実績に準拠	5,000
スポーツ教室等事業収入		・スポーツ教室収入(37,521千円) ・文化教室収入(1,519千円) ・託児事業(216千円)	39,256
広告業務収入		広告料等	110
その他		自主事業還元収入	5,230

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

(2)指定管理料を含んだ収入合計

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
収入 (A)			75,521
指定管理料 (B)			41,560
収入合計 (A)+(B)			117,081

収支予算書

2 指定管理・収入の部(令和5年度) ※指定管理料を除く。

(1)収入

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
合計 (A)			75,714
利用料金収入			26,051
項 目	第1体育室(団体)	平成30年度実績(稼働率・コマ・減免利用)をもとに積算 A区分稼働率 94% (1,112千円) B区分稼働率 91% (985千円) C区分稼働率 83% (961千円) D区分稼働率 77% (715千円) E区分稼働率 82% (675千円) F区分稼働率 86% (1,475千円)	5,923
	第2体育室(団体)	平成30年度実績(稼働率・コマ・減免利用)をもとに積算 A区分稼働率 100% (299千円) B区分稼働率 100% (200千円) C区分稼働率 100% (186千円) D区分稼働率 100% (138千円) E区分稼働率 100% (179千円) F区分稼働率 100% (4千円)	1,006
	第3体育室(団体)	平成30年度実績(稼働率・コマ・減免利用)をもとに積算 A区分稼働率 91% (313千円) B区分稼働率 91% (310千円) C区分稼働率 92% (317千円) D区分稼働率 82% (283千円) E区分稼働率 83% (283千円) F区分稼働率 85% (293千円)	1,799
	研修室(団体)	平成30年度実績(稼働率・コマ・減免利用)をもとに積算 A区分稼働率 84% (191千円) B区分稼働率 70% (157千円) C区分稼働率 87% (200千円) D区分稼働率 68% (153千円) E区分稼働率 50% (111千円) F区分稼働率 50% (112千円)	924
	体育室(個人)	平成30年度実績に準拠 体育室個人利用収入(卓球・バドミントン・その他)	3,062
	トレーニング室(個人)	利用予定人数(45,396人)×30年度平均利用単価(280円)÷12,711,000円 ※利用予定人数 令和4年度実績×101%	12,711
	附帯設備利用料金	放送設備、空調、観覧席、レンタルロッカー等利用料	626
利用料金収入(駐車場)		平成30年度実績に準拠	5,000
スポーツ教室等事業収入		・スポーツ教室収入(37,521千円) ・文化教室収入(1,519千円) ・託児事業(216千円)	39,256
広告業務収入		広告料等	110
その他		自主事業還元収入	5,297

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

(2)指定管理料を含んだ収入合計

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
収入 (A)			75,714
指定管理料 (B)			41,260
収入合計 (A)+(B)			116,974

収支予算書

2 指定管理・収入の部(令和6年度) ※指定管理料を除く。

(1)収入

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
合計 (A)			76,303
利用料金収入			26,178
項 目	第1体育室(団体)	平成30年度実績(稼働率・コマ・減免利用)をもとに積算 A区分稼働率 94% (1,112千円) B区分稼働率 91% (985千円) C区分稼働率 83% (961千円) D区分稼働率 77% (715千円) E区分稼働率 82% (675千円) F区分稼働率 86% (1,475千円)	5,923
	第2体育室(団体)	平成30年度実績(稼働率・コマ・減免利用)をもとに積算 A区分稼働率 100% (299千円) B区分稼働率 100% (200千円) C区分稼働率 100% (186千円) D区分稼働率 100% (138千円) E区分稼働率 100% (179千円) F区分稼働率 100% (4千円)	1,006
	第3体育室(団体)	平成30年度実績(稼働率・コマ・減免利用)をもとに積算 A区分稼働率 91% (313千円) B区分稼働率 91% (310千円) C区分稼働率 92% (317千円) D区分稼働率 82% (283千円) E区分稼働率 83% (283千円) F区分稼働率 85% (293千円)	1,799
	研修室(団体)	平成30年度実績(稼働率・コマ・減免利用)をもとに積算 A区分稼働率 84% (191千円) B区分稼働率 70% (157千円) C区分稼働率 87% (200千円) D区分稼働率 68% (153千円) E区分稼働率 50% (111千円) F区分稼働率 50% (112千円)	924
	体育室(個人)	平成30年度実績に準拠 体育室個人利用収入(卓球・バドミントン・その他)	3,062
	トレーニング室(個人)	利用予定人数(45,849人)×30年度平均利用単価(280円)÷12,838,000円 ※利用予定人数 令和5年度利用予定人数×101%	12,838
	附帯設備利用料金	放送設備、空調、観覧席、レンタルロッカー等利用料	626
利用料金収入(駐車場)		平成30年度実績に準拠	5,000
スポーツ教室等事業収入		・スポーツ教室収入(37,899千円) ・文化教室収入(1,535千円) ・託児事業(216千円)	39,650
広告業務収入		広告料等	110
その他		自主事業還元収入	5,365

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

(2)指定管理料を含んだ収入合計

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
収入 (A)			76,303
指定管理料 (B)			40,760
収入合計 (A)+(B)			117,063

収支予算書

2 指定管理・収入の部(令和7年度) ※指定管理料を除く。

(1)収入

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
合計 (A)			76,499
利用料金収入			26,306
項 目	第1体育室(団体)	平成30年度実績(稼働率・コマ・減免利用)をもとに積算 A区分稼働率 94% (1,112千円) B区分稼働率 91% (985千円) C区分稼働率 83% (961千円) D区分稼働率 77% (715千円) E区分稼働率 82% (675千円) F区分稼働率 86% (1,475千円)	5,923
	第2体育室(団体)	平成30年度実績(稼働率・コマ・減免利用)をもとに積算 A区分稼働率 100% (299千円) B区分稼働率 100% (200千円) C区分稼働率 100% (186千円) D区分稼働率 100% (138千円) E区分稼働率 100% (179千円) F区分稼働率 100% (4千円)	1,006
	第3体育室(団体)	平成30年度実績(稼働率・コマ・減免利用)をもとに積算 A区分稼働率 91% (313千円) B区分稼働率 91% (310千円) C区分稼働率 92% (317千円) D区分稼働率 82% (283千円) E区分稼働率 83% (283千円) F区分稼働率 85% (293千円)	1,799
	研修室(団体)	平成30年度実績(稼働率・コマ・減免利用)をもとに積算 A区分稼働率 84% (191千円) B区分稼働率 70% (157千円) C区分稼働率 87% (200千円) D区分稼働率 68% (153千円) E区分稼働率 50% (111千円) F区分稼働率 50% (112千円)	924
	体育室(個人)	平成30年度実績に準拠 体育室個人利用収入(卓球・バドミントン・その他)	3,062
	トレーニング室(個人)	利用予定人数(46,308人)×30年度平均利用単価(280円)÷12,966,000円 ※利用予定人数 令和6年度利用予定人数×101%	12,966
	附帯設備利用料金	放送設備、空調、観覧席、レンタルロッカー等利用料	626
利用料金収入(駐車場)		平成30年度実績に準拠	5,000
スポーツ教室等事業収入		・スポーツ教室収入(37,899千円) ・文化教室収入(1,535千円) ・託児事業(216千円)	39,650
広告業務収入		広告料等	110
その他		自主事業還元収入	5,433

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

(2)指定管理料を含んだ収入合計

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
収入 (A)			76,499
指定管理料 (B)			40,060
収入合計 (A)+(B)			116,559

収支予算書

2 指定管理・収入の部(令和8年度) ※指定管理料を除く。

(1)収入

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
合計 (A)			77,501
利用料金収入			26,436
項 目	第1体育室(団体)	平成30年度実績(稼働率・コマ・減免利用)をもとに積算 A区分稼働率 94% (1,112千円) B区分稼働率 91% (985千円) C区分稼働率 83% (961千円) D区分稼働率 77% (715千円) E区分稼働率 82% (675千円) F区分稼働率 86% (1,475千円)	5,923
	第2体育室(団体)	平成30年度実績(稼働率・コマ・減免利用)をもとに積算 A区分稼働率 100% (299千円) B区分稼働率 100% (200千円) C区分稼働率 100% (186千円) D区分稼働率 100% (138千円) E区分稼働率 100% (179千円) F区分稼働率 100% (4千円)	1,006
	第3体育室(団体)	平成30年度実績(稼働率・コマ・減免利用)をもとに積算 A区分稼働率 91% (313千円) B区分稼働率 91% (310千円) C区分稼働率 92% (317千円) D区分稼働率 82% (283千円) E区分稼働率 83% (283千円) F区分稼働率 85% (293千円)	1,799
	研修室(団体)	平成30年度実績(稼働率・コマ・減免利用)をもとに積算 A区分稼働率 84% (191千円) B区分稼働率 70% (157千円) C区分稼働率 87% (200千円) D区分稼働率 68% (153千円) E区分稼働率 50% (111千円) F区分稼働率 50% (112千円)	924
	体育室(個人)	平成30年度実績に準拠 体育室個人利用収入(卓球・バドミントン・その他)	3,062
	トレーニング室(個人)	利用予定人数(46,772人)×30年度平均利用単価(280円)≒13,096,000円 ※利用予定人数 令和7年度利用予定人数×101%	13,096
	附帯設備利用料金	放送設備、空調、観覧席、レンタルロッカー等利用料	626
利用料金収入(駐車場)		平成30年度実績に準拠	5,000
スポーツ教室等事業収入		・スポーツ教室収入(38,673千円) ・文化教室収入(1,565千円) ・託児事業(216千円)	40,454
広告業務収入		広告料等	110
その他		自主事業還元収入	5,501

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

(2)指定管理料を含んだ収入合計

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
収入 (A)			77,501
指定管理料 (B)			39,160
収入合計 (A)+(B)			116,661

収支予算書

3 指定管理・支出の部(令和4年度)

	積算内訳	合計金額 (千円、税込み)
③ 維持管理運営費用		117,081
人件費	・常勤職員報酬(給与、手当、社会保険料、福利厚生費、退職給付費) 管理運営責任者 1名 管理運営副責任者 1名 管理担当者 1名 運営担当者 1名 事業担当者 1名 ・非常勤職員給与(賃金) 受付コンシェルジュスタッフ2名×3交代制 トレーニング室スタッフ1名×3交代制	47,221
修繕費	トイレ洋式化、多目的トイレ扉修繕、弓道場LED化、その他小破修繕等	3,850
設備管理費	電気・給排水衛生・空調・消防設備、自動ドア点検	5,403
保安警備費	機械警備、夜間・施設点検日・休館日巡回警備	990
備品購入費	更衣室ロッカー更新、第3期で消耗・劣化した備品	2,074
消耗品費	衛生用品、教室消耗品、駐車場消耗品	2,000
外構・植栽管理費	低木刈込、除草、薬剤散布、施肥	1,500
廃棄物処理費	「市役所ごみゼロルート回収」費用	250
広報費	教室事業の紙媒体、ウェブ広告、ホームページ作成	700
印刷製本費	施設リーフレット作成 他	300
光熱水費	電気代、水道代、ガス代	10,921
燃料費	業務車両ガソリン代	5
保険料	施設賠償責任保険、教室参加者用レクリエーション保険	1,300
使用料・賃借料	教室施設利用料、トレーニングマシンリース料、AEDレンタル 他	6,000
委託料	運動器具点検、現金集配金業務 他	8,000
謝金	教室講師謝金、託児ボランティア謝金	15,000
公租公課費	事業所税、収入印紙代	300
旅費	事務局等への交通費等	91
会議賄い費		0
通信運搬費	電話料、インターネット通信料、切手代 他	363
支払手数料	キャッシュレス決済手数料、振込手数料 他	300
会費及び負担金	応急手当普及員資格更新料、初級障がい者スポーツ指導員更新料 他	100
事務経費本部分		6,413
租税公課	売上に係る仮受消費税等と仕入に係る仮払消費税等の差額分	4,000
その他		0

※1 次の例を参考に記載してください。

人件費・・・報酬、賃金、手当、社会保険料、福利厚生費など

※2 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書

3 指定管理・支出の部(令和5年度)

	積算内訳	合計金額 (千円、税込み)
③ 維持管理運営費用		116,974
人件費	・常勤職員報酬(給与、手当、社会保険料、福利厚生費、退職給付費) 管理運営責任者 1名 管理運営副責任者 1名 管理担当者 1名 運営担当者 1名 事業担当者 1名 ・非常勤職員給与(賃金) 受付コンシェルジュスタッフ2名×3交代制 トレーニング室スタッフ1名×3交代制	47,221
修繕費	トイレ洋式化、第3体・女子更衣室空調工事、その他小破修繕	3,850
設備管理費	電気・給排水衛生・空調・消防設備、自動ドア点検	5,403
保安警備費	機械警備、夜間・施設点検日・休館日巡回警備	990
備品購入費	館内放送設備更新、第3期で消耗・劣化した備品	1,951
消耗品費	衛生用品、教室消耗品、駐車場消耗品	2,000
外構・植栽管理費	低木刈込、除草、薬剤散布、施肥	1,500
廃棄物処理費	「市役所ごみゼロルート回収」費用	250
広報費	教室事業の紙媒体、ウェブ広告、ホームページ更新料	700
印刷製本費	パンフレット等印刷代	300
光熱水費	電気代、水道代、ガス代	10,921
燃料費	業務車両ガソリン代	5
保険料	施設賠償責任保険、教室参加者用レクリエーション保険	1,300
使用料・賃借料	教室施設利用料、トレーニングマシンリース料、AEDレンタル 他	6,000
委託料	運動器具点検、現金集配金業務 他	8,000
謝金	教室講師謝金、託児ボランティア謝金	15,000
公租公課費	事業所税、収入印紙代	300
旅費	事務局等への交通費等	91
会議賄い費		0
通信運搬費	電話料、インターネット通信料、切手代 他	363
支払手数料	キャッシュレス決済手数料、振込手数料 他	300
会費及び負担金	応急手当普及員資格更新料、初級障がい者スポーツ指導員更新料 他	100
事務経費本部分		6,429
租税公課	売上に係る仮受消費税等と仕入に係る仮払消費税等の差額分	4,000
その他		0

※1 次の例を参考に記載してください。

人件費・・・報酬、賃金、手当、社会保険料、福利厚生費など

※2 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書

3 指定管理・支出の部(令和6年度)

	積算内訳	合計金額 (千円、税込み)
③ 維持管理運営費用		117,063
人件費	・常勤職員報酬(給与、手当、社会保険料、福利厚生費、退職給付費) 管理運営責任者 1名 管理運営副責任者 1名 管理担当者 1名 運営担当者 1名 事業担当者 1名 ・非常勤職員給与(賃金) 受付コンシェルジュスタッフ2名×3交代制 トレーニング室スタッフ1名×3交代制	47,221
修繕費	第2体ウレタン・ライン塗装、トイレ洋式化、その他小破修繕	3,850
設備管理費	電気・給排水衛生・空調・消防設備、自動ドア点検	5,403
保安警備費	機械警備、夜間・施設点検日・休館日巡回警備	990
備品購入費	第1体演台購入、卓球台更新	1,893
消耗品費	衛生用品、教室消耗品、駐車場消耗品	2,100
外構・植栽管理費	低木刈込、除草、薬剤散布、施肥	1,500
廃棄物処理費	「市役所ごみゼロルート回収」費用	250
広報費	教室事業の紙媒体、ウェブ広告、ホームページ更新料	700
印刷製本費	施設リーフレット作成 他	300
光熱水費	電気代、水道代、ガス代	10,921
燃料費	業務車両ガソリン代	5
保険料	施設賠償責任保険、教室参加者用レクリエーション保険	1,300
使用料・賃借料	教室施設利用料、トレーニングマシンリース料、AEDレンタル 他	6,000
委託料	運動器具点検、現金集配金業務 他	8,000
謝金	教室講師謝金、託児ボランティア謝金	15,000
公租公課費	事業所税、収入印紙代	300
旅費	事務局等への交通費等	91
会議賄い費		0
通信運搬費	電話料、インターネット通信料、切手代 他	363
支払手数料	キャッシュレス決済手数料、振込手数料 他	300
会費及び負担金	応急手当普及員資格更新料、初級障がい者スポーツ指導員更新料 他	100
事務経費本部分		6,476
租税公課	売上に係かる仮受消費税等と仕入に係かる仮払消費税等の差額分	4,000
その他		0

※1 次の例を参考に記載してください。

人件費・・・報酬、賃金、手当、社会保険料、福利厚生費など

※2 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書

3 指定管理・支出の部(令和7年度)

		積算内訳	合計金額 (千円、税込み)
③ 維持管理運営費用			116,559
項 目	人件費	・常勤職員報酬(給与、手当、社会保険料、福利厚生費、退職給付費) 管理運営責任者 1名 管理運営副責任者 1名 管理担当者 1名 運営担当者 1名 事業担当者 1名 ・非常勤職員給与(賃金) 受付コンシェルジュスタッフ2名×3交代制 トレーニング室スタッフ1名×3交代制	47,221
	修繕費	第1体ウレタン・ライン塗装、トイレ洋式化、その他小破修繕等	3,850
	設備管理費	電気・給排水衛生・空調・消防設備、自動ドア点検	5,403
	保安警備費	機械警備、夜間・施設点検日・休館日巡回警備	990
	備品購入費	卓球台更新、その他消耗・劣化した備品更新	1,473
	消耗品費	衛生用品、教室消耗品、駐車場消耗品	2,000
	外構・植栽管理費	高木剪定、低木刈込、除草、薬剤散布、施肥	1,500
	廃棄物処理費	「市役所ごみゼロルート回収」費用	250
	広報費	教室事業の紙媒体港北、ウェブ広告、ホームページ更新料	700
	印刷製本費	施設リーフレット作成 他	300
	光熱水費	電気代、水道代、ガス代	10,921
	燃料費	業務車両ガソリン代	5
	保険料	施設賠償責任保険、教室参加者用レクリエーション保険	1,300
	使用料・賃借料	教室施設利用料、トレーニングマシンリース料、AEDレンタル 他	6,000
	委託料	運動器具点検、現金集配金業務 他	8,000
	謝金	教室講師謝金、託児ボランティア謝金	15,000
	公租公課費	事業所税、収入印紙代	300
	旅費	事務局等への交通費等	91
	会議賄い費		0
	通信運搬費	電話料、インターネット通信料、切手代 他	363
	支払手数料	キャッシュレス決済手数料、振込手数料 他	300
	会費及び負担金	応急手当普及員資格更新料、初級障がい者スポーツ指導員更新料 他	100
	事務経費本部分		6,492
	租税公課	売上に係る仮受消費税等と仕入に係る仮払消費税等の差額分	4,000
	その他		0

※1 次の例を参考に記載してください。

人件費・・・報酬、賃金、手当、社会保険料、福利厚生費など

※2 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書

3 指定管理・支出の部(令和8年度)

	積算内訳	合計金額 (千円、税込み)
③ 維持管理運営費用		116,661
人件費	・常勤職員報酬(給与、手当、社会保険料、福利厚生費、退職給付費) 管理運営責任者 1名 管理運営副責任者 1名 管理担当者 1名 運営担当者 1名 事業担当者 1名 ・非常勤職員給与(賃金) 受付コンシェルジュスタッフ2名×3交代制 トレーニング室スタッフ1名×3交代制	47,221
修繕費	劣化診断にもとづく修繕、その他小破修繕	3,850
設備管理費	電気・給排水衛生・空調・消防設備、自動ドア点検	5,403
保安警備費	機械警備、夜間・施設点検日・休館日巡回警備	990
備品購入費	卓球台更新、その他消耗・劣化した備品更新	1,495
消耗品費	衛生用品、教室消耗品、駐車場消耗品	2,000
外構・植栽管理費	高木剪定、低木刈込、除草、薬剤散布、施肥	1,500
廃棄物処理費	「市役所ごみゼロルート回収」費用	250
広報費	教室事業の紙媒体、ウェブ広告、ホームページ更新料	700
印刷製本費	施設リーフレット作成 他	300
光熱水費	電気代、水道代、ガス代	10,921
燃料費	業務車両ガソリン代	5
保険料	施設賠償責任保険、教室参加者用レクリエーション保険	1,300
使用料・賃借料	教室施設利用料、トレーニングマシンリース料、AEDレンタル 他	6,000
委託料	運動器具点検、現金集配金業務 他	8,000
謝金	教室講師謝金、託児ボランティア謝金	15,000
公租公課費	事業所税、収入印紙代	300
旅費	事務局等への交通費等	91
会議賄い費		0
通信運搬費	電話料、インターネット通信料、切手代 他	363
支払手数料	キャッシュレス決済手数料、振込手数料 他	300
会費及び負担金	応急手当普及員資格更新料、初級障がい者スポーツ指導員更新料 他	100
事務経費本部分		6,572
租税公課	売上に係かる仮受消費税等と仕入に係かる仮払消費税等の差額分	4,000
その他		0

※1 次の例を参考に記載してください。

人件費・・・報酬、賃金、手当、社会保険料、福利厚生費など

※2 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書

4 自主事業・収入の部(令和4年度)

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
② 自主事業収入			9,871
項 目	自動販売機収入	屋内5台(ドリンク4台、アイス1台)、屋外1台	2,302
	物販事業収入	スポーツ用品等ショップ販売	954
	レンタル事業収入	ラケット、シューズ等レンタルサービス	330
	ヘルスプロモーション事業収入	・内科・整形外科系運動療法参加料 ・特定保健指導委託料 ・地域への派遣事業	617
	その他収入		0
	時間外利用料金収入	貸館収入、トレーニング室利用収入等	3,586
	時間外スポーツ教室事業収入		0
	時間外駐車場事業収入	早朝(7:30~9:00)、深夜(21:00~23:00)コマにおける 駐車場利用料	2,082

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書

4 自主事業・収入の部(令和5年度)

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
② 自主事業収入			9,938
項 目	自動販売機収入	屋内5台(ドリンク4台、アイス1台)、屋外1台	2,326
	物販事業収入	スポーツ用品等ショップ販売	954
	レンタル事業収入	ラケット、シューズ等レンタルサービス	330
	ヘルスプロモーション事業収入	・内科・整形外科系運動療法参加料 ・特定保健指導委託料 ・地域への派遣事業	624
	その他収入		0
	時間外利用料金収入	貸館収入、トレーニング室利用収入等	3,622
	時間外スポーツ教室事業収入		
	時間外駐車場事業収入	早朝(7:30~9:00)、深夜(21:00~23:00)コマにおける 駐車場利用料	2,082

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書

4 自主事業・収入の部(令和6年度)

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
② 自主事業収入			10,006
項 目	自動販売機収入	屋内5台(ドリンク4台、アイス1台)、屋外1台	2,350
	物販事業収入	スポーツ用品等ショップ販売	954
	レンタル事業収入	ラケット、シューズ等レンタルサービス	330
	ヘルスプロモーション事業収入	・内科・整形外科系運動療法参加料 ・特定保健指導委託料 ・地域への派遣事業	631
	その他収入		0
	時間外利用料金収入	貸館収入、トレーニング室利用収入等	3,659
	時間外スポーツ教室事業収入		0
	時間外駐車場事業収入	早朝(7:30~9:00)、深夜(21:00~23:00)コマにおける 駐車場利用料	2,082

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書

4 自主事業・収入の部(令和7年度)

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
② 自主事業収入			10,074
項 目	自動販売機収入	屋内5台(ドリンク4台、アイス1台)、屋外1台	2,374
	物販事業収入	スポーツ用品等ショップ販売	954
	レンタル事業収入	ラケット、シューズ等レンタルサービス	330
	ヘルスプロモーション事業収入	・内科・整形外科系運動療法参加料 ・特定保健指導委託料 ・地域への派遣事業	638
	その他収入		0
	時間外利用料金収入	貸館収入、トレーニング室利用収入等	3,696
	時間外スポーツ教室事業収入		0
	時間外駐車場事業収入	早朝(7:30~9:00)、深夜(21:00~23:00)コマにおける 駐車場利用料	2,082

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書

4 自主事業・収入の部(令和8年度)

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
② 自主事業収入			10,142
項 目	自動販売機収入	屋内5台(ドリンク4台、アイス1台)、屋外1台	2,398
	物販事業収入	スポーツ用品等ショップ販売	954
	レンタル事業収入	ラケット、シューズ等レンタルサービス	330
	ヘルスプロモーション事業収入	・内科・整形外科系運動療法参加料 ・特定保健指導委託料 ・地域への派遣事業	645
	その他収入		0
	時間外利用料金収入	貸館収入、トレーニング室利用収入等	3,733
	時間外スポーツ教室事業収入		0
	時間外駐車場事業収入	早朝(7:30~9:00)、深夜(21:00~23:00)コマにおける 駐車場利用料	2,082

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書

5 自主事業・支出の部(令和4年度)

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
④ 自主事業による経費			4,641
項 目	自動販売機支出	自動販売機:6台 目的外使用料、電気代	329
	物販等事業費支出	物販卸業者手数料 目的外使用料	681
	レンタル事業費支出	卓球ラケット、バドミントンラケット、フットサル・バスケットボール、体育館シューズ、ビブス、ポータブルデッキ等購入代	66
	ヘルスプロモーション事業費支出	旅費交通費、消耗品費	346
	その他支出		0
	時間外施設管理費支出	サポートスタッフ・トレーニング室スタッフ賃金、光熱水費	3,219
	時間外教室事業費支出		0
	時間外駐車場事業費支出		0

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書

5 自主事業・支出の部(令和5年度)

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
④ 自主事業による経費			4,641
項 目	自動販売機支出	自動販売機:6台 目的外使用料、電気代	329
	物販等事業費支出	物販卸業者手数料 目的外使用料	681
	レンタル事業費支出	卓球ラケット、バドミントンラケット、フットサル・バスケットボール、体育館シューズ、ビブス、ポータブルデッキ等購入代	66
	ヘルスプロモーション事業費支出	旅費交通費、消耗品費	346
	その他支出		0
	時間外施設管理費支出	サポートスタッフ・トレーニング室スタッフ賃金、光熱水費	3,219
	時間外教室事業費支出		0
	時間外駐車場事業費支出		0

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書

5 自主事業・支出の部(令和6年度)

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
④ 自主事業による経費			4,641
項 目	自動販売機支出	自動販売機:6台 目的外使用料、電気代	329
	物販等事業費支出	物販卸業者手数料 目的外使用料	681
	レンタル事業費支出	卓球ラケット、バドミントンラケット、フットサル・バスケットボール、体育館シューズ、ビブス、ポータブルデッキ等購入代	66
	ヘルスプロモーション事業費支出	旅費交通費、消耗品費	346
	その他支出		0
	時間外施設管理費支出	サポートスタッフ・トレーニング室スタッフ賃金、光熱水費	3,219
	時間外教室事業費支出		0
	時間外駐車場事業費支出		0

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書

5 自主事業・支出の部(令和7年度)

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
④ 自主事業による経費			4,641
項 目	自動販売機支出	自動販売機:6台 目的外使用料、電気代	329
	物販等事業費支出	物販卸業者手数料 目的外使用料	681
	レンタル事業費支出	卓球ラケット、バドミントンラケット、フットサル・バスケットボール、体育館シューズ、ビブス、ポータブルデッキ等購入代	66
	ヘルスプロモーション事業費支出	旅費交通費、消耗品費	346
	その他支出		0
	時間外施設管理費支出	サポートスタッフ・トレーニング室スタッフ賃金、光熱水費	3,219
	時間外教室事業費支出		0
	時間外駐車場事業費支出		0

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書

5 自主事業・支出の部(令和8年度)

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
④ 自主事業による経費			4,641
項 目	自動販売機支出	自動販売機:6台 目的外使用料、電気代	329
	物販等事業費支出	物販卸業者手数料 目的外使用料	681
	レンタル事業費支出	卓球ラケット、バドミントンラケット、フットサル・バスケットボール、体育館シューズ、ビブス、ポータブルデッキ等購入代	66
	ヘルスプロモーション事業費支出	旅費交通費、消耗品費	346
	その他支出		0
	時間外施設管理費支出	サポートスタッフ・トレーニング室スタッフ賃金、光熱水費	3,219
	時間外教室事業費支出		0
	時間外駐車場事業費支出		0

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。